

目 次

目 次	1
I. 2014（平成26）年度の主な活動	3
*2014（平成26）年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	14
4) 3階展示室	26
5) ぶんぱく京都講座	28
III-2 特別展示	29
1) 特別展	29
*2014（平成26）年度特別展一覧	40
2) 京都府所蔵資料巡回展への協力	42
III-3 映 画	43
1) 常設上映	43
2) 特別企画・共催事業	44
3) 映像ギャラリー常設展示	47
III-4 その他	48
IV. 調査研究活動	49
IV-1 学芸員の活動	49
1) 研 究	49
2) 出講・委嘱	49
3) 業 績	50
V. 普及活動	53
V-1 出版物	53
1) 研究紀要『朱雀』	53
2) 年 報	54
3) 展覧会図録	54
V-2 音楽会	55

V-3	学習普及外部連携室	57
1)	ボランティア	57
2)	「ぶんぱく子ども教室」事業	57
3)	団体見学案内	60
4)	生き方探求チャレンジ体験	60
5)	インターンシップの受け入れ	60
V-4	博物館実習	61
V-5	資料・情報公開	61
1)	資料閲覧室	61
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	61
V-6	外部連携活動	62
1)	他館との連携	62
2)	京都府内の学校との連携事業	63
3)	地域との連携	63
V-7	京都文化博物館友の会	65
1)	会 員	65
2)	事業概要	66
VI.	ギャラリー事業	67
VI-1	5・6階展示室	67
1)	京都文化財団展示室運営委員会	67
2)	美術・工芸作家の利用	67
3)	生涯学習的発表期間の利用	68
4)	一般の利用	69
VI-2	別館ホール	70
VII.	管理・運営	72
VII-1	組織と職員	72
1)	組 織	72
2)	京都文化財団	72
3)	京都文化博物館	73
VII-2	施 設	74
1)	本館関係	74
2)	別館関係	74
VII-3	館内店舗	77
1)	ろうじ店舗	77
2)	別館店舗	77
3)	博和会・ろうじ行事	77
VIII.	2014（平成26）年度のあゆみ	78

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2014(平成26)年度の 主な活動

2014年度は、京都府京都文化博物館の歴史において最も輝かしい年の一つであったと人々の記憶に刻まれるだろう。第一の理由は、「光の賛歌 印象派展」の成功である。同展は当館のそれまでの入場者最高記録約21万人を大きく上回り、約31万人の入場者を集めた。これは2014年に我が国で開催された展覧会中7位の数字であり、1日当たり平均入場者数約5,600人は5位に当たる。(美術雑誌『美術の窓』2015年2月号による。)展覧会を企画された東京富士美術館のご努力により世界各地からルノワール、マネ、モネなど印象派の名画が集結し、多くの人々に感動や癒しを感じていただいたことは博物館としてこの上ない喜びであった。開催期間中は、入館者が連日平均5,000人を超え、多い日は8,000人を超える入館者が押し寄せ、朝の開館待ちの行列は正面玄関から三条通まで伸び、開館後も館内の通路はもちろん高倉通や姉小路に至るまで二重、三重の列ができた。こうした博物館としてかつて経験したことのない状況の中で、大きな混乱や事故もなく入館者に安心



「黒田清輝展」会場風景



「京を描く—洛中洛外図の時代—」会場風景

して展覧会を楽しんでいただけたのは、実行委員会関係者のご努力とともに、博物館の全てのスタッフが一丸となって取り組んだ賜であり、この経験は今後の博物館運営に大きな自信となると確信している。

これに続く特別展「黒田清輝展」「宇宙兄弟展」「野口久光 シネマ・グラフィックス」「京を描く—洛中洛外図の時代—」も、学芸員の研究成果や映画・アニメという博物館の特徴を活かした展覧会であり、一年を通じ歴史、絵画、映画、アニメと、京都文化博物館の持つ力をいかに発揮できた年であった。入場者の皆様からもアンケート等に高い評価や感動の言葉をいただいた。

また、現代アートの分野においても、琳派400年記念として開催した京都府美術工芸新鋭展の特別展示として別館に椿昇氏の巨大作品「鸚鵡図」を展示するとともに、2015年3月から開催された京都国際現代芸術祭Parasophiaの会場として、別館において森村泰昌氏及びドミニク・ゴンザレス＝フォルステル氏の作品を展示したほか、フィルムシアターで「Parasophiaシネマプログラム」の上映を行った。

総合展示では他の施設との連携の取組を行ったのが特筆される。「京都老舗の文化史—千總460年の歴史」「聖護院門跡の名宝—門跡と山伏の歴史」はそれぞれ千總ギャラリー、龍谷ミュージアムと共同開催として行

った。今後もこうした連携を強めることにより、京都の歴史や文化の多彩な側面を紹介していきたい。

以上のような取組の成果として、2014年度の博物館入館者数は約96万5,000人と100万人にあと一步に迫った。今後はこれを超えることを目指しながら、入館者により多くの感動や満足を得ていただくよう、さらに努力を重ねたい。

*2014(平成26)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2014.4	1,633	2,325	3,958 【31,487】	136,720	29,016	165,736	138,353	31,341	169,694	3,371	4,002	23,279	30,652	29,268	229,614
5	2,271	3,414	5,685 【19,393】	68,808	18,004	86,812	71,079	21,418	92,497	6,870	0	15,014	21,884	17,748	132,129
6	1,389	2,365	3,754 【12,725】	11,048	6,469	17,517	12,437	8,834	21,271	3,100	1,822	4,142	9,064	10,840	41,175
7	714	9,426	10,140 【23,402】	15,035	11,435	26,470	15,749	20,861	36,610	6,075	2,220	18,779	27,074	16,036	79,720
8	0	10,975	10,975 【21,155】	19,788	3,996	23,784	19,788	14,971	34,759	683	3,521	5,720	9,924	12,553	57,236
9	2,903	3,014	5,917 【14,458】	14,797	5,268	20,065	17,700	8,282	25,982	5,686	3,791	40,332	49,809	11,744	87,535
10	2,599	3,009	5,608 【9,308】	3,034	1,658	4,692	5,633	4,667	10,300	7,311	7,189	7,511	22,011	10,575	42,886
11	2,330	4,151	6,481 【10,739】	3,245	2,773	6,018	5,575	6,924	12,499	4,813	14,887	8,310	28,010	12,288	52,797
12	2,788	4,058	6,846 【8,583】	1,462	1,375	2,837	4,250	5,433	9,683	469	4,116	4,256	8,841	8,890	27,414
2015.1	6,543	5,437	11,980 【11,980】	2,498	10,456	12,954	9,041	15,893	24,934	2,008	5,023	11,029	18,060	9,154	52,148
2	5,033	5,361	10,394 【10,394】	2,715	14,731	17,446	7,748	20,092	27,840	2,333	16,827	18,259	37,419	10,594	75,853
3	1,516	3,533	5,049 【17,354】	12,531	10,079	22,610	14,047	13,612	27,659	2,719	34,949	7,033	44,701	13,878	86,238
年度計	29,719	57,068	86,787 【190,928】	291,681	115,260	406,941	321,400	172,328	493,728	45,438	98,347	163,664	307,449	163,568	964,745
1日平均 (総310日) (特219日)	96	184	280	1,332	526	1,858	1,037	556	1,593						

【 】内は特別展からの入場者数を含む

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2014年度末での管理資料は52,712点、寄託資料が1,011点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	作者	資料名	点数
日本画		「枯木群鷺之図」ほか	13
陶 芸	案本一洋	「夏火入一対」	1
日本画	堀 泰明	「中世イタリア壁画模写(サンタンジェロ・イン・フォルミス協会)」ほか	2
木 竹	野口監鳳斎	「天・地」ほか	13
陶 芸	木村盛伸	「茄子釉 大鉢」	1
版 画	井田照一	「letter - with beard」ほか	19
陶 芸	木村盛康	「天空花入」ほか	4

小計 53点

2) 寄 託

種 別	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	小 計
館蔵資料	日本画	7件 8点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	89件 843点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	3件 49点	
管理資料	日本画	7件 22点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 675点	14件 1011点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土 軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土 軒瓦	2	吹田市博物館	常設展示
考古	平安京左京三条四坊四町出土 おもちゃの貨幣	26	長浜市曳山博物館	特別出陳展示「土蔵から見つかった江戸時代の貨幣展—おもちゃの貨幣—」
歴史	甲子兵燹図	2	若松城天守閣郷土博物館	企画展「禁門の変 150年記念展」
歴史	秋の日照り	1	若松城天守閣郷土博物館	企画展「禁門の変 150年記念展」
考古	平安京押小路殿跡出土 羽釜ほか	37	鹿児島県歴史資料センター黎明館	企画特別展「南からみる中世の世界～海に結ばれた琉球列島と南九州～」
考古	西賀茂瓦窯角社西群瓦窯出土 軒丸瓦	1	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	特別展「第29回小さな展覧会—平成25年度京都府内遺跡発掘調査成果速報—」
考古	平安京豊楽院跡(三一協会)出土 軒丸瓦	1	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	特別展「第29回小さな展覧会—平成25年度京都府内遺跡発掘調査成果速報—」
考古	平安京左京三条三坊十一町出土 備前焼大甕	2	備前市埋蔵文化財管理センター	企画展「渡る大甕」
考古	西賀茂瓦窯角社西群瓦窯出土 軒丸瓦	1	京都府立山城郷土資料館	企画展「京都発掘だより2014」
考古	平安京豊楽院跡(三一協会)出土 軒丸瓦	3	京都府立山城郷土資料館	企画展「京都発掘だより2014」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	上村松篁「花の中」ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	上村松篁「縞白鷺」ほか	2	京都国立近代美術館ほか	「上村松篁展」
染 織	源氏物語 臘月夜	1	平野喜久夫(作者本人)	60周年記念個展「平野喜久夫記念展」
染 織	夢浮橋	1	京都府商工労働観光部 染織・工芸課	京都迎賓館の一般参観
日本画	入江西一郎「竹取物語」ほか	67	中信美術館	「京の絵本原画展」
日本画	木下章「光悦寺の萩」ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	西山英雄「播磨灘物語」	40	瀬戸内市立美術館	「司馬遼太郎著・西山英雄装画「播磨灘物語」展 官兵衛の世界を描く」展 春期特別展「復古やまと絵 新たななる王朝美の世—訥言・一恵・為恭・清一」展
日本画	田中訥言「中井延清像」ほか	9	徳川美術館ほか	
日本画	(伝)原在中「白絵屏風」ほか	7	神奈川県立歴史博物館	特別展「白絵—祈りと寿ぎのかたち—」展
日本画	森田りえ子「朝の月」	1	一宮市三岸節子記念美術館	特別展「きよけく 森田りえ子」展
日本画	鈴木松年「八岐大蛇退治図」ほか	2	奈良県立美術館	特別展「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展」
日本画	長沢蘆雪「美人図」ほか	3	黒川古文化研究所	秋期展観「第112回展観 円山応挙の門人たち」
陶 芸	六代清水六兵衛「芒花瓶」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
陶 芸	河合卯之助「牡丹と蝶文色絵師壺」ほか	7	向日市文化資料館	「昭和の向日町と文人」展
染 織	染分縮緬地源氏物語文様友禅染小袖」ほか	5	大阪市立美術館	特別展「うた・ものがたりのデザイン」
日本画	川島陸郎「秋叢」いのち賛歌27 ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
陶 芸	初代高橋道八「芋頭水指」ほか	2	サントリー美術館	「仁阿弥道八」展
陶 芸	尾形周平「染付赤壁附急須」ほか	22	京都市美術館	「京焼歴史展—新世紀京焼の継承と展開」展
版 画	「蘭花譜」	40	京都府立植物園	90周年記念「蘭花譜展」
絵馬図書	「都名所図会」ほか	3	長浜市曳山博物館	企画展「三大山車祭のヤマと資料展」
日本画	猪熊佳子「杜の雫」いのち賛歌10ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇

2) その他

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 41件 特別観覧 7件／管理資料：撮影・利用 34件 34点 特別観覧 7件 7点

寄託資料—時持ち出し・貸与

寄託資料—時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究
	歴史	大島本源氏物語	3	古代学協会	研究
管理資料	民俗	緋威小札大鑑ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼
	民俗	御沓并柳台ほか	50	四条町大船鉾保存会	祭礼
	染織	鳥取りに柳文様小袖裂ほか	4	丸紅株式会社	研修

Ⅲ 展示活動

Ⅲ - 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。

狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	<*>
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立総合資料館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立総合資料館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立総合資料館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立総合資料館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	<*>	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立総合資料館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立総合資料館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立総合資料館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立総合資料館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<*>	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<*>	
	28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<*>	
	29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<*>	
平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	<*>	
	31	土器 雲林院跡出土	37点	<*>	
	32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<*>	
	33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>	
中世都市民の生活	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>	
	35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	<*>	
	36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<*>	
	37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<*>	
	38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<*>	
	39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>	
近世町人のなりわい	40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>	
	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<*>	
	42	都名所図会	1点	<*>	
	43	つぼつぼ	9点	<*>	
	44	でんぼ	1組	個人	
	45	伏見人形 布袋	1点	<*>	
	46	伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
	47	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<*>	
48	柄鏡	1点	<*>		

※所蔵欄 <*>印の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、<*>印の資料は当館蔵

2) 〈京のまつり〉ゾーン

① 祇園祭—保昌山の名宝—

会 期：2014年4月3日(木)～6月15日(日)

前期展示＝4月3日(木)～5月11日(日)

後期展示＝5月14日(水)～6月15日(日)

概 要：「平井保昌の恋の物語を題材にした

“花盗人山”

京都・祇園祭の山鉾に搭載される意匠には、さまざまな物語が題材として取り上げられているが、男女の恋愛を主題としたことで有名なのが保昌山。保昌山にかけられる懸装品のうち、「前懸 緋羅紗地仙人図 刺繍」と「胴懸 緋羅紗地群仙図 刺繍」はそれぞれに中国の故事を題材とした下絵をもとに製作されている。下絵の作者は江戸時代後期に京都で活躍した絵師の円山応挙。前懸の裏地には「画工 圓山

主水」の名と「安永二癸巳歳六月日」の墨書銘があり、本作品の下絵は、応挙が円熟期を迎える40歳頃に描かれたものである事がうかがわれる。保昌山を出す燈籠町(京都市下京区)には、この三枚の懸装品と共に応挙が描いた下絵も屏風に仕立てて大切に保管されおり、この展覧会ではそれらを懸装品と共に公開した。このほかにも、さまざまな鳥の姿を刺繍で描いた水引「波濤に鳥 中国刺繍補子」や、御神体人形である平井保昌がまとう具足や太刀などを公開した。

出品資料数：25点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—保昌山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	展示期間	文化財指定
1	前懸 緋羅紗地仙人図 刺繍	一枚	安永2年(1773)	前期	重要有形民俗文化財
2	胴懸 緋羅紗地群仙図(右) 刺繍	一枚	安永2年(1773)	前期	重要有形民俗文化財
3	後懸 緋羅紗地雲龍図	一枚	安永2年(1773)	前期	重要有形民俗文化財
4	後懸 小花文様 イギリス捺染	一枚	江戸時代後期	後期	重要有形民俗文化財
5	前懸 菊龍蜀江文様 金襴	一枚	昭和6年(1931)	後期	重要有形民俗文化財
6	見送 日輪鳳凰額雲龍波濤図 綴織	一枚	江戸時代後期	後期	重要有形民俗文化財
7	見送 八仙人図 刺繍	一枚	16世紀後半	前期	重要有形民俗文化財
8	見送 寿星図 綴錦	一枚	寛政10年(1798)	後期	重要有形民俗文化財
9	水引 波濤に鳥 中国刺繍補子	四枚	寛延3年(1750)	後期	重要有形民俗文化財
10	草花文角房掛金具	四点	大正2年(1913)	前期	重要有形民俗文化財
11	花桐文見送飾金具	二点	大正8年(1919)	後期	重要有形民俗文化財
12	見送飾房 水浅葱丸打組紐	二本		後期	重要有形民俗文化財
13	角飾房 水浅葱丸打組紐	四本	大正2年(1913)	前期	重要有形民俗文化財
14	金幣	一对	明治41年(1908)	前期	重要有形民俗文化財
15	御神体衣裳 虎皮文様綴織 引敷	一枚		後期	重要有形民俗文化財
16	御神体衣裳 蜀江文様直垂	一着	江戸時代後期	後期	重要有形民俗文化財
17	御神体衣裳 沓	一足		後期	重要有形民俗文化財
18	御神体鎧(手甲・佩楯・脛当ほか)	一式		後期	重要有形民俗文化財
19	太刀	一振		後期	重要有形民俗文化財
20	刀	一振		後期	重要有形民俗文化財
21	脇差	二振		後期	重要有形民俗文化財
22	祇園祭保昌山前懸下絵 屏風(円山応挙筆)	一隻	安永2年(1773)	前期	京都市指定
23	祇園祭保昌山胴懸下絵 屏風(円山応挙筆)	二隻	安永2年(1773)	前期	京都市指定
24	釣燈籠	一对		後期	
25	御文筥	一点	文久元年(1861)	前期	

② 祇園祭—山鉦巡行の歴史と文化—

会 期：2014年6月19日(木)～8月3日(日)

概 要：「祇園祭・山鉦巡行の歴史と文化を紹介」

祇園祭に登場する山鉦には、長大な鉦を中心に据えた巨大な鉦や、様々な意匠で故事来歴の場面などを再現した山などがあり、それぞれの山や鉦には、美しく由緒もある懸装品が数多く用いられ、国内はもとより遠く東アジアや中近東、そしてヨーロッパの美術工芸の粋が集結している。絢爛豪華な懸装品で装飾された山鉦は「動く美術館」とも称され国の重

要有形民俗文化財に指定されているほか、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されている。今回の展覧会では、今年49年ぶりに復活した後祭巡行を紹介したほか、放下鉦の後懸「メダリオン中東蓮花葉文様・インド横織絨毯」や、同じく放下鉦の前懸「小花文様 大花周縁額 フランス捺染」など、希少な懸装品を展示公開した。

出品資料数：10点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—山鉦巡行の歴史と文化—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	文化財指定	所蔵
1	放下鉦 後懸 メダリオン中東蓮花葉文様・インド横織絨毯	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人放下鉦保存会
2	放下鉦 前懸 小花文様大花周縁額 フランス捺染	弘化4年(1847)	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人放下鉦保存会
3	『祇園御霊会細記』	宝暦7年(1757)	2冊		京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
4	『都名所図会』	安永9年(1780)	6冊		京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
5	『諸国年中行事大成』	文化3年(1806)	6冊		京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
6	菊水鉦巡行模型	昭和46年(1971)	一式		京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
7	長刀鉦模型	昭和時代	1台		京都文化博物館
8	月鉦模型	明治時代	1台		京都文化博物館
9	長刀鉦鉦頭模型	昭和時代	1台		京都文化博物館
10	京都祇園祭山鉦絵図(西脇友一画)	昭和60年(1985)	5枚		京都文化博物館

③ 祇園祭—大船鉦復興記念展—

会 期：2014年8月7日(木)～10月19日(日)

前期展示：8月7日(木)～9月15日(月・祝)

後期展示：9月18日(水)～10月19日(日)

概 要：「町衆の悲願、復活の凱旋船鉦」

平成26年7月に、実に150年ぶりに再建され祇園祭山鉦巡行への参加を果たした大船鉦。その復興を記念する展覧会を開催した。大船鉦は、室町時代にはその名が記録にあらわれる鉦で、天明8年(1788)の大火で一度焼失し

ているが、町衆の努力で文化元年(1804)に復興を遂げる。ところが、幕末の元治元年(1864)に再び大火に見舞われ、鉦本体や装飾品の一部を焼失。その後、明治3年(1870)に祇園祭で唐櫃巡行を行ない、鉦の復活を期し、それから長い年月を耐えねばならなかった。本展覧会では、大船鉦の苦難の歴史と復活までの道程を紹介すると共に、罹災を免れ現代まで伝えられた大船鉦の品々を公開した。大船鉦

のシンボルとして舳先に飾られる巨大な「大金幣」のほか、船形の銚の様相をあらわす「緋羅紗地波濤龍文様刺繍」の楫、そして「金地雲龍文様錦」の天水引幕や「緋羅紗地鳳凰文様刺繍」の下水引幕など、豪華な懸装品や御神体である

る神功皇后にゆかりの品々もあわせて展示した。

出品資料数：19点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—大船銚復興記念展—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	展示期間	文化財指定
1	大金幣	一式	文化10年(1813)	前期	京都市指定
2	後懸幕 緋地龍文様綴錦	一枚	文化4年(1807)	前期	京都市指定
3	天水引幕 金地雲龍文様錦	二枚	江戸時代後期	後期	京都市指定
4	一番水引幕 緋羅紗地波濤龍文様刺繍 二番水引幕 窓絵唐草文様綴錦	一枚	江戸時代後期	前期	京都市指定
5	舳屋形欄縁下水引幕 緋羅紗地鳳凰文様刺繍	三枚	江戸時代後期	後期	京都市指定
6	舵 緋羅紗地波濤龍文様刺繍	一枚	明治4年(1871)	前期	京都市指定
7	神功皇后御天冠	一頭		後期	京都市指定
8	緋地縮緬腹帯	一枚	宝暦13(1763)	後期	京都市指定
9	懸守	一点	江戸時代後期	後期	京都市指定
10	中啓	一本		後期	京都市指定
11	浅葱色小房	十本		前期	京都市指定
12	黒色小房	十八本		前期	京都市指定
13	鉦	二丁	天保10年(1839)	前期	京都市指定
14	御神酒瓶	一对	文化14年(1817)	前期	京都市指定
15	御神体装束 緋縮緬地菊唐草文様刺繍襦袢	一着	寛政7年(1795)	後期	
16	御神体装束 緋地精好袴	一腰		後期	
17	唐櫃	一基		前期	
18	後之祇園祭船銚之図 中島莊陽画	一幅	昭和7年(1932)	前期	
19	大船銚図	一幅	江戸時代後期	後期	

III-1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

④ 祇園祭—浄妙山の名宝—

会 期：2014年10月23日(木)

～2015年1月12日(月・祝)

前期展示：10月23日(木)～11月30日(日)

後期展示：12月3日(水)～1月12日(月・祝)

概 要：「勇壮な場面演出と共に、

華麗さをあわせ持つ山」

『平家物語』の中の「橋合戦」の様相をあらわした特徴的な意匠をもつ浄妙山は、宇治橋の上で奮戦する浄妙坊の頭上を一来法師が飛び越える様子が躍動感あふれる御神体人形で表現されている。今回の展覧会では、二体の御神体人形がまとう具足類のほか、天鷲絨で織られた「琴棋書画図」を描いた胴懸の逸品、本山

善右衛門が絁織という技法で織り上げた「雲龍波濤図」の見送など、興味深い品々を展示した。また胴懸の「エジプト風景図」と前懸の「室内洋犬図」、そして後懸の「狩獵風景図」の、いずれも19世紀初頭のイギリス織の絨毯も公開した。そのほか、浄妙山の特徴である水引に懸装品の代わりに装着される木製の欄縁や、四隅に上下二段に装着される「雲形に鳥獣文様鍍金角飾金具」、そして、祇園祭の青山で会所に飾られる「宇治川合戦図屏風」等も併せて公開した。

出品資料数：23点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—浄妙山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	展示期間	文化財指定
1	見送 雲龍波濤図	一枚	文化13年(1816)	後期	重要有形民俗文化財
2	胴懸 琴棋書画図(天鷲絨織)	二枚	寛政9年	前期	重要有形民俗文化財
3	前懸 室内洋犬図(イギリス織絨毯)	一枚	江戸時代後期	前期	重要有形民俗文化財
4	後懸 狩猫風景図(イギリス織絨毯)	一枚	江戸時代後期	前期	重要有形民俗文化財
5	胴懸 エジプト風景図(イギリス織絨毯)	二枚	江戸時代後期	前期	重要有形民俗文化財
6	水引 花束含授鳥文様(天鷲絨織)	四枚	江戸時代	前期	重要有形民俗文化財
7	欄縁 木製彩色波濤文様	四点	江戸時代	前期	重要有形民俗文化財
8	宇治橋	一式	江戸時代	後期	重要有形民俗文化財
9	浄妙坊具足	一領		後期	重要有形民俗文化財
10	浄妙坊長刀・太刀・脇差	各一振		後期	重要有形民俗文化財
11	浄妙坊御神面	一枚	延宝6年(1678)	後期	重要有形民俗文化財
12	一來法師具足	一領	文化15年(1818)	後期	重要有形民俗文化財
13	一來法師長刀・太刀・脇差	四振		後期	重要有形民俗文化財
14	雲形に鳥獸文様鍍金金具	八点	天保3年(1832)	前期	重要有形民俗文化財
15	見送飾金具	一对	嘉永6年(1853)	後期	重要有形民俗文化財
16	華文様鍍金欄縁飾金具	四点		前期	重要有形民俗文化財
17	金糸丸打紐房見送飾房	二本	嘉永6年(1853)	後期	重要有形民俗文化財
18	浅葱丸打紐角飾房	八本	嘉永6年(1853)	前期	重要有形民俗文化財
19	金幣	一对	嘉永6年(1853)	後期	重要有形民俗文化財
20	浄妙山扁額 堂本印象筆	一枚	昭和46年(1971)	前期	
21	宇治川合戦図屏風 鈴木松年画	六曲一双	明治44年(1911)	後期	
22	くじ箱	一点	慶応4年(1868)	後期	
23	造宮控帖	一冊	寛政9年(1797)	前期	



「祇園祭—浄妙山の名宝—」会場風景



「祇園祭—孟宗山の名宝—」会場風景

III-1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

⑤ 祇園祭—孟宗山の名宝—

会 期：2015年1月20日(火)～4月5日(日)

前期展示：1月20日(火)～3月1日(日)

後期展示：3月4日(水)～4月5日(日)

概 要：「親子の絆を題材とした意匠と

華やかな美術品に彩られた山」

孟宗山には、懸装品や美しい飾金具が数多く

伝え残されてきており、見るものを魅了している。殊に有名なのは山の背面を飾る竹内栖鳳の肉筆による「孟宗竹藪林図」の見送。また「波濤に飛龍文様綴織」の前懸や、「群鳥飛翔図綴織」の水引や、「西王母と寿老人の図」と「虎溪三笑図」をそれぞれ綴織であらわした文化5年(1808)製作の胴懸や、明朝末期に製作された「鳳凰と幻想動物に牡丹図」を刺繍でしつらえたタペストリーを江戸時代に見送に仕立てたものなどがあり、本展覧会で公開した。また、豪華な鍍金飾金具がふんだんに用いられているのも孟宗山の魅力のひとつで、山の周囲に懸けられる木製黒漆塗の欄縁には、幾羽もの

鳥が戯れる構図の飾金具が散りばめられており、この欄縁と共に、見送幕を懸ける鳥居にも牡丹菊文様の重厚な飾金具が装着されている。これらは、京都画壇で活躍した幸野煤嶺の下絵を元にしたものである。そのほか「猿に桃」や「牡丹に蜂」など8種類の異なる意匠をもった角飾金具や、見送の裾を飾る9種類の金具、そして「筍」の文字をあしらった山を担う棒の轆先金具など、孟宗山の特徴的な品々を展示した。

出品資料数：24点
担当者：橋本 章

【「祇園祭—孟宗山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	展示期間	文化財指定
1	浅葱縹子地唐花唐草文様金襴 上衣	江戸時代	後期	重要有形民俗文化財
2	紺地雲龍文様縹子地金襴縁白縹子 補襦	江戸時代	後期	重要有形民俗文化財
3	鍬		後期	重要有形民俗文化財
4	筍		後期	重要有形民俗文化財
5	前懸 波濤に飛龍文様綴織官服裁断片	江戸時代後期	後期	重要有形民俗文化財
6	前懸 雲龍波濤文様	昭和59年(1984)	前期	重要有形民俗文化財
7	後懸 唐子遊図		後期	重要有形民俗文化財
8	後懸 雲龍波濤文	昭和59年(1984)	前期	重要有形民俗文化財
9	胴懸 仙境山水人物図綴織(東面)「西王母と寿老人の図」/ (西面)「虎溪三笑図」	文化5年(1808)	後期	重要有形民俗文化財
10	見送 鳳凰と幻想動物に牡丹図刺繍掛物	江戸時代	前期	重要有形民俗文化財
11	見送 白綴地墨画「孟宗竹藪林図」(竹内栖鳳筆)	昭和15年(1940)	後期	重要有形民俗文化財
12	水引 群鳥飛翔図綴織官服直し	江戸時代	後期	重要有形民俗文化財
13	欄縁 木製黒漆塗百鳥文様鍍金金具付(幸野煤嶺下絵)	明治4年(1871)	前期	重要有形民俗文化財
14	欄縁角金具 雲文様		前期	重要有形民俗文化財
15	見送掛鳥居 木製黒漆塗牡丹菊文様鍍金金具付(幸野煤嶺下絵)	明治23年(1890)	前期	重要有形民俗文化財
16	金幣 黒漆塗祇園紋散し鍍金金具朱房付	幣串 文化2年(1805)	前期	重要有形民俗文化財
17	轆先金具 筍字銅鍍金	文久3年(1863)	前期	重要有形民俗文化財
18	角飾金具 猿に桃・菊に鳥・鹿・牡丹に蜂	文政7年(1824)	前期	重要有形民俗文化財
19	見送裾飾金具 蛙・鯉・鮎・千鳥・セキレイ・亀・蟹・カワウソ・鴛鴦	明治時代	後期	重要有形民俗文化財
20	見送飾金具 丸唐獅子・麒麟・唐草文様	文政7年(1824)	後期	重要有形民俗文化財
21	見送房掛金具 筍字くずし文様	明治時代	前期	重要有形民俗文化財
22	見送飾金具 玉取獅子文様	江戸時代	前期	重要有形民俗文化財
23	白絹糸房	文化2年(1805)	後期	重要有形民俗文化財
24	くじ箱 黒漆塗萌葱丸打組紐付	安政3年(1856)	後期	

3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン

① 東寺百合文書—地域の記憶とその継承—

会 期：2014年4月2日(水)～6月22日(日)

前期展示：4月2日(水)～4月27日(日)

中期展示：4月30日(水)～5月25日(日)

後期展示：5月28日(水)～6月22日(日)

概 要：2014年6月にユネスコ記憶遺産の登録候補となった東寺百合文書のうち、京都の記憶を伝えてきた仕組みに注目して、江戸時代以降の各種調査によって作成された収納箱や目録等とあわせて展示した。特に、東寺の僧侶や地

域の人々が東寺周辺の土地の維持・経営や売買等にどう関わったのか、あるいは時々の権力者・行政機構がどう対応したのか、先人がどのようにしてこれらの文書群を管理したのかを描き出した。

主 催：京都文化博物館、京都府立総合資料館

出品資料数：86件

担当者：長村祥知

【「東寺百合文書—地域の記憶とその継承—」展 出品資料一覧】

番号	指定等	年月日	資料名	所蔵	函号等	会期
1	国宝	永禄 9年(1566) 閏 8月16日	播磨国矢野庄文書案	京総資	百合イ函123	前期
2	国宝	2月10日	年預栄盛・亮祐連署書状	京総資	百合イ函136	中期
3	国宝	天文19年(1550) 12月 日	十八口奉行合点状	京総資	百合ハ函354	前期
4	国宝	明応 6年(1497) 11月 日	大悲心院并妙見寺敷地文書	京総資	百合二函101	中期
5	国宝	観応 3年(1352) 3月22日	山城国久世庄文書	京総資	百合ホ函28	後期
6	国宝	文明17年(1485) 4月 日	五条以南東寺領洛中散在敷地注文并支証案	京総資	百合ト函129	中期
7	国宝	文明18年(1486) 6月17日	室町幕府奉行人連署奉書	京総資	百合ト函130	後期
8	国宝	弘治元年(1555) 12月28日	廿一口方手文箱送進状	京総資	百合ト函168	前期
9	国宝	永禄 2年(1559) 12月29日	廿一口方手文箱送進状	京総資	百合ト函170	中期
10	国宝	永禄 3年(1560) 12月29日	廿一口方手文箱送進状	京総資	百合ト函171	後期
11	国宝	天文23年(1554) 1月晦日	宝厳院祐重起請文	京総資	百合チ函211	中期
12	国宝	4月 6日	栄盛・祐重連署書状案	京総資	百合チ函227	前期
13	国宝	6月13日	宝厳院祐重書状案	京総資	百合チ函240	後期
14	国宝	7月22日	祐重・栄盛連署書状	京総資	百合チ函245	後期
15	国宝	観応 3年(1352) 7月 日	三聖人申状	京総資	百合リ函46	前期
16	国宝		西院文庫文書出納帳	京総資	百合リ函94	前期
17	国宝	応永 5年(1398)	鎮守八幡宮供僧評定引付	京総資	百合ワ函16	前期
18	国宝	応永 7年(1400)	鎮守八幡宮供僧評定引付	京総資	百合ワ函17	中期
19	国宝	応永 9年(1402)	鎮守八幡宮供僧評定引付	京総資	百合ワ函18	後期
20	国宝	文明18年(1486)	廿一口方供僧評定引付	京総資	百合ワ函79	後期
21	国宝	長禄 2年(1458) 6月26日	東寺領洛中散在敷地注文案	京総資	百合タ函158	後期
22	国宝	明応 3年(1494) 12月29日	廿一口方手文箱等送進状	京総資	百合レ函219	前期
23	国宝	康正 3年(1457) 9月 1日	神泉苑差函	京総資	百合レ函385	前期
24	国宝	文安 4年(1447) 9月 6日	学衆方第一箱重書目録	京総資	百合ム函63	後期
25	国宝	明応 5年(1496) 12月晦日	惣寺料足借状	京総資	百合ム函77	中期
26	国宝	弘安 6年(1283) 3月 8日	遍照心院敷地差函并住持禅惠置文案	京総資	百合ウ函17	後期
27	国宝	応永 3年(1396) 10月21日	法印権大僧都良宝田地等寄進状	京総資	百合ウ函64	前期
28	国宝	応仁元年(1467) 12月20日	十八口奉行合点状	京総資	百合ノ函327	中期
29	国宝	文明元年(1469) 12月20日	十八口奉行合点状	京総資	百合ノ函328	後期
30	国宝	永禄 6年(1563) 閏12月28日	最勝光院方手文箱送進状	京総資	百合オ函212	前期
31	国宝	永禄12年(1569) 12月29日	最勝光院方手文箱送進状	京総資	百合オ函214	中期
32	国宝	12月29日	最勝光院方手文箱送進状	京総資	百合オ函270	後期
33	国宝	長享元年(1487) 11月 日	御影堂聖人代官職請文案	京総資	百合ヤ函149	後期

34	国宝	嘉慶 2年(1388) 3月 日	東寺領洛中散在当知行敷地注文	京総資	百合マ函71	前期
35	国宝	天文23年(1554) 12月29日	廿一口方手文箱等送進状	京総資	百合エ函111	後期
36	国宝	文明 9年(1477) 7月晦日	唐櫃所納重書目録	京総資	百合テ函143	中期
37	国宝	文安 2年(1445) 12月29日	廿一口方手文箱等送進状	京総資	百合ア函200	中期
38	国宝	元龜元年(1570) 9月 7日	文書包紙	京総資	百合ア函278	後期
39	国宝	文保元年(1317) 4月 日	大納言法印道我所進文書目録	京総資	百合メ函105	後期
40	国宝	文安 4年(1447) 9月 6日	学衆方第二箱所納重書目録	京総資	百合メ函243	後期
41	国宝		学衆方重書目録	京総資	百合メ函351	前期
42	国宝	至徳 2年(1385) 8月□日	唐橋西堀川田地手継券文(後欠)	京総資	百合エ函92	後期
43	国宝	嘉暦 3年(1328) 12月29日	北条高時巻数返事	京総資	百合ヒ函36	中期
44	国宝	永祿 8年(1565) 2月 日	一昼夜不断光明真言時結番帳	京総資	百合ヒ函217	前期
45	国宝	永祿 8年(1565) 2月 日	一昼夜不断光明真言時結番帳	京総資	百合ヒ函218	中期
46	国宝	永祿 8年(1565) 11月 日	一昼夜不断光明真言時結番帳	京総資	百合ヒ函219	後期
47	国宝	応永26年(1419)	廿一口方評定引付	京総資	百合ち函3	前期
48	国宝	永享 5年(1433)	廿一口方評定引付	京総資	百合ち函9	中期
49	国宝	暦応 3年(1340) 3月20日	真観房源惠御影堂聖人職請文	京総資	百合リ函37	中期
50	国宝	応永10年(1403) 12月 日	東寺領山城国散在田地并敷地文書紛失目録	京総資	百合リ函76	中期
51	国宝	長祿 2年(1458) 12月23日	室町幕府御教書	京総資	百合リ函88	前期
52	国宝	長祿 3年(1459) 3月29日	山城国守護畠山義就遵行状	京総資	百合リ函89	前期
53	国宝	長祿 3年(1459) 4月14日	山城国守護代誉田祥栄遵行状	京総資	百合リ函90	前期
54	国宝	長祿 3年(1459) 4月26日	原観養打渡状	京総資	百合リ函91	前期
55	国宝	2月20日	細川勝元巻数返事	京総資	百合リ函212	後期
56	国宝	永祿 9年(1566)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函107	前期
57	国宝	永祿10年(1567)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函108	前期
58	国宝	永祿11年(1568)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函110	中期
59	国宝	永祿12年(1569)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函111	中期
60	国宝	元龜元年(1570)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函112	後期
61	国宝	天正 2年(1574)	最勝光院方評定引付	京総資	百合る函113	後期
62	国宝	長保 2年(1000) 11月26日	東寺宝蔵焼亡日記案	京総資	百合の函1	前期
63	国宝	嘉慶 2年(1388) 3月19日	嵯峨法花堂修造地口銭文書案	京総資	百合あ函30	前期
64	国宝	元弘 3年(1333) 11月 日	唐橋西堀川田地手継券文(前欠)	京総資	百合せ函11	後期
65	国宝	建長 8年(1256) 9月 2日	北条時頼・同政村連署書状	京総資	百合せ函武家1	前期
66	国宝	天文18年(1549) 3月 日	三好長慶禁制	京総資	百合せ函武家81	中期
67	国宝	永祿 8年(1565) 10月11日	一条院覚慶禁制	京総資	百合せ函武家85	後期
68	国宝	永祿11年(1568) 9月 日	織田信長禁制	京総資	百合せ函武家86	前期
69	国宝	観応元年(1350) 7月28日	足利尊氏御判御教書	京総資	百合せ函足利5	前期
70	国宝	観応 3年(1352) 3月26日	足利義詮御判御教書	京総資	百合せ函足利8	前期
71	国宝	文和 3年(1354) 10月21日	足利尊氏御判御教書	京総資	百合せ函足利15	中期
72	国宝	文和 3年(1354) 10月21日	足利尊氏御判御教書	京総資	百合せ函足利16	後期
73	国宝	文和 2年(1353) 10月 8日	足利義詮御判御教書	京総資	百合せ函足利20	中期
74	国宝	嘉暦 2年(1327) 7月12日	六角油小路敷地相論文書	京総資	百合京函36	中期
75	国宝		西院文庫文書出納帳	京総資	百合京函86	中期
76	国宝		西院文庫文書出納帳	京総資	百合天地19	後期
77		延長 7年(929) 6月29日	七条令解	古代学		前期
78		天曆 3年(949) 4月 9日	七条令解	古代学		前期
79		天元 2年(979) 10月 2日	七条令解	古代学		前期
80	国宝	正暦 4年(993) 6月20日	七条令解	京総資	東寺文書追加購入1	前期
81	国宝	貞享 2年(1685)	東寺百合文書 前田綱紀寄進文書箱 ハ・ニ・ホ・ヌ・ノ・イ・ろ・に・ほ	京総資		通期
82	重文	明治20年(1887)	京都府庁文書 東寺古文書目録	京総資		前期
83		(昭和時代)	東寺百合文書仮目録	京総資		通期
84		(昭和時代)	東寺百合文書目録原稿	京総資		通期
85		(昭和時代)	東寺百合文書原稿	京総資		通期
86		(昭和時代)	東寺百合文書調査カード 編年・花押・人名	京総資		通期
87		(昭和時代)	東寺百合文書第一次修理事前撮影写真版	京総資		通期
88		天正 8年(1580) 3月18日	羅城門跡出土石塔(権僧正亮祐 銘入)	京文博		通期

《指定等の略称》重文：重要文化財

《所蔵の略称》京総資：京都府立総合資料館所蔵。古代学：古代学協会所蔵(京都文化博物館寄託)。京文博：京都文化博物館所蔵

《函号等の略称》百合：東寺百合文書

② 近世公家の家職と衣装

会 期：2014年6月27日(金)～8月31日(日)

前期展示：6月27日(金)～7月27日(日)

後期展示：7月29日(火)～8月31日(日)

概 要：江戸幕府開府により、京都はそれまでもっていた政治の中心地としての性格がうすれたといわれる。しかし、朝廷を中心とした公家の存在はなお京都に残り続け、それまでの文化や学問を守り、京都文化を担う存在として大きな役割を担っていた。公家家職とも称される公家の学問・文化に関する知識は、諸職人が持つ技術を磨き、多様な工芸を生み出す原動力ともなった。全国市場を席卷する「京もの」ブランドの背景には、京都で培われた公家の文化と町衆の技術の融合がある。本展では、京都文化を特徴付ける公家の家職の有り様や、高度な染織技術によって生み出された衣装を

通して、江戸時代に見られる公家文化の一端を展観することを目的とした。

作品数：文書、小袖など56件

担当者：西山 剛、林 智子



「近世公家の家職と衣装」会場風景

【「近世公家の家職と衣装」展 出品資料一覧】

番号	作品名	員数	筆者	年代	所蔵	展示期間
1	銅板京都図	一枚	玄々堂 松本龍山	江戸時代末期	* 1	通期
2	禁裏御所之図	一枚		江戸時代後期	* 2	通期
3	禁中年中行事	一冊	源供久 写	享保12年(1727)写 原本 正徳6年(1716)	* 2	通期
4	麓塵集	一冊		江戸時代後期	* 2	通期
5	極秘法體装束抄	一冊	日野西光暉 写	天保7年(1836)写 原本 文化4年(1807)	* 2	通期
6	内侍所神供図	一冊	日野西延栄 写	天保13年(1842)	* 2	通期
7	野草抄	一冊	日野西延栄 筆	安政年間(1854-1860)	* 2	通期
8	常永入道記	一冊	日野西延栄 写	嘉永7年(1854) 原本 応永19年(1412)	* 2	通期
9	日野切	一幅	伝藤原俊成 筆	鎌倉時代	* 2	前期
10	和歌懐紙「南殿の桜」	一幅	日野資枝 筆	江戸時代後期	* 2	後期
11	春日陪金比羅大権現社壇詠十首和歌	一卷	日野資枝 筆	江戸時代中期	* 2	前期
12	春日陪金比羅大権現壇上詠十首和歌	一卷	日野資枝 筆	江戸時代中期	* 2	後期
13	資矩卿記 大嘗会申沙汰記	二冊	日野資矩 筆	文化15年(1818)頃	* 2	通期
14	資矩卿記 大嘗会雑事	一冊	日野資矩 筆	文化15年(1818)頃	* 2	通期
15	資矩卿曆記	一卷	日野資矩 筆	享和3年(1803)	* 2	通期
16	楽琵琶	一面		文化元年(1804)	* 2	通期
17	笙譜	二冊		江戸時代	* 1	通期
18	寛永五年正月藤原宣季叙正二位位記	一卷		寛永5年(1628)	* 1	通期
19	諸記抜書	一冊		江戸時代	* 1	通期
20	白馬節会秘抄	一冊		江戸時代	* 1	前期
21	三節会備忘	一冊	幸延 写	天保6年(1835)写 原本 寛政2年(1790)	* 1	後期
22	延徳二年御八講記	一冊		大永4年(1524)	* 1	通期

23	御神楽略譜	一冊		元禄6年(1693)	* 1	通期
24	郢曲譜	一冊		江戸時代	* 1	前期
25	郢曲相承次第	一冊		寛政10年(1798)写	* 1	通期
26	御遊抄	一冊	持明院基政 写	文政12年(1829)	* 1	後期
27	免許状(蹴鞠)	一幅	飛鳥井雅豊	正徳2年(1712)6月19日	* 2	通期
28	蹴鞠日記	二冊	鞠春堂 田中芦蔵 筆	嘉永2年(1849) - 安政3年(1856)	* 2	通期
29	蹴鞠伝書	一冊	松寿亭賞誠 筆	安政4年(1857)	* 2	通期
30	蹴鞠用上沓	一足		江戸時代後期	* 2	通期
31	蹴鞠(白菊)	一点		江戸時代後期	* 2	通期
32	鞠水干	一領		江戸時代後期	* 2	前期
33	鞠袴	一腰		江戸時代後期	* 2	前期
34	鞠水干	一領		江戸時代後期	* 2	後期
35	鞠袴	一腰		江戸時代後期	* 2	後期
36	石帯	一点		江戸時代後期	* 2	通期
37	袍	一領		江戸時代後期	* 2	前期
38	袍	一領		江戸時代後期	* 2	後期
39	袷	一領		江戸時代後期	* 2	前期
40	袷	一領		江戸時代後期	* 2	後期
41	袴	一腰		江戸時代後期	* 2	通期
42	雲菱菊散らし文様帷子	一領		江戸時代後期	* 2	前期
43	桜萩文様掻取	一領		江戸時代後期	* 2	後期
44	春草花文様掻取	一領		江戸時代後期	* 2	前期
45	桜菊折枝蝶文様小袖	一領		江戸時代後期	* 3	後期
46	柳梅御簾文様単衣	一領		江戸時代後期	* 3	前期
47	松に泊舟文様帷子	一領		江戸時代後期	* 3	後期
48	提帯	三点		江戸時代後期	* 2	通期
49	御所人形 鯛釣り童子ほか	八点		江戸時代後期～明治時代	* 2	通期
50	衣裳人形 胡蝶の舞	一点		江戸時代後期	* 2	通期
51	衣裳人形 官女と犬	一組		明治時代	* 2	通期
52	衣裳人形 鶏合わせ	一組		江戸時代末期	* 2	通期
53	有職雛	一組		安政年間(1854-1860)	* 2	通期
54	有職雛	一組		文政年間(1818-1830)	* 2	通期
55	葉玉(真・行・草)	三点		平成8年(1996)	* 2	通期
56	五節句飾花	五点		平成12年(2000)	* 2	通期

※所蔵表記は、* 1 = 京都文化博物館蔵、* 2 = 京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)、* 3 = 丸紅株式会社(京都府寄託)です。

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

③ 源氏絵の時代—近世の京都と源氏物語—

会 期：2014年9月5日(金)～11月16日(日)

前期展示：9月5日(金)～10月13日(月・祝)

後期展示：10月15日(水)～11月16日(日)

概 要：日本古典文学の傑作である『源氏物語』は、日本美術の歴史においても、最も重要なテーマの一つである。この『源氏物語』を絵に表したものを、「源氏絵」と呼びならわす。平安時代以来、制作され続けてきたその数は少なくとも数千点をくだらず、源氏絵は日本絵画における最大のテーマの一つと言える。源氏絵は

特に、室町時代末から江戸時代初頭にかけて、京都を中心に隆盛を迎えた。権力体と社会構造が大きく変化した世相にあって、貴族や大名たちが憧れる理想は『源氏物語』の世界にあった。本展示では京都府および京都文化博物館の所蔵・管理品を中心に、いくつかのすぐれた新出作品を交えつつ、室町～江戸時代の源氏絵を展覧した。

出品資料数：日本画・古典籍 計16点

担当者：森 道彦

【「源氏絵の時代—近世の京都と源氏物語—」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	形態・員数	制作期	所蔵
1		紫式部日記絵巻断簡	卷子・1巻	南北朝時代	古代学協会
2	伝・藤原為家	源氏狭衣百番歌合断簡(姫路切)	掛幅・1幅	鎌倉時代	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
3		源氏物語(大島本)【重要文化財】	冊子・15冊 (全53冊のうち)	室町時代	古代学協会
4		源氏男女装束抄	冊子・1冊	原本：室町時代後期 展示品：享保2年(1717)	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
5		源氏物語図扇面 賢木	扇面・1面	室町時代後期	
6		源氏物語図扇面 初音	扇面・1面	桃山時代	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
7	狩野山楽	源氏物語図押絵貼屏風	屏風・6曲1双	江戸時代前期	
8	土佐光則	源氏物語画帖	画帖・1帖	江戸時代前期	
9	土佐派	源氏物語図色紙	色紙・11面	桃山～江戸時代前期	
10	土佐派	源氏物語図色紙貼交屏風	屏風・6曲1双	江戸時代前期	
11		源氏物語図色紙 紅葉賀	色紙・1面	江戸時代前期	
12		白描源氏物語絵巻	卷子・1巻	江戸時代	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
13	西川祐信	源氏物語図 若菜	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
14	板谷広当	源氏物語図 花宴	掛幅・1幅	寛政9年(1797)	
15	板谷広延	源氏物語図 花宴・紅葉賀	掛幅・2幅	江戸時代後期	
16		見立女三宮図	掛幅・1幅	嘉永5年(1852)頃	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝4

会 期：2014年9月6日(土)～11月3日(月・祝)

前期展示：9月6日(土)～10月5日(日)

後期展示：10月8日(水)～11月3日(月・祝)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「古典の英華—『源氏物語』と古筆切」をテーマに、古典籍の形態に注目して、『源氏物語』

や古筆切を中心に、『御堂関白記』・『春日権現靈驗記絵巻』等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：23件

担当者：長村祥知



「陽明文庫の名宝4」会場風景



「幕末明治の京都の日本画」会場風景

【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝4」展 出品資料一覧】

番号	指定等	筆者等	資料名	制作期	員数	会期
1	国宝	藤原道長筆	御堂関白記 自筆本 寛弘元年上巻	平安時代 寛弘元年(1004)	1巻	前期
2	国宝		御堂関白記 古写本 寛弘元年巻	平安時代	1巻	前期
3	国宝	藤原道長筆	御堂関白記 自筆本 寛弘七年上巻	平安時代 寛弘7年(1010)	1巻	後期
4	国宝		御堂関白記 古写本 寛弘七年巻	平安時代	1巻	後期
5		詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興筆	春日権現霊験記絵巻 巻第四	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興筆	春日権現霊験記絵巻 巻第十五	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7	重要文化財	藤原基俊筆	和漢朗詠集巻下断簡(多賀切)	平安時代 永久4年(1116)	1幅	前期
8	重要文化財	伝藤原俊忠筆	六条斎院歌合断簡(二条切)	平安時代 12世紀	1幅	後期
9	重要美術品	源兼行筆	古今和歌集断簡(高野切)	平安時代 11世紀	1幅	通期
10	重要美術品	藤原俊成筆	千載和歌集断簡(日野切)	平安時代 12世紀	1幅	通期
11		伝藤原顕輔筆	古今和歌集断簡(鶉切)	平安時代 12世紀	1幅	通期
12		伝源俊頼筆	藤原師実家集断簡(京極関白集切)	平安時代 12世紀	1幅	通期
13	重要美術品	藤原定家筆	詠草「泊瀬山」	鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
14		伝藤原定家筆	小倉色紙	鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
15		伝世尊寺定成筆	和漢朗詠集断簡	鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
16		伝九条道家筆	和漢書	鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
17		伝後醍醐天皇筆	古今和歌集断簡	南北朝時代 14世紀	1幅	通期
18	重要文化財	冷泉為相筆	古今和歌集	鎌倉時代 13世紀	2帖	後期
19	重要文化財	伝藤原為家筆	後拾遺抄 上	鎌倉時代 建長元年(1249)	1帖	前期
20	重要文化財		源氏物語	鎌倉時代 14世紀	20帖	通期
21		後柏原天皇等筆	源氏物語	室町時代 16世紀	52帖	通期
22		外題：智仁親王筆、 本文：近衛信尹等筆	源氏物語	江戸時代 17世紀	54帖	通期
23		近衛基熙筆	源氏物語	江戸時代	54帖	通期

※すべて公益財団法人陽明文庫所蔵

⑤ 幕末明治の京都の日本画

会 期：2014年11月21日(金)～2015年2月1日(日)

前期展示：11月21日(金)～1月4日(日)

後期展示：1月6日(火)～2月1日(日)

概 要：2014年は、幕末明治の京都画壇の巨匠である田能村直入(1814～1907)と森寛斎(1814～1894)の生誕200年にあたる。これを機に本展では、竹内栖鳳等が登場する以前の、幕末明治の京都の日本画の状況を、京都府の所蔵品を中心に紹介した。幕末明治の京都の日本画界では、田能村直入が率いる南画派と、塩川文麟(1801～1877)、森寛斎、幸野楳嶺(1844～1895)らの円山四条派が中心的に活躍していた。両派はそれぞれに京都府画学校(現在の

京都市立芸術大学)の設立も建議し、画学校を中心にその後の京都画壇を担う俊秀を輩出した。幸野楳嶺、今尾景年(1845～1924)は、直入、寛斎より一代後で、それぞれ2014年、2015年に生誕170年を迎える。これらの画家もその後の明治、大正期に活躍する日本画家たちを育成し、大きな影響を与えた。幕末明治の京都で活躍した日本画家はまだ多くいるが、本展ではその中から、塩川文麟、森寛斎、田能村直入、幸野楳嶺、今尾景年の作品を紹介した。

出品資料数：27件

担当者：植田彩芳子

【「幕末明治の京都の日本画」展 出品資料一覧】

番号	作者名	作品名	制作年	材質技法	員数	所蔵	展示期間
1	塩川文麟	常磐御前雪中図		絹本着色	一幅	* 1	前期
2	塩川文麟	猛猪図		絹本着色	一幅	* 1	前期
4	森寛斎	関羽図		紙本着色	一幅	* 1	後期
3	森寛斎	孔雀図		絹本墨画	一幅	* 1	前期
5	森寛斎	京都新名所四季図	明治6年(1873)	紙本淡彩	二曲一双	* 1	後期
6	田能村直入	山水図	明治15年(1882)	紙本墨画	一面	* 1	前期
7	田能村直入	墨梅図	文久3年(1863)	紙本墨画	一幅	* 2	前期
8	田能村直入	三十六歌仙画帖	明治7年(1874)	絹本着色	二冊	* 1	前期
9	田能村直入	墨蘭教本		紙本墨画	一冊	* 1	前期
10	田能村直入	佳人観蝶図	明治15年(1882)	紙本墨画	一幅	* 1	前期
11	田能村直入	汲古山泉稿本帖		紙本墨画	二冊	* 1	後期
12	田能村直入	王石谷画十二景図冊	明治12年(1879)	紙本墨画	一冊	* 1	後期
13	田能村直入	下文瑜及無款清人画帖	明治17年(1884)	紙本墨画	一冊	* 1	後期
14	田能村直入	一路功名・鶏群鶴立図杉戸小下絵	明治20年(1887)	紙本着色	一冊	* 1	後期
15	田能村直入	老松白鶴図	明治21年(1888)	紙本墨画	一幅	* 1	後期
16	幸野煤嶺	魯秋潔婦図	明治18年(1885)	絹本着色	一幅	* 1	前期
17	幸野煤嶺	群魚図		紙本淡彩	二曲一双	* 1	前期
18	幸野煤嶺	妓女図	明治6年(1873)	絹本着色	一幅	* 1	後期
19	幸野煤嶺	日本武尊沈勇図		絹本着色	一幅	* 1	後期
20	今尾景年	牡丹図		紙本着色	一幅	* 1	前期
21	今尾景年	四時花木群虫図	明治18年(1885)	絹本着色	一幅	* 1	後期
22	今尾景年	千歳松之図小下画	大正4年(1915)	紙本墨画	一面	* 1	後期
23	今尾景年	富士巻狩図小下画(墨画)	明治24年(1891)頃	紙本墨画	一幅	* 1	後期
24	今尾景年	印章				* 1	通期
25	今尾景年	花生 景年画「孔雀」		陶器	一点	* 1	通期
26	今尾景年	景年花鳥画譜	明治24~25年(1891~92)	木版	四冊	* 3	通期
27	今尾景年	写生帖			七冊	* 1	通期

※前期展示=平成26年11月21日(金)~平成27年1月4日(日)

※後期展示=平成27年1月6日(火)~2月1日(日)

※番号26および番号27は、前期と後期で買替えをします。

※所蔵表記は、* 1 = 京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)、* 2 = 個人蔵、* 3 = 京都府立総合資料館蔵です。

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑥ 池大雅美術館コレクション寄贈記念 池大雅

会 期：2014年11月8日(土)

～2015年1月12日(月・祝)

前期展示：11月8日(土)～12月7日(日)

後期展示：12月9日(火)～1月12日(月・祝)

概 要：平成25年12月、京都府は同年に閉館した京都市西京区の池大雅美術館から、江戸時代中期の日本を代表する南画家、池大雅に関する作品資料の一括寄贈を受けた。同美術館からはかつて平成7年に所蔵品の部分寄贈を受けてい

たが、上記の追加寄贈をもって同美術館所蔵品のすべてが京都府に収められ、恒久的に守り伝えられることとなった。本展示はこれを記念したもので、池大雅美術館コレクションのうち、とりわけ重要で中核となり得る池大雅の書画作品および関係資料を包括的に取り上げ、公開した。

作品数：日本画・書跡・その他 計38点

担当者：森 道彦

【「池大雅美術館コレクション寄贈記念 池大雅」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	形態・員数	制作期	所蔵
1		池大雅所用竹筆	筆・2本	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
2		池大雅所用硯	硯石・1点	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
3		池大雅念持仏	仏像・1軀	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
4		厨子	厨子・1基	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
5		池大雅所用机	机・1脚	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
6		大雅堂連名簿	額・1面	天明4年(1784)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
7		大雅堂扁額	額・1面	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
8		拾遺都名所図会	冊子・1冊 (4冊のうち)	天明7年(1787)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
9	野呂介石	池大雅居室図	掛幅・1幅	寛政4年(1794)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
10	福原五岳	奇懐大雅先生	掛幅・1幅	江戸時代後期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
11		池大雅墓碑銘拓本	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
12	池玉瀾	瞿麦図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
13		池玉瀾祇園社寄付金受取覚	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
14	池玉瀾	池玉瀾筆墨梅図下絵漆盃	盃・1点	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
15		池玉瀾墓碑銘拓本	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
16	池大雅	山関図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
17	池大雅	石崖図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
18		大雅堂画法	掛幅・1幅	江戸時代後期 (文化元年(1804)初版)	京都府立総合資料館
19	池大雅	伯牙弹琴図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
20	池大雅	寒山拾徳図	掛幅・2幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
21	池大雅	三酸図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
22	池大雅	天産奇葩図巻	卷子・1巻	寛延2年(1749)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
23	池大雅	蕙石図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
24	池大雅	蕙石図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
25	池大雅	天産奇葩図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
26	池大雅	蘭石図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
27	池大雅	墨蘭図	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
28	池大雅	墨竹図(凌風鳳尾図)	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
29	池大雅	墨菊図扇面	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
30	池大雅	柳下童子図屏風 【重要文化財】	屏風・ 8曲1隻	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
31	池大雅	金山	掛幅・1幅	享保10年(1725)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
32	池大雅	独楽園記	掛幅・1幅	享保19年(1734)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
33	池大雅	看板「家方」書(下書)	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
34	池大雅	看板「家方」書(本書)	額・1面	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
35	池大雅	蘭亭詩	掛幅・1幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
36	池大雅	芝草詩	掛幅・3幅	江戸時代中期	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
37	池大雅	千字文(天・地)	折帖・2帖	明和8年(1771)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
38	池大雅	和様尺牘文範	卷子・1巻	安永2年(1773)	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)

⑦ 細川家永青文庫コレクション7 禅書画の世界

会 期：2015年1月20日(火)～3月15日(日)

前期展示：1月20日(火)～2月15日(日)

後期展示：2月17日(火)～3月15日(日)

概 要：江戸時代の大大名、熊本藩細川家のコレクションを母体として設立された永青文庫には、古今の優れた美術作品が数多く収蔵されている。そのうち質量ともに極めて高い水準を誇るものが、歴代当主が入手した禅僧たちの書画類である。それらは細川幽斎や三斎ら大名茶人が大徳寺などにおいて茶禅を通じて入手した古墨蹟、また各地の菩提寺はじめ禅僧との

交流を通じて蓄積された近世禅僧の書画・資料、さらに近代の一大美術コレクターであった細川護立による墨蹟と白隠・仙厓らの禅画類などからなっており、400年以上の間に様々な経緯を通じて細川家の元に集められたものである。本展示では、これまで包括的に紹介されることの無かった永青文庫の貴重な禅書画の世界を総合的に公開した。

作品数：日本画・書跡 計37点

担当者：森 道彦

【「細川家永青文庫コレクション7 禅書画の世界」展 出品資料一覧】

番号	作品名	形態・員数	制作期	所蔵
1	大休正念墨蹟 悼聖一國師尺牘	掛幅・1幅	弘安3年(1280)	永青文庫
2	楚石梵琦墨蹟 心華室銘	掛幅・1幅	元・至正26年(1366)	永青文庫
3	即休契了墨蹟 与妙侍者偈頌	掛幅・1幅	元・至正10年(1350)	永青文庫
4	宗峯妙超墨蹟 法語	掛幅・1幅	正中2年(1325)	永青文庫
5	義堂周信墨蹟 雪竇禪師頌	掛幅・1幅	南北朝時代	永青文庫
6	伝・足利義持 徳巖字号	掛幅・1幅	室町時代	永青文庫
7	太岳周崇墨蹟 偈頌	掛幅・1幅	室町時代	永青文庫
8	愚極礼才墨蹟 道号説	掛幅・1幅	室町時代中期	永青文庫
9	一休宗純墨蹟 七仏通戒偈	掛幅・1幅	室町時代中期	永青文庫
10	春浦宗熙墨蹟 実窓字号	掛幅・1幅	文明14年(1482)	永青文庫
11	景徐周麟墨蹟 容安齋記	掛幅・1幅	文明18年(1486)	永青文庫
12	策彦周良墨蹟 詩与英公	掛幅・1幅	元龜2年(1571)	永青文庫
13	春屋宗園墨蹟 達磨遊東土	掛幅・1幅	桃山時代	永青文庫
14	矢野吉重筆/沢庵宗彭賛 細川忠利像	掛幅・1幅	寛永18年頃(1641)	永青文庫
15	海門宗音賛 細川忠利像	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
16	狩野探幽筆/沢庵宗彭自賛 沢庵宗彭頂相	掛幅・1幅	江戸時代前期	永青文庫
17	沢庵宗彭自賛 沢庵宗彭頂相	掛幅・1幅	江戸時代前期	永青文庫
18	沢庵宗彭墨蹟 機関法語	掛幅・1幅	江戸時代前期	永青文庫
19	沢庵宗彭墨蹟 仏祖正伝宗派図	掛幅・1幅	元和4年(1618)	永青文庫
20	雲居希膺墨蹟 無字	掛幅・1幅	江戸時代前期	永青文庫
21	白隠慧鶴墨蹟 本来無一物	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
22	白隠慧鶴墨蹟 百壽字	掛幅・1幅	明和3年(1766)	永青文庫
23	白隠慧鶴筆 円相内自画像	掛幅・1幅	明和元年(1784)	永青文庫
24	白隠慧鶴筆 円相図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
25	白隠慧鶴筆 達磨図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
26	白隠慧鶴筆 瓢胎観音像	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
27	白隠慧鶴筆 蛤蜊観音像	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
28	白隠慧鶴筆 蓮池観音像	掛幅・1幅	明和4年(1767)	永青文庫
29	白隠慧鶴筆 六祖衣鉢図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
30	白隠慧鶴筆 乞食大燈図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
31	白隠慧鶴筆 山水図	掛幅・1幅	江戸時代中期	永青文庫
32	仙厓義梵筆 狗子仏性図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫
33	仙厓義梵筆 狗子仏性図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫
34	仙厓義梵筆 大燈乞食図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫
35	仙厓義梵筆 南泉斬猫図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫
36	仙厓義梵筆 大黒天図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫
37	仙厓義梵筆 虎図	掛幅・1幅	江戸時代後期	永青文庫

⑧ 世界考古学会議京都開催決定記念 近世京都の考古学者たち

会 期：2015年2月7日(土)～2015年4月19日(日)

前期展示：2月7日(土)～3月8日(日)

後期展示：3月10日(火)～4月19日(日)

概 要：「考古学のオリンピック」である世界考古学会議(WAC)の次回開催地が京都に決定した。地域に根ざした歴史研究の発達と国際的な学术交流の促進を目指す本会成功を祈念して、現在の日本考古学の発達に寄与した近世の考古

学に関する展覧会を開催した。江戸時代に京都を舞台に開催された好古サロンや京都ゆかりの考古学者などの仕事は、考古学の面白さや広がりを変えて伝えてくれる。

協 力：WAC Japan・WAC-8 京都実行委員会

資料数：20件

担当者：村野正景、植山 茂

【「世界考古学会議京都開催決定記念 近代京都の考古学者たち」展 出品資料一覧】

番号	資料	作者等	時代	所蔵	員数	展示期間
1	以文会筆記		江戸時代 (文化八年～万延元年)	天理大学附属天理図書館	33冊	※2
2	無仏齋手簡集 立原翠軒宛	藤原貞幹	江戸時代 (寛政元年～五年)	天理大学附属天理図書館	2帖	※3
3	古瓦譜 附録 原摺拓本	藤原貞幹	江戸時代	天理大学附属天理図書館	1軸	※3
4	国牛十図	藤原貞幹	江戸時代(安永七年)	天理大学附属天理図書館	1帖	※3
5	集古図	藤原貞幹	江戸時代末期	京都府立総合資料館	22巻	後期
6	集古図	藤原貞幹	明治時代初期	京都府立総合資料館	26巻	前期
7	御陵図絵	岡田幸賀	江戸時代 (文化・文政年間頃)	京都府立総合資料館	2巻	通期
8	大内裏図考証	裏松光世	江戸時代後期	古代学協会 (京都文化博物館寄託)	70冊	通期
9	院宮及私第図	裏松光世	江戸時代後期	古代学協会 (京都文化博物館寄託)	2巻	通期
10	平安城左右京職九条坊保図	伊藤東涯	江戸時代(宝永元年)	古代学協会 (京都文化博物館寄託)	1幅	後期
11	東三条殿復元模型		昭和四十年	京都文化博物館蔵	1点	通期
12	扶桑鐘銘集	岡崎信好	江戸時代(安永七年)	京都文化博物館蔵	3冊	通期
13	Nippon	シーボルト ,P.F.von.	1897年	京都文化博物館蔵	2冊	通期
14	公私古印譜	藤原貞幹	明治二十年	京都府立総合資料館蔵 (京都文化博物館管理)	1冊	前期
15	好古小録	藤原貞幹	江戸時代(安永七年)	京都府立総合資料館蔵 (京都文化博物館管理)	2冊	通期
16	好古日録	藤原貞幹	江戸時代(安永九年)	京都府立総合資料館蔵 (京都文化博物館管理)	2冊	通期
17	日嗣御子御陵		江戸時代	個人蔵	1冊	通期
18	文化山陵図 山田本		江戸時代	個人蔵	1冊	通期
19	山陵志	蒲生君平	江戸時代後期	個人蔵	1冊	通期
20	(参考出品)関連考古資料			京都文化博物館蔵		通期

※1 前期：2月7日(土)～3月8日(日) 後期：3月10日(火)～4月19日(日)

※2 2週間ごとに展示替え

※3 3月10日(火)～3月22日(日)

※4 展示期間が通期の資料も、前期と後期で場面替えや頁替えをおこなった

⑨ 増誉大僧正900年遠忌記念 聖護院門跡の名宝―門跡と山伏の歴史―

会 期：2015年3月21日(土・祝)～5月10日(日)
 前期展示：3月21日(土)～4月12日(日)
 後期展示：4月14日(水)～5月10日(日)
 概 要：聖護院は、門跡寺院にして修験道の本山であった。2014年秋、聖護院で増誉大僧正の900年遠忌大法要が厳修されたことを記念して、龍谷ミュージアムと京都文化博物館の二館で展覧会を同時開催した。京都文化博物館では、「門跡と山伏の歴史」と題して、①寺門派門跡、②門主と家臣、③入峯、④修験の本山という四つの視角から、特に重要な古文書・古絵図や山伏の道具類を紹介した。

主 催：京都府、京都文化博物館、龍谷大学 龍谷ミュージアム、読売新聞社
 共 催：本山修験宗総本山 聖護院門跡
 出品資料数：38件
 担当者：長村祥知
 記念講演会「聖護院と修験の美術」
 日時：4月25日(土)午前10時30分～正午
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：龍谷大学龍谷ミュージアム副館長・学芸員 石川知彦氏
 参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
 参加者数：45名

【「聖護院門跡の名宝―門跡と山伏の歴史―」展 出品資料一覧】

番号	指定	筆者等	名 称	材質	時代	員数	所蔵	期間
31		冷泉為恭 (1823-64)模写	役行者前後鬼・八大童子像	絹本着色	江戸・弘化5年(1848)	1幅	聖護院	通期
39			三井曼荼羅(本寺三宝)・修験五祖像	絹本着色	江戸・天保14年(1843)	双幅	聖護院	通期
49			不動明王二童子像	絹本着色	室町時代	1幅	聖護院	通期
125		狩野探幽 (1602-74)筆	友ヶ島図	絹本着色	江戸・万治4年(1661)	1巻	聖護院	通期
134		積善院有雅 (1625-1707)筆	護持僧次第	紙本墨書	江戸・明暦2年(1656)	1巻	聖護院(86箱76号)	通期 (巻き替え)
135			夜居関係文書集	紙本墨書	江戸時代	1巻	聖護院(85箱1号-②)	通期
136			四天王寺別当職文書集	紙本墨書	江戸時代	1巻	聖護院(83箱1号)	通期
137			観応二年九月廿七日 足利尊氏御内書	紙本墨書	南北朝・観応2年(1351)	1通	聖護院(134箱2号)	通期
138			十一月廿四日 足利義満御内書	紙本墨書	室町時代	1幅	聖護院(83箱4号)	通期
139			応安七年十二月廿五日 園城寺長吏御教書	紙本墨書	南北朝・応安7年(1374)	1通	聖護院(85箱10号)	通期
140	重要文化財		大島本 源氏物語	紙本墨書	室町・永禄7年(1564)		古代学協会(京都文化博物館寄託)	
		聖護院道増 (1508-71)筆	桐壺			1冊		前期
		聖護院道澄 (1544-1608)筆	夢浮橋			1冊		後期
141			照高院興意様関東御下向略記	紙本墨書	江戸・慶長14年(1609)	1帖	聖護院(93箱1号)	後期
142			道尊親王・道祐親王江戸御下向記	紙本墨書	江戸・元禄6年(1693)、 貞享4年(1687)	1冊	聖護院(93箱8号)	後期
143			十月廿六日 豊臣氏奉行人連署書状	紙本墨書	桃山時代	1幅	聖護院(134箱55号)	通期
144	重要文化財	後陽成天皇 (1571-1617)宸翰	初冬廿日 後陽成天皇宸翰消息	紙本墨書	桃山時代	1幅	聖護院	後期
145			寛文六年正月十三日 道晃親王知行宛行状	紙本墨書	江戸・寛文6年(1666)	1幅	聖護院(134箱14号)	通期
146			宝永六年六月十八日 道承親王二品位記	紙本墨書	江戸・宝永6年(1709)	1巻	聖護院(77箱28号)	前期
147			宝暦五年十月廿六日 増賞親王二品位記	紙本墨書	江戸・宝暦5年(1755)	1巻	聖護院(77箱30号)	後期

148			聖護院御門跡日々記	紙本墨書	江戸・寛永16年(1639)	1冊	聖護院(81箱10号)	前期
149			御日録	紙本墨書	江戸・元文3年(1738)、 宝暦4年(1754)~明和 2年(1765)	7冊	聖護院(1箱1~7号)	通期
150			五流修験関係史料 万治元年八月十三日 聖護院門跡令旨	紙本墨書	江戸・万治元年(1658)	1通	個人蔵	前期
			元禄十一年四月廿九日 三山檢校宮令旨	紙本墨書	江戸・元禄11年(1698)	1通		前期
			寛延三年九月二日 聖護院宮令旨	紙本墨書	江戸・寛延3年(1750)	1通		後期
151			聖護院印章類	木製	江戸時代~近代	6顆	聖護院	通期
			双郭長方印 「熊野三山檢校」				聖護院(157箱1号)	通期
			長方角切印 「勝軍地藏尊」				聖護院(157箱20号)	通期
			方印「評席之印」				聖護院(157箱23号)	通期
			方印「本山修験」				聖護院(157箱50号)	通期
			長方印「福豆」				聖護院(157箱71号)	通期
			火焰宝珠				聖護院(157箱72号)	通期
152			先達仲間記録箱	木製	江戸・天明2年(1782)	1合	聖護院(91箱)	通期
153			現参牒 第一	紙本墨書	江戸・元禄8年(1695) ~享保3年(1718)	1冊	聖護院(91箱1号)	通期
154	積善院尊雅 (1555-?)筆		葛城手日記并坊布施式等	紙本墨書	桃山・慶長13年(1608)	1帖	聖護院(83箱15号)	通期
155	積善院浄雅 (1625-1707)筆		慶安四年 峯中記	紙本墨書	江戸・慶安4年(1651)	1冊	聖護院(90箱2号)	前期
156			峯中秘所並靡次第	紙本墨書	江戸・正徳3年(1713)	1冊	聖護院(90箱10号)	後期
157			深仙灌頂血脈	紙本墨書	江戸・天保10年(1839)	1通	聖護院(90箱28号)	通期
159			修験道所用具				聖護院	通期
			鉄入峯斧		江戸・貞享4年(1687)	1柄		通期
			木製金剛杖		江戸・元禄6年(1693)	1柄		通期
			黒漆塗 菊花唐草文 板笈		江戸時代	1背		通期
			法螺貝		江戸時代	1口		通期
			朱漆塗 法具櫃		江戸時代	1合		通期
160			雄仁親王入峯装束				聖護院	通期
			行者頭巾		江戸時代			通期
			忍摺 鈴懸		江戸時代			通期
			結袈裟		江戸時代			通期
			螺緒		江戸時代			通期
161	重要文化財	光格天皇 (1771-1840)宸翰	寛政十一年正月廿五日 神変大菩薩諡号勅書	紙本墨書	江戸・寛政11年(1799)	1幅	聖護院	前期
162	重要文化財		山城国富家殿山絵図	紙本着色	南北朝時代	1幅	聖護院	前期
163			長谷村御殿内山之図	紙本着色	江戸・明和4年(1767)	1舗	聖護院(129箱4号)	後期
165		伊勢貞親 (1417-73)筆	応仁元年八月三日 伊勢貞親太刀寄進状	紙本墨書	室町・応仁元年(1467)	1通	聖護院(163箱10号)	通期
166			明応八年八月五日 室町幕府下知状	紙本墨書	戦国・明応8年(1499)	1通	聖護院(83箱7号)	通期
167			天正十六年正月 豊臣秀次禁制	紙本墨書	桃山・天正16年(1588)	1通	聖護院(158箱2号)	通期
168			寛文八年十二月廿六日 江戸幕府修験定書 (本山・当山事)	紙本墨書	江戸・寛文8年(1668)	1通	聖護院(83箱25号①)	後期
169			貞享元年七月四日 江戸幕府修験定書 (本山・羽黒山伏事)	紙本墨書	江戸・貞享元年(1684)	1通	聖護院(83箱25号②)	後期

※No.は図録『聖護院門跡の名宝』による。

※聖護院文書○箱△号は、所蔵欄に「聖護院(○箱△号)」のように記した。

4) 3階展示室

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

① 京都府所蔵品による 京・食・美～食をめぐる表現～展

会 期：2014年10月4日(土)～11月24日(月・振休)

会 場：3階展示室

概 要：京野菜の賀茂茄子や京たけのこを描いた絵画や京焼の器などを通して、京都の作家たちがどのような眼差しを「食」にむけていたかを探る。

出品作品：中路融人「柚の里」ほか 106点

担当者：洲鎌佐智子

入場者数：9,951人(1日平均473人)



「京・食・美～食をめぐる表現～展」会場風景

【関連行事】

期間中、文博子ども教室にてワークショップ開催
親子で挑戦！画家さんといっしょに野菜を日本画で描こう！

日時：11月22日(土) 午前10時～午後1時

場所：当館3階やすらぎコーナー

講師：鵜飼雅樹氏(日本画家)

参加者数：親子12名



ワークショップの様子

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

② 京都老舗の文化史 —千總460年の歴史

会 期：2015年1月6日(火)～2月11日(水・祝)

会 場：第一会場＝当館3階展示室

第二会場＝千總ギャラリー

入場料：第一会場＝一般500円(400円)/大学生400円
(320円)/小中高生無料*()内は団体料金
第二会場＝無料

主 催：京都府、京都文化博物館、千總、京都新聞

協 力：(株)千吉商店、千切屋治兵衛(株)、宮内庁三
の丸尚蔵館、清水三年坂美術館

協 賛：(株)大伸社

担当者：畑 智子、西山 剛

入場者：18,542人(1日平均 579.4人)

【概 要】

弘治年間(1555-58)に法衣業を創始した初代千切屋與三右衛門(西村貞喜)を祖とする(株)千總是、2015年に創業460年を迎えた。千切屋惣左衛門家は、三代千切屋與三右衛門の分家筋にあたり、寛文12(1672)年貞道は宗左衛門と称して家を構える。

千切屋一門は江戸時代に衣棚町を中心に興隆し、惣左

衛門家は主に東本願寺を中心に法衣(織)を取り扱ったが、江戸中期ころから友禅(染)も手掛けるようになった。

明治期、天皇の東幸や周辺の公卿の東京移転、神仏分離などの社会の大きな変動の中で、京都の産業界は生き残りの模索を余儀なくされる。漢学者三国幽眠の息子・直篤は、養子となって十二代西村總左衛門となり、この大変動の窮地において、新しいビロード友禅などの技術によって新境地を開き、海外博覧会にも出品してその名を広く知らしめた。本展は、こうした千總の歴史に焦点をあてて、京の老舗460年の足跡の一端を明らかにした。

【展覧会の構成と主な出品作品】

〈第一部〉

1. 千切屋の創始

「春日社千切花の図」菊池容齋筆、1845、千吉商店蔵

「千切屋家訓」1745、千切屋治兵衛蔵

2. 法衣商からの創業

「装束法衣貼交帖」1981、千總蔵

3. 近代の変革

1) 博覧会への参画「佛国万国大博覧会出品写」1889、千總蔵 2) 京都画壇との連携「保津川図屏風」円山応挙筆、1795、千總蔵 3) 衣装とデザイン「鶉飼紋様小袖」18世紀、千總蔵

4. 昭和から現代へ 「裾模様」1930-40、千總蔵

〈第二部〉 十二代西村總左衛門の活躍(第二会場)

【出品作品数】 絵画、染織、古文書、図案帖など108点。

【関連行事】

〔1〕担当学芸員によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

1月9日(金)、1月23日(金)

参加者数：それぞれ約30名

担当：畑



一門の名にかけて守り続けた、暖簾がある

千總460年の歴史

—京都老舗の文化史—

2015年1月6日[火]—2月11日[水・祝]

第1会場：京都文化博物館3階総合展示室 (全期中、中央の一般展示場と併設して)
 開館時間：午前10時—午後7時30分(入館は30分前まで)
 入館料：一般観覧料[400円]、学生料[200円]、高齢者[100円]、高齢者以下無料 ※19歳以下は無料

第2会場：千總ギャラリー
 会期：2015年1月20日[火]—2月11日[水・祝]

開館時間：午前10時—午後7時

入館料：無料

特別展：各会場共に、特別展(観覧料別掲、要予約)

主催：京都府、京都文化博物館、千總、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館

京都文化博物館
 〒600-8501 京都府京都市中京区三条東
 TEL:075-221-0088 FAX:075-221-0089
 http://www.kyoculturalmuseum.jp

「京都老舗の文化史—千總460年の歴史」ちらし



「京都老舗の文化史—千總460年の歴史」会場風景

5) ぶんぱく京都講座

① 東寺百合文書の史料学

日時：2014年6月1日(日)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：長村祥知
参加費：500円
参加者数：59名
概要：文字史料は、一点一点からは断片的な情報しか得られない場合もあるが、まとまって残っていれば、そこから得られる情報は飛躍的に大きなものとなる。東寺百合文書は、“まとまり”の醍醐味を存分に感じることが出来る、世界でも屈指の2万5000通以上に及ぶ一大古文書群である。1000年以上にわたって大切に保存・管理されてきた、東寺百合文書の魅力を考えた。

② 京都・祇園祭の物語

～かわるまつり・かわらないまつり～

日時：2014年7月5日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：橋本章
参加費：500円
参加者数：90名
概要：大船鉦は、祇園祭の後祭巡行の最後を飾る鉦として、巡行のしんがりをつとめる役割を担ってきたが、元治元年(1864)の蛤御門の変に端を発する大火で焼失した。しかし、平成26年に大船鉦は復興され、祇園祭の山鉦巡行への参加を果たした。また今年は大船鉦の復興が契機となり、昭和41年(1966)から合一されてきた前祭と後祭の巡行が実に49年ぶりに復活された。本講座では、大船鉦が復活する事を記念し、そのあゆみについて紹介すると共に、祇園祭が長い歴史のなかで変化し続けてきたことと、その中でも変わる事なく守り伝えられてきたことについて解説した。

③ 近代京都の興行街にみる映画と演劇

日時：2015年2月7日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：大矢敦子
参加費：500円
参加者数：29名
概要：近代化の流れの中で、京都は映画を育み文化として花開かせた。産業としてまた文化として「作る」側から見た映画史は今まで多く語られてきているが、一方で映画を「かける」側、つまり当時の映画興行が行われた場所と、それまで興行のメインとなっていた芝居興行との関係については、一般的にはあまり知られていないのではないだろうか。同時期に興行街をにぎわせていた歌舞伎や新派などの芝居は、様々なレベルで映画を取り込んできた。今回は、新京極という京都を代表する興行街の事例を中心に、映画という新しいメディアの登場を通し変化していった演劇と映画の様相を紐解く。

④ 平安京研究の道のり

日時：2015年3月14日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：植山 茂
参加費：500円
参加者数：61名
概要：江戸時代の平安京に関する研究は、古来の有職故実考証にとどまらず、具体的な平安時代像を復原する研究が進んだ。また、平安宮跡をはじめ各地の旧跡出土瓦の蒐集が盛んになる。明治時代になると平安京遷都1100周年を機会に、平安京への関心が高まる。そして現在は、発掘調査によって平安京の実態が明らかになってきた。平安京が、王朝文化のイメージの世界から、現実に存在したことを実感できるようになってきた研究の過程を紹介した。

Ⅲ - 2 特別展示

1) 特別展

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 特別展

① 光の賛歌 印象派展 ～パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺を辿る旅～

会 期：2014年3月11日(火)～5月11日(日)

[55/62日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般：1,200円(900円)／大高生：800円(700円)／中小生：400円(300円)

※()内は、前売及び20名以上の団体割引料金

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、京都新聞

後 援：外務省、文化庁、アメリカ合衆国大使館、オーストラリア大使館、カナダ大使館、スイス大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、ブリテイッシュカウンシル、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

特別協賛：凸版印刷株式会社、三菱UFJ信託銀行

協 賛：王子ホールディング株式会社、清水建設株式会社、新菱冷熱工業株式会社、野崎印刷紙業株式会社

協 力：日本航空、NHKエデュケーショナル、ヤマトロジスティクス

企 画：東京富士美術館

担当者：洲鎌佐智子

入場者数：310,219人(1日平均約5,540人)〈全会期〉

【概 要】

本展は、8カ国35館から集められた全73点の作品によって、印象派の画家たちが追い求めた「光の中の風景」に迫ったもので、セーヌやノルマンディの「水辺」を描いた珠玉の作品を一堂に紹介したもの。

【展覧会の構成】

序章 印象派の先駆者たち 近代風景画の先駆者たち



「光の賛歌 印象派展」ちらし

水辺の風景画の源流を訪ね、17世紀オランダのホイエン、19世紀前半に活躍したイギリスの巨匠ターナー、クールベ、そして自然観照を旨とするバルビゾン派など印象派に影響を与えた画家の作品を紹介。

第1章 セーヌ川の憩い パリ近郊の川辺を描く画家たち
印象派の画家が訪れたお気に入りのセーヌ河畔の水辺の風景を描いた作品を中心に紹介。
ノルマンディ海岸の陽光 海辺を描く画家たち
ここではセーヌ川が注ぎ込むノルマンディ海岸の風景を紹介。

【出品作品数】 73点

【関連行事】

〔1〕講演会

「水辺の印象派―描かれた川、池、海をめぐって―」

日時：4月5日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：三浦篤氏(東京大学教授)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者：150名



「光の賛歌 印象派展」会場風景

III-2 特別展示 ▶ 1) 特別展

② 没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展

会 期：2014年6月7日(土)～7月21日(月・祝)

[39/45日間]

休館日：毎週月曜日(ただし7月16日は開館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,200円(1000円)／大高生800円(600円)
／中小生400円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、東京
国立博物館、東京文化財研究所

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、公益社団法人京都府観光連
盟、公益社団法人京都市観光協会、歴史街道
推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エ
フエム京都

協 賛：大伸社

担当者：植田彩芳子、林 智子

入場者：42,894人(1日平均 1099.8人)

【概 要】

平成26年(2014)は、日本近代洋画の父として知られる黒田清輝の没後90年にあたる。これを記念して、京都府では実に戦後初となる黒田清輝の回顧展を開催した。黒田清輝は、明治から大正期の日本洋画界に大き



「黒田清輝展」ちらし

な影響を与えた。幕末期の鹿兒島に生まれた黒田は維新後に上京、法律家を目指してフランスに留学する。しかし、パリで絵画に興味を抱くようになり、外光派の画家ラファエル・コランに師事、西洋の本格的な絵画技術を学ぶ。帰国後は、それまでになかった明るい外光表現を日本へもたらす。京都を訪れて着想を得た「昔語り」の関連作品群、芦ノ湖のほとりで涼む女性を描いた「湖畔」(重要文化財)や、日本人女性の裸体像を描いた「智・感・情」(重要文化財)といった名作・話題作を次々と発表し、洋画界をリードした。その後、文展の開設にも関与するなど、美術行政家としても活躍し、明治43年には洋画家として初めて帝室技芸員になる。また、大正9年には貴族院議員になるなど、大正13年(1924)7月15日に亡くなるまで公人として多忙な日々を過ごした。本展では、黒田清輝作品の中から油彩画、素描等の代表作約160点および写生帖、書簡等の資料を紹介。これらは黒田清輝の遺言により、昭和5年に創設された美術研究所(現在の東京文化財研究所)に寄贈され、その後、東京国立博物館に移管された作品群である。本展では黒田清輝の画業を4つのセクションに分けて、その功績をたどった。

【展覧会の構成と主な出品作品】

- I パリ留学、そして転進
 - 「自画像」明治18年(1885)
 - 「画室の一隅」明治22年(1889)
- II パリからグレー＝シュル＝ロワンへ
 - 「網物」明治23年(1890)
 - 「赤髪の少女」明治25年(1892)
- III 白馬会の時代
 - 「昔語り下絵(構図Ⅱ)」明治29年(1896)
 - 「湖畔」明治30年(1897) 重要文化財
 - 「智・感・情」明治32年(1899) 重要文化財
- IV 文展・帝展時代
 - 「花野」明治40～大正4年(1907-15)
 - 「もるる日影」大正3年(1914)
 - 「栗拾い」大正6年(1917)

【出品作品数】 147点+特別出品11点+資料類(写生帖・書簡・参考資料)29点



「黒田清輝展」ギャラリートーク

【関連行事】

- 〔1〕特別講演会「黒田清輝と日本の近代美術」
 - 日時：6月7日(土) 午後2時～午後3時半
 - 場所：当館別館ホール
 - 講師：塩谷純氏(東京文化財研究所企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)
 - 参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
 - 参加者数：120名
- 〔2〕レクチャー「黒田清輝は京都で何をみたか」
 - 日時：6月21日(土) 午前10時半～正午
 - 場所：当館3階フィルムシアター
 - 講師：植田彩芳子(当館学芸員)
 - 参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
 - 参加者数：83名
- 〔3〕ミニ解説付きコンサート
 - 「黒田清輝の名画とフランス音楽」
 - 日時：6月20日(金) 午後6時～午後7時半
 - 場所：当館別館ホール
 - 演奏者：京都市立大学音楽学部生
 - Ft 大村優希恵、Ob 山田千晴、Cl 刀田大生、Hr 山本愛沙子、Fg 東田尚子
 - *協力：京都市立芸術大学キャリアアップセンター
 - 解説：植田彩芳子(当館学芸員)
 - 参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
 - 参加者数：80名
- 〔4〕担当学芸員によるギャラリートーク
 - 展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)
 - 6月13日(金)、6月27日(金)、7月11日(金)
 - 参加者数：それぞれ35名、60名、80名
 - 担当：植田

③ 宇宙兄弟展

会 期：2014年7月30日(水)～9月23日(火・祝)
 [49/56日間]
 休館日：毎週月曜日(ただし、9月15日、9月22日は
 開館)、9月16日
 会 場：4階・3階展示室
 入場料：一般1,000円(800円)／大高生700円(550円)
 ／中小生400円(300円)
 主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、読売
 テレビ、ローソンHMVエンタテイメント、講
 談社
 後 援：文部科学省、京都市、京都府教育委員会、京
 都市教育委員会、京都商工会議所、(公社)京
 都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史
 街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都
 協 賛：大塚製薬、京都産業大学、ダイワボウ情報シ
 ステム、大和ハウス工業
 特別協力：コルク、宇宙航空研究開発機構JAXA
 協 力：有人宇宙システムJAMSS
 担当者：森脇清隆、村野正景
 入場者数：44,942人(1日平均917人)



「宇宙兄弟展」ちらし

【概 要】

少年時代に誓い合った宇宙飛行士の夢を追い、ともに宇宙を目指す兄弟を描いた人気漫画『宇宙兄弟』の初の大規模作品展。「展覧会を通じて子どもたちに宇宙に興味をもってもらいたい」という京都出身の原作者・小山宙哉の思いを形にするべく企画した。マンガ原画約200点を中心に、テレビアニメの設定画など関連資料を一堂に紹介するとともに、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から借用する宇宙関連資料、京都府が所蔵する江戸時代に京都に落下した隕石などもあわせて展示し、原作者のサイン会も開催し、原作と宇宙の魅力を伝えた。また、開催期間が夏休みということもあり、宇宙兄弟というマンガをきっかけに宇宙への夢を育てて貰うために、「おもしろ宇宙体験ラボ」と題し、傘袋を使ったロケットや紙コップを使ったロボットハンド等の製作体験コーナーを充実させた。子ども達だけではなく、幅広い年齢層から人気を得た。また、女性宇宙飛行士の山崎直子さんの講演会を開催した。子どもの頃



「宇宙兄弟展」会場風景

からの宇宙への夢や宇宙での生活などが披露されたが、女の子達が瞳を輝かせて耳を傾けていたのが印象的であった。

【展覧会の構成】

- 第一章 プロローグ 子ども時代、宇宙への憧れ
- 第二章 宇宙飛行士を目指して(選抜・訓練エリア)
- 第三章 月面着陸
- 第四章 それぞれの絆
- 第五章 カラー原画 漫画・アニメ資料展示
- 特別展示 APO特集

【出品数】 約255点

【関連行事】

〔1〕「宇宙兄弟展」オープニング記念講演会

日時：7月30日(水) 午後2時～4時

場所：当館別館ホール

- ・第1部 「神山天文台から宇宙へ
～宇宙への夢をはぐくむ～」
講師：河北秀世氏(京都産業大学理学部教授・
神山天文台長)
- ・第2部 「宇宙、人、夢をつなぐ
～宇宙兄弟を通して～」
講師：山崎直子氏(宇宙飛行士)
- ・質疑応答
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：225名

〔2〕おもしろ宇宙体験ラボ

日時：8月2日(土)、3日(日) 午後2時～4時

場所：当館3階ワークショップコーナー

講師：馬淵正展氏(宇宙教育コーディネーター)

参加費：一人500円

参加者数：約40名

〔3〕オモシロ科学体験コーナー

場所：当館3階ワークショップコーナー

参加費：いずれも無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

・「教育戦隊ダイキョーVと宇宙を探索しよう」

日時：8月9日(土) 午後2時～2時50分、
午後3時～3時50分の2回

講師：山敷達也氏、上玉利敦氏(大阪教育大学
SF同好会OBコンビ)

参加者数：45名

・「宇宙学生団体Noti'sと太陽系をロケットで

旅しよう！」太陽模型+傘袋ロケット

日時：8月16日(日) 午後2時～2時50分、
午後3時～3時50分の2回

講師：学生宇宙団体Noti'sメンバー(牧澤遼氏、
石田新司氏他)

参加者数：50名

・「宇宙オヤジと宇宙飛行士に挑戦」

真空実験+ホワイトパズル

日時：8月23日(土) 午後2時～2時50分、
午後3時～3時50分の2回

講師：川喜多 誠二氏

参加者数：50名

〔4〕体験講座 宇宙の魅力に迫る

～宇宙に関わる仕事を通じて～

日時：8月22日(金) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：河北秀世氏(京都産業大学理学部教授・
神山天文台長)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：90名



オープニング記念講演会

④ 野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展

会 期：2014年10月7日(火)～12月7日(日)

[54/62日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階展示室・3階フィルムシアター前

入場料：一般1,000円(800円)／大高生700円(550円)
／中小生400円(300円)

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社

後 援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フラン
セ日本、京都市、京都府教育委員会、京都市
教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都府
観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史街道
推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エ
フエム京都

協 力：公益財団法人川喜多記念映画文化財団、北原
照久コレクション、清水俊宏コレクション、
東京国立近代美術館フィルムセンター

企画協力：NPO法人古き良き文化を継承する会(代表：
根本隆一郎)

協 賛：大伸社

担当者：大矢敦子

入場者数：13,547人(1日平均 約251人)



「野口久光 シネマ・グラフィックス
魅惑のヨーロッパ映画ポスター展」ちらし

【概 要】

戦前・戦後の映画黄金期に、映画ポスターデザイナーの第一人者として活躍し、数々の名作ポスターを手がけた野口久光(1909-1994)。彼は演劇・映画・音楽に精通した文化人であり、その豊富な蓄積を糧にデザインされた作品は、今もデザイン界に影響を与え続けている。今回は、野口の描いた著名な欧州映画のポスターや原画を中心に、俳優のポートレイトのデッサン、装丁を担当した本や雑誌、レコードジャケット等を展示し、彼の映画を軸とした幅広いグラフィックの世界を御覧いただいた。

【展覧会の構成】

プロローグ

- ・若き日の映画ノート、美校時代のスクラップ



「野口久光 シネマ・グラフィックス
魅惑のヨーロッパ映画ポスター展」会場風景

第1章 シネマ・グラフィック ポスター 1933-1940

・《ポスター》『制服の処女』1933年、『少年探偵団』1934年など
・《映像》野口本人編集の名場面映像『想い出の欧州映画』。

第2章 シネマ・グラフィック ポスター 1947-1992

・《ポスター》『天井桟敷の人々』1952年、『禁じられた遊び』1953年など
・《原画》『旅情』、『恋多き女』、『チャップリンの独裁者』
・《カードと書簡》フランソワ・トリュフォー監督から川喜多夫妻に送られたカードと書簡
・《映像》「東和商事配給作品予告編集」

第3章 グラフィック・デザイナーとしての多彩なアート・ワーク

・《映画音楽楽譜》『家なき児』、『花咲く頃』、『会議は踊る』、『ワルツ合戦』など
・《ジャズ・アーティストスケッチ、ジャズフォトグラフ》「ベニー・グッドマン」、「ホーギー・カーマイケル&ザ・ピーナッツ」など
エピソード
・《愛用品》めがね、絵筆類、絵具類
・《ポスター》『愛するということ』

【出品数】 422点

【関連行事】

〔1〕講演会

「野口久光 一映画をこよなく愛したその人柄と魅力」

日時：11月8日(土)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：大林宣彦氏(映画作家)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：120名

〔2〕コンサート「ジャズで奏でる映画音楽」

日時：10月26日(日)午後2時～午後3時30分

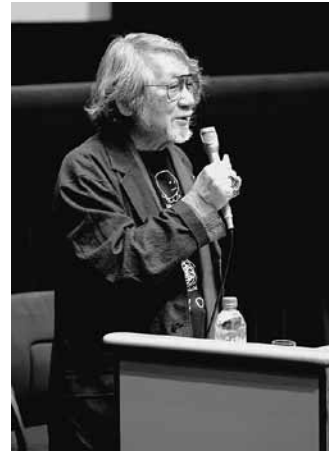
場所：別館ホール

演奏者：野口久和(ピアノ)、日景修(コントラバス)、藤井学(ドラム)

演奏曲：『第三の男』のテーマ、『ウエスト・サイド物語』より"Cool"など

参加費：1,000円と本展覧会入場券[半券可]

参加者数：119名



「野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展」講演会

〔3〕映画上映会「野口久光の愛した映画たち」

・10月7日(火) 午後6時30分～

『大人は判ってくれない』(仏/59)

・10月11日(土) 午後1時30分～、午後5時～

『赤い靴』(英/48)

・10月12日(日) 午後1時30分～、午後5時～

『天井桟敷の人々』(仏/45)

・10月13日(月祝) 午後1時30分～、午後5時～

『巴里の空の下セーヌは流れる』(仏/51)

・10月15日(水) 午後1時30分～、午後6時30分～

『グレン・ミラー物語』(米/54)

・10月16日(木) 午後1時30分～、午後6時30分～

『禁じられた遊び』(仏/52)

・10月18日(土) 午後1時30分～、午後5時～

『肉体の悪魔』(仏/47)

・10月19日(日) 午後1時30分～、午後5時～

『居酒屋』(仏/56)

・11月8日(土) 午後1時30分～、午後5時～

『ふたり』(日/91)

※ただし、10月13日(月祝)は台風の影響の為、2回目の上映は中止となった。

場所：本館3階フィルムシアター

入場料：一般800円、小学生～大学生および当館友の会会員500円

参加者数：計1,011名

(『大人は判ってくれない』78名、『赤い靴』143名、『天井桟敷の人々』109名、『巴里の空の下セーヌは流れる』58名、『グレン・ミラー物語』153名、『禁

『じられた遊び』122名、『肉体の悪魔』106名、『居酒屋』133名、『ふたり』109名)

【その他】

〔1〕プレ展示：JAZZ&JAZZ協賛企画

「野口久光 ジャズ・フォトグラフ展」

場所：別館三条入口ロビー

期間：2014年9月22日(月)～9月28日(日)

展示内容：9月23日(火・祝)のJAZZ&JAZZに合わせ、野口久光撮影のジャズメンのポートレート写真を5点展示。

〔2〕関連展示：「川喜多長政・かちこ夫妻の功績」

場所：当館3階フィルムシアター前ロビー

期間：2014年10月7日(火)～12月7日(日)

展示内容：野口久光に縁が深く、日本のフィルムアーカイブや日本映画の紹介に尽力された川喜多長政・かちこ夫妻のこれまでの活動を振り返り、川喜多記念映画文化財団より資料をお借りし、当館所蔵のパンフレットやポスターと併せて展示。

⑤ 京を描く—洛中洛外図の時代—

会 期：2015年3月1日(日)～4月12日(日)

[37/43日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,200円(1,000円)／大高生800円(600円)／中小生400円(300円)

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、国立歴史民俗博物館、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、京都新聞

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

協 賛：京都外国語大学、日本写真印刷株式会社

協 力：立命館大学アート・リサーチセンター

担当者：西山 剛・森 道彦

入場者：35,771人(1日平均 966.7人)

【概 要】

首都京都の全景を一双の屏風に描く洛中洛外図屏風は、16世紀初頭に登場する。現実の都市社会を題材に、権力者の政治体制から京都町衆の生活の一齣までを生き生きと描き、応仁・文明の乱から復興し、新たな近世都市へ向かう京都の姿を活写した。その後、この洛中洛外図は江戸時代を通じて制作され続け、都市の変



「京を描く—洛中洛外図の時代—」ちらし

化に応じて、多様な要素を盛り込みながら展開していった。本展では、国立歴史民俗博物館の国内有数の洛中洛外図屏風コレクションを中心としながら、醸成される京都文化と都市のありようを絵画、文献、考古資料など、多様な資料を用いて紹介した。

【展覧会の構成】

- 第1章 中世の京都像
- 第2章 洛中洛外図屏風の出現
- 第3章 変貌する京と洛中洛外図
- 第4章 京の平和と営み
- 第5章 京の真景
- 終章 近代京都と新たな名所

【主な出品作品】

- ・重要文化財 洛中洛外図屏風 歴博甲本(国立歴史民俗博物館蔵)
- ・重要文化財 洛中洛外図屏風 歴博乙本(国立歴史民俗博物館蔵)
- ・重要文化財 洛中洛外図屏風 舟木本(東京国立博物館蔵)
- ・月次風俗図扇面流屏風(光円寺蔵)
- ・狩野永徳筆 洛外名所遊楽図屏風(個人蔵)
- ・岩佐派 誓願寺門前図屏風(京都文化博物館蔵)など

【出品数】 64点

【関連行事】

〔1〕講演会 「洛中洛外図を楽しく見る」

日時：3月15日(日) 午前10時30分～正午
場所：当館3階フィルムシアター
講師：奥平俊六氏(大阪大学)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：135名

〔2〕記念シンポジウム「洛中洛外図が語ること」

日時：3月28日(土) 午後1時30分～午後4時
場所：当館3階フィルムシアター
パネラー：小島道裕氏(国立歴史民俗博物館)、
大塚活美氏(京都府立総合資料館)、
西山 剛、森 道彦(当館学芸員)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：140名

〔3〕プレ開催記念イベント「新しい京を描こう！」

未来の洛中洛外図プロジェクト

日時：〈ステップ1〉2014年6月14日(土)か6月15日(日)いずれも午前10時30分～午後12時30分
〈ステップ2〉参加者各自の活動
〈ステップ3〉2014年7月5日(土)か7月6日(日)いずれも午前10時30分～午後12時30分

場所：当館別館講義室

参加費：無料

参加者数：12組47名

〔4〕歴史散策「洛中洛外図を歩く一春の京都めぐり」

日時：3月19日(木) 午後1時～午後5時
場所：京都市内各所
講師：西山 剛・森 道彦(当館学芸員)
参加費：500円(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：21名

〔5〕ワークショップ「お菓子な風景」

日時：3月21日(土) 午後3時～午後5時
場所：京都文化博物館 別館2階 講義室
講師：瓜生祐子氏(画家)
参加費：500円(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：10組20名

〔6〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)
2014年12月22日(金)、3月15日(金)
いずれも、担当：西山 剛・森 道彦



「京を描く—洛中洛外図の時代—」会場風景

⑥ 琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の伝統から、RIMPAの創造へ～

会 期：2015年1月24日(土)～2月8日(日)

[14/16日間]

休館日：毎週月曜日(ただし、14日(月・祝)は開館、
15日休館)

会 場：4階展示室 別館ホール

入場料：一般500円(400円)／大学生400円(320円)
／高校生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都国際現代芸術
祭組織委員会

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都
支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、
日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、
KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京
都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、京
都彫刻家協会

担当者：植田彩芳子、林 智子

入場者：本展(4階、有料スペース)9,997人(1日平均
714人)、
特別出品(別館、無料スペース)20,403人(1日
平均1,457人)
合計 30,400人

【選考委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、
高階絵里加(京都大学准教授)、建畠哲(京都市立芸術大
学長)、平井章一(京都国立近代美術館主任研究員)

(五十音順)

【審査委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、
高階絵里加(京都大学准教授)、建畠哲(京都市立芸術大
学長)、辻恒雄(MIHO MUSEUM館長)、平井章一(京都
国立近代美術館主任研究員)

(五十音順)

【概 要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、作家が創造するみずみずしい作品を京都から積極的に発信することを目的とした。2015年(平成27)は

「PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭 2015」と「琳派400年記念祭」の開催の年にあたる。本展は、京都が生んだ「琳派」の美意識や精神を作家が現代の感性で解釈し、新しい表現をめざすことを目的とした。また特別出品として、京都を本拠地として活躍をされている芸術家による、創造性溢れる作品「鸚鵡図」を紹介。

【出品作家】

秋山はるか、井浦崇×大島幸代*、石塚源太*、植葉香澄、
瓜生祐子*、小川直樹、賀門利誓、川本明香、菅かおる、
酒井稚恵、塩見友梨奈、鄭炳蜜、勢藤明紗子、高石麻代、
高木智子、谷澤紗和子、ツツミアスカ、唐仁原希、富
倉崇嗣、外山寛子、中村牧子、榎木野淑子、二階武宏、
野嶋革、羽毛田優子、服部しほり、馬場晋作、人長果
月*、メリンダ・ヒール、福山竜助*、松村綾香、松本
圭祐、宮田彩加、宮永亮、村田彩、森絵実子、山下萌、
山下裕美子、山地咲希、山本雄教、吉岡千尋*、吉田翔、
吉田芙希子、渡邊操

(*印は平成25年度京都府美術工芸新鋭展受賞者)

【特別出品作家】

椿昇(つばき・のぼる) コンテンポラリー・アーティスト
京都市立芸術大学美術専攻科修了。1993年のベネチ
ア・ビエンナーレに出品。2001年の横浜トリエンナー
レでは、巨大なバットのバルーン《インセクト・ワール
ドー飛蝗(バット)》を発表。2003年水戸芸術館、2009
年京都国立近代美術館、2012年霧島アートの森(鹿児島)
で個展。2013年瀬戸内芸術祭「髻+坂手プロジェクト」ディレクターを始め大きな経済効果をあげる。京都造形芸術大学美術工芸学科の卒業をアートフェア化、内需マーケット育成のためにアルトテックを創設。アートプロジェクトを持続可能社会実現のイノベーションツールと位置づけている。

<http://artotheque.jp/>

特別出品作品「鸚鵡図」は別館ホールにて、同日間展示。

【出品作品数】 44点+特別出品1点

【関連行事】

〔1〕椿昇氏(特別出品作家)による

アーティストトークと音楽会

日時：1月25日(日)午後1時～午後2時15分頃

講師：椿昇氏(特別出品作家)

演奏者：木口雄人(ピアノ)、川崎慎一郎(テノール)

曲目：ピアノ(リスト：スペイン狂詩曲、他)

テノール(ヴェルディ：オペラ『椿姫』より

「燃える心を」、レオンカヴァッロ：「朝の歌」、他)

会場：当館別館ホール

参加費：無料

参加者数：150名

〔2〕出品作家によるギャラリートーク

当館4階展示室内にて、各日午後2時～

1月31日(土)、2月7日(土)

参加者数：それぞれ65名、72名

〔3〕別館2階から特別出品作品を見よう！ツアー

椿昇氏の特別出品作品を、普段は上れない別館2階から見るツアー。

2月1日(日)、8日(日)

両日とも午前11時から午後12時、午後1時から午後2時の間のみ

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：それぞれ49名、57名



「琳派400年記念 新鋭選抜展」会場風景



椿昇氏(特別出品作家)による
特別出品作品[鸚鵡図]

【受賞作品】

最優秀賞 1点【賞状、副賞金50万円】

賞名	氏名	分野	作品名
最優秀賞	人長 果月	立体	Carpe diem

優秀賞 1点【賞状、副賞金10万円】

賞名	氏名	分野	作品名
優秀賞	菅 かおる	平面	across the universe

メディア賞 7点【賞状】

賞名	氏名	分野	作品名
京都新聞賞	井浦 崇+大島 幸代	立体	Designing Nature 燕子花
朝日新聞社賞	石塚 源太	立体	塗景
毎日新聞社賞	植葉 香澄	立体	キメラ
読売新聞社賞	高木 智子	平面	たばこ屋さん
産経新聞社賞	唐仁原 希	平面	キミを知らない
日本経済新聞社京都支社賞	外山 寛子	平面	日々燦々
NHK京都放送局長賞	吉田芙希子	平面	Windy Willow's

*2014(平成26)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
光の賛歌 印象派展	2014.4.1(3.11)～5.11	37	252,548	6,826	共催
没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	2014.6.7～7.21	39	42,894	1,100	共催
宇宙兄弟展	2014.7.30～9.23	49	44,942	917	共催
野口久光シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	2014.10.7～12.7	54	13,547	251	共催
琳派400年記念 新鋭選抜展 琳派の伝統から、RIMPAの創造へ	2015.1.24～2.8	14	30,400	2,171	委託
京を描くー洛中洛外図の時代ー	2015.3.1～3.31(4.12)	26	22,610	870	共催
計6件		219	406,941	1,858	

*2014(平成26)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2014.4.5	光の賛歌 印象派展	講演会「水辺の印象派ー描かれた川、池、海をめぐってー」	三浦篤氏(東京大学教授)
6.7	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	特別講演会「黒田清輝と日本の近代美術」	塩谷純氏(東京文化財研究所企画情報部 近・現代視覚芸術研究室長)
6.13	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
6.14～15	京を描くー洛中洛外図の時代ー	プレ開催記念イベント「新しい京を描こう！ 未来の洛中洛外図プロジェクト」ステップ1	西山剛(当館学芸員)
6.20	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	ミニ解説付きコンサート「黒田清輝の名画と フランス音楽」	京都市立大学音楽学部生
6.21	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	レクチャー「黒田清輝は京都で何を見たか」	植田彩芳子(当館学芸員)
6.27	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
7.5～6	京を描くー洛中洛外図の時代ー	プレ開催記念イベント「新しい京を描こう！ 未来の洛中洛外図プロジェクト」ステップ3	西山剛(当館学芸員)
7.11	没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
7.30	宇宙兄弟展	オープニング記念講演会	河北秀世氏(京都産業大学理学部教授・ 神山天文台長)、山崎直子氏(宇宙飛行士)
8.2～3	宇宙兄弟展	おもしろ宇宙体験ラボ	馬淵正展氏(宇宙教育コーディネーター)
8.9	宇宙兄弟展	おもしろ科学体験コーナー「教育戦隊ダイキョーVと宇宙を探索しよう」	山敷達也氏、上玉利敦氏(大阪教育大学 S F 同好会 OB コンビ)
8.16	宇宙兄弟展	おもしろ科学体験コーナー「宇宙学生団体 Noti'sと太陽系をロケットで旅しよう！」太陽 模型+傘袋ロケット	学生宇宙団体Noti'sメンバー(牧澤遼氏、 石田新司氏、他)
8.22	宇宙兄弟展	体験講座 宇宙の魅力に迫る ～宇宙に関 わる仕事を通じて～	河北秀世氏(京都産業大学理学部教授・ 神山天文台長)
8.23	宇宙兄弟展	おもしろ科学体験コーナー「宇宙オヤジと宇 宙飛行士に挑戦」真空実験+ホワイトバズル	川喜田誠二氏
10.7	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『大人は判ってくれない』(仏/59)
10.11	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『赤い靴』(英/48)
10.12	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『天井桟敷の人々』(仏/45)

10.13	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『巴里の空の下セーヌは流れる』(仏/51)
10.15	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『グレン・ミラー物語』(米/54)
10.16	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『禁じられた遊び』(仏/52)
10.18	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『肉体の悪魔』(仏/47)
10.19	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『居酒屋』(仏/56)
10.26	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	コンサート「ジャズで奏でる映画音楽」	野口久和氏(ピアノ)、日景修氏(コントラバス)、藤井学氏(ドラム)
11.8	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	講演会「野口久光 一映画をこよなく愛した その人柄と魅力」	大林宣彦氏(映像作家)
11.8	野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展	映画上映会「野口久光の愛した映画たち」	『ふたり』(日/91)
2015.1.25	琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の 伝統から、RIMPAの創造へ～	椿昇氏(特別出品作家)によるアーティスト トークと音楽会	椿昇氏(特別出品作家)、木口雄人氏 (ピアノ)、川崎慎一郎氏(テノール)
1.31	琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の 伝統から、RIMPAの創造へ～	出品作家によるギャラリートーク	
2.1	琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の 伝統から、RIMPAの創造へ～	別館2階から特別出品作品を見よう! ツアー	
2.7	琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の 伝統から、RIMPAの創造へ～	出品作家によるギャラリートーク	
2.8	琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の 伝統から、RIMPAの創造へ～	別館2階から特別出品作品を見よう! ツアー	
3.6	京を描く 一洛中洛外図の時代―	ギャラリートーク	西山剛・森道彦(当館学芸員)
3.15	京を描く 一洛中洛外図の時代―	講演会 「洛中洛外図を楽しく見る」	奥平俊六氏(大阪大学)
3.19	京を描く 一洛中洛外図の時代―	歴史散策 「洛中洛外図を歩く―春の京都めぐり」	西山剛・森道彦(当館学芸員)
3.20	京を描く 一洛中洛外図の時代―	ギャラリートーク	西山剛・森道彦(当館学芸員)
3.21	京を描く 一洛中洛外図の時代―	ワークショップ「お菓子な風景」	瓜生祐子氏(画家)
4.3	京を描く 一洛中洛外図の時代―	ギャラリートーク	西山剛・森道彦(当館学芸員)

2) 京都府所蔵資料巡回展への協力

本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」「こころの京都」等から構成した作品群を、貸与・展示するもので、当館は、(1)展

示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

III-2 特別展示 ▶ 2) 京都府所蔵資料巡回展への協力

①「日本画 こころの京都」府内巡回展(1)

会 期：2014年10月29日(水)～12月8日(月)
休館日：会期中無休
会 場：舞鶴赤れんがパーク3号棟知恵蔵
入場料：入場無料
主 催：京都府、舞鶴市、一般社団法人舞鶴観光協会

担当者：植田彩芳子
出品数：25点
入場者数：26,771人

②「日本画 こころの京都」府内巡回展(2)

会 期：2015年3月13日(金)～5月6日(水・祝)
休館日：毎週月曜日(但し、5月4日は開館)
会 場：八幡市立松花堂美術館
入場料：一般400円／学生300円／高校生以下無料
*20名様以上団体2割引
主 催：京都府、八幡市立松花堂庭園・美術館(公益財団法人やわた市民文化事業団)

担当者：植田彩芳子
出品数：63点
入場者数：2,234人

③「絵画でめぐる 京都・美の探訪」展

会 期：2014年4月12日(土)～5月25日(日)
休館日：会期中無休
会 場：明石市立文化博物館
入場料：大人1000円(800円)／大高生700円(560円)
／中学生以下無料
*()内は前売・20名以上の団体料金
主 催：明石市立文化博物館、神戸新聞社、京都府、京都文化博物館
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、明石市教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、一般財団法人兵庫県学校厚生会、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西、明石ケーブルテレビ

担当者：植田彩芳子
入場者数：11,446人

【概要】

「京の百景」、「京の四季」、「いのち賛歌」を中心とした近現代の日本画、洋画から88点を展示し、京都の美を探訪する。

【主な出品作】

秋野不矩「平安神宮」昭和48年(「京の百景」67)、小川立夫「乙訓寺の牡丹」昭和61年(「京の四季」207)ほか

【出品作品数】 88点

Ⅲ - 3 映 画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2014.4.1~20	映画美術監督 井川徳道の世界	夢千代日記/序の舞/祇園祭/風と女と旅鴉/緋牡丹博徒 お竜参上/浪花の恋の物語/風と女と旅鴉/家光と彦左 と一心太助/柳生一族の陰謀/序の舞	17	34	2,310
2014.4.19	たまごまーけっと おさらい上映会	たまごまーけっと TV版	1	1	141
2014.4.22~6.1	母を想う—日本映画にみる母の肖像	瞼の母/一人息子/母と子/陸軍/王将/花咲く家族/お かあさん/日本の悲劇/噂の女/お父さんはお人好し/噂 の女/太陽とバラ/大阪物語/榎山節考/荷車の歌/秋立 ちぬ/サムライの子/甘い汗/華岡青洲の妻/泥の河	37	74	4,992
2014.6.3~7.15	娯楽映画の魅力 おもてなしの映画	鞍馬天狗 江戸日記/鴛鴦歌合戦/續清水港/大江戸五人 男/二等兵物語/鳳城の花嫁/赤胴鈴之助 三つ目の鳥人 /ひばり捕物帖 かんざし小判 駅前旅館/次郎長富士/ ギターを持った渡り鳥/濡れ髪三度笠/新吾十番勝負/瞼 の母/黒の試走車/三匹の侍/座頭市 あばれ火祭り/顔役	36	72	4,671
2014.7.13,16,17,24	祇園祭記念特別上映	祇園祭	4	8	1,163
2014.7.18~21	第一次世界大戦と映画特集 —映像に刻まれた現代の起点—	世界の心/八月の砲声/暁の偵察/鉄条網/ヴェルダン— 歴史の幻想—/つばさ/帰郷/戦争と平和	4	8	1,069
2014.7.22~9.4	【にんじんくらぶ設立から60年】 三人の女優の挑戦 岸恵子・久我美子・有馬稲子	風花/からみ合い/また逢う日まで/人間の条件 第一部 ~六部/にぎりえ/怪談/あにいもうと/晩菊/ここに泉 あり/壁あつき部屋/黒い十人の女/ゼロの焦点	26	52	6,057
2014.8.7~10	第20回京都国際子ども映画祭	はじめて馬に乗った日/僕はもうすぐ十一歳になる/若島 の思い出/地平線のキックオフ/若島の思い出/傑作短編 集	4	11	741
2014.8.14~17	追悼 映画撮影監督森田富士郎	大魔神/鬼龍院花子の生涯/序の舞/竜馬を斬った男	4	8	798
2014.8.23,24	第9回 映画の復元と保存に関するワー クショップ作品上映	雲母坂/祇園小唄 絵日傘 舞の袖/祇園小唄 絵日傘 狸代尽 /紅葉狩/続・京都府の茶業/御大典 昭和御大禮の盛儀 /戦前の山鉾巡行記録映像	2	4	259
2014.9.5~7	メロドラマの世界 その歴史的意義と展望 (日本映像学会夏期ゼミナール)	愛染かつら/濡れた二人/金色夜叉/命美わし/古都/ま た逢う日まで/暖流	3	8	772
2014.9.9~10.5	舞妓はレディ 公開記念特集 映画に見る京女の系譜—宮廷から花街まで —	古都/無憂華 九条武子夫人/祇園の姉妹/花ちりぬ/源 氏物語/偽れる盛装/地獄門/源氏物語/偽れる盛装/地 獄門/祇園囃子/女の園/夜の河/女の坂/雁の寺/京舞 四世井上八千代	25	50	3,176
2014.10.7~11.8	【野口久光シネマ・グラフィックス展関連 映画上映会】野口久光の愛した映画たち	大人は判ってくれない/赤い靴/天井桟敷の人々/巴里の 空の下セーヌは流れる/グレンミラー物語/禁じられた遊 び/肉体の悪魔/居酒屋/ふたり	9	16	1,034
2014.10.7~11.2	【京まちなか☆音楽映画祭2014 協賛企画】 映画と音の良い関係 2	浅草の灯/素晴らしき日曜日/君の名は 第一~三部/破 れ太鼓/たそがれ酒場/初春狸御殿	17	33	1,570
2014.11.3~12.5	【生誕100年】俳優 宇野重吉特集	わが生涯のかがやける日/愛妻物語/西鶴一代女/西陣の 姉妹/原爆の子/縮図/恋文/夜明け前/しいのみ学園/ 乳母車/悲しみは女だけに/第五福竜丸/人間の壁/日本 列島	27	53	3,044
2014.11.9	第4回日本学生映画祭 in 京都	日本3大学生映画祭のグランプリ作品の上映	1	1	32
2014.11.18	日本映画テレビ技術協会 「受賞作品の技術検討上映会」	舟を編む	1	1	36
2014.11.29	文化庁工芸技術記録映画上映会	木工芸 村山明のわざ	1	1	123
2014.12.6~14	第六回京都ヒストリカ国際映画祭	暮れ逢い/黄金/ガイド 少年と盲目旅芸人/悪戦/トワ イライト・フォレスト/人斬り/必殺4 恨みはらします/ 柳生一族の陰謀/伊藤大輔作品集/キートンのセブンチャ ンス/百地三太夫/座頭市 血煙街道/酔拳2/るろうに剣 心 シリーズ三部作	8	18	1,550
2014.12.9~27	ヒストリカ国際映画祭協賛企画 刀は何を語るのか—剣戟映画にみる魂の物語	剣光桜吹雪/春秋一刀流/血槍富士/薄桜記/座頭市物語 /切腹/大殺陣雄呂血	13	24	1,042
2015.1.4~2.1	ミュージアムで初笑い、新春喜劇映画特集	汗/マダムと女房/気まぐれ冠者/エノケンのちゃっきり 金太/自由学校(松竹)/自由学校(大映)/カルメン純情す /夫婦善哉/猫と庄造と二人のをんな/男はつらいよ/裸 の大將/三婆	25	50	2,862
2015.2.3~28	近代文学と映画 1 泉鏡花 谷崎潤一郎 川端康成	滝の白糸/折鶴お千/春琴抄 お琴と佐助/春琴物語/細 雪/お遊さま/山の音/日本橋/伊豆の踊子/鍵/千羽鶴 /雪国	23	46	3,177

2015.3.1～30	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ4	空飛ぶゆうれい船／長靴をはいた猫／惜春鳥／男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花／少年／夏の妹／野性の証明／伽椰子のために／時代屋の女房／櫻の園／マガンダムI地球光／マガンダムII月光蝶／スウィングガールズ／三文役者／宇宙人東京に現わる／宇宙からのメッセージ／地球防衛軍／モスラ／赤影／マタンゴ／大怪獣ガメラ／ガメラ大怪獣空中決戦／大決戦！超ウルトラ8兄弟／アヴァロン／妖怪百物語／それから／綿の国星／パンツの穴／機動戦艦ナデシコ／大阪物語／BLOOD THE LAST VAMPIRE／黄泉がえり／図書館戦争 革命のつばさ／サクラ大作戦 活動写真／たまこラブストーリー／ももへの手紙／独立少年合唱団／書道ガールズ！わたしたちの甲子園	20	40	3,000
2015.3.10～15	パラソフィア 京都国際現代芸術祭シネマプログラム	陸軍／白蘭の歌／ハワイ・マレー沖海／迎春花／シベリア物語／サヨンの鐘／石の花／支那の夜／私の鷲	6	14	1,003

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2014年度共催上映等の実績

◆映画美術監督 井川徳道の世界

〔期間〕2014年4月1日～20日

〔協力〕NPO法人京都映画倶楽部、東映株式会社、〔東映京都撮影所

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『夢千代日記』『序の舞』『祇園祭』『風と女と旅鴉』『緋牡丹博徒 お竜参上』等10作品の上映と美術監督井川徳道氏と石原昭氏、中島貞夫監督の講演会を開催。

〔鑑賞者数〕2,310人(136人／1日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕京都大学人文科学研究所

〔内容〕『世界の心』『八月の砲声』『暁の偵察』『鉄条網』『ヴェルダンー歴史の幻想ー』等7作品の上映と神崎えり氏のピアノ伴奏。佐藤洋氏(共立女子大学)と小川佐和子氏(京都大学人文科学研究所)の講演会も開催。

〔鑑賞者数〕1,069人(267人／1日)

◆京都アニメーション制作『たまこまーけっと』

おさらい上映会

〔期間〕2014年4月19日(土)

〔協力〕京都アニメーション、ポニー・キャニオン

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都アニメーション制作のTVアニメ『たまこまーけっと』全12話の一挙上映と、山田尚子監督、演出の小川太一氏、色彩設計の竹田明代氏、プロデューサーの瀬波里梨氏のトークショー。

〔鑑賞者数〕141人(141人／1日)

◆第20回京都国際子ども映画祭

〔期間〕2014年8月7日～10日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『はじめて馬に乗った日』、『僕はもうすぐ十一歳になる』、『砦島の思い出』、『地平線上のキックオフ』等10作品の上映と神保慶政氏(映画監督)、濱田響己氏(俳優)、紫英氏(俳優)、カウン・ヨン氏(映画監督)、和田淳氏(映画監督)によるトーク。

〔鑑賞者数〕741人(185人／1日)

◆【人文研アカデミー2014知のラビリンスに遊べ】

第一次世界大戦と映画特集

〔期間〕2014年7月18日～21日

◆【第4回日本学生映画祭 in 京都】

〔期間〕2014年11月9日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕大学コンソーシアム京都、京都国際学生映画祭

〔内容〕日本で開催される3大學生映画祭(京都国際學生映画祭、東京學生映画祭、TOHOシネマズ學生映画祭)のグランプリ作品を上映。

〔鑑賞者数〕32人(32人／1日)

◆文化庁工芸技術記録映画上映会

〔期間〕2014年11月29日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕文化庁

〔内容〕文化庁が制作した『木工芸 村山明のわざ』の上映と村山明氏のトーク。

〔鑑賞者数〕123人(123人／1日)

◆第6回京都ヒストリカ国際映画祭

〔期間〕2014年12月6日～14日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会(株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所、京都府、立命館大学、株式会社東映京都スタジオ、当館)

〔共催〕KYOTO CMEX 2014

〔内容〕新しい時代劇を模索するべく、『暮れ逢い』、『るろうに剣心』三部作、『黄金』、『ガイド 少年と盲目旅芸人』、『悪戦』等14作品を上映。パトリス・ルコント氏(映画監督)、大友啓史氏(映画監督)、谷垣健治氏(アクション監督)、飯星景子氏(作家・タレント)大石学氏(東京学芸大学教授)、ウォン・ジンポー氏(映画監督)、ミルクマン斎藤氏(映画評論家)がゲストトーク。

〔鑑賞者数〕1,550人(194人／1日)

◆ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ4

〔主催〕京都アニメーション、ポニーキャニオン

〔期間〕2015年3月1日～8日、3月17日～30日

〔会場〕本館3階フィルムシアター、立誠シネマ、京都みなみ会館

〔助成等〕文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

〔協力〕京都アニメーション、立誠シネマ・プロジェクト、京都みなみ会館

〔内容〕若年層に日本映画に親しんで貰うことを目的に、『長靴をはいた猫』『少年』『夏の妹』『野性の証明』『赤影』『大怪獣ガメラ』『大決戦!超ウルトラ8兄弟』『妖怪百物語』『機動戦艦ナデシコ』『たまこラブストーリー』等、古典名作映画から近作、アニメ作品まで39作品の青春映画の上映と特技監督八木毅氏の講演会。地域の立誠シネマでは『怪奇大作戦』等特撮作品を、みなみ会館では『銀河鉄道999』等をオールナイト上映。

〔鑑賞者数〕3,000人(150人／1日)

◆パラソフィア 京都国際現代芸術祭シネマプログラム

〔期間〕2015年3月10日～15日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕京都現代芸術祭実行委員会

〔内容〕『陸軍』『白蘭の歌』『ハワイ・マレー沖海』『迎春花』『シベリア物語』等9作品の上映とパラソフィア出品作家笠原恵実子氏のトーク。

〔鑑賞者数〕1,003人(167人／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆第9回映画フィルム復元ワークショップ

〔期間〕2014年8月23日～24日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕NPO映画保存協会、神戸映画資料館、大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、IMAGICA ウェスト

〔協力〕東京国立近代美術館フィルムセンター、コダック株式会社、(株)IMAGICA、富士フィルム株式会社、報映産業株式会社

〔内容〕映画フィルムの復元についての講座と実習を行う。あわせて近年復元された『雲母坂』『祇園小唄 絵日傘 舞の袖』『祇園小唄 絵日傘 狸代尽』『紅葉狩』等7作品の上映と佐伯知紀氏(文化庁主任調査官)、太田米男氏(大阪芸術大学教授)、大傍正規氏(東京国立近代美術館フィルムセンター)、松本圭二氏(福岡市総合図書館)、田中範子氏(神戸映画資料館)、岩槻歩氏(川崎市民ミュージアム)、森脇清隆(当館学芸員)による講演。

〔参加者数〕259人(130人/1日)

◆日本映像学会関西支部第36回夏期映画ゼミナール

メロドラマの世界 その歴史的意義と展望第7回映画フィルム復元ワークショップ作品上映

〔期間〕2014年9月5日～7日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕大日本映像学会関西支部

〔内容〕『愛染かつら』『濡れた二人』『金色夜叉』『命美わし』『古都』等7作品の上映と西岡琢也氏(脚本家)、石塚洋史氏(映画史研究)、中村聡史氏(明治大学教授)、豊原正智氏(大阪芸術大学教授)によるシンポジウム。

〔参加者数〕772人(257人/1日)

◆第7回京都映画若手才能育成ラボ(Kyoto Filmmakers Lab 2014)

〔期間〕2014年12月7日(金)～12日(水)

〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館

〔共催〕京都府、東映京都撮影所、松竹京都撮影所

〔特別協力〕映像産業推進機構京都事務所、株式会社ディレクターズ・ユニブ

〔内容〕世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語:英語)。web公募の結果、46カ国、147名の応募。審査の結果、外国人9名、日本人10名の若手作家19名が審査を通過(日本、イギリス、アメリカ、インドネシア、スペイン、台湾、デンマーク、ネパール、フィリピン、ベトナム、ルーマニア)。撮影所見学、殺陣講座の他、京都ヒストリカ国際映画祭にも参加。

〔参加者数〕19名

◆一から始めるDaVinci Resolveセミナー

〔期間〕2014年12月18日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔共催〕ブラックマジックデザイン株式会社

〔内容〕ハリウッドの大作映画をはじめ、インディペンデント映画やCM、PVなど数多くの作品のカラーコレクションで使用されているDaVinci Resolveの入門講座を開催。

〔参加者数〕79名

③ 子ども向け普及事業

◆おもしろ映像製作ワークショップ 特撮を楽しもう!

〔期間〕2015年3月21日～22日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔協力〕キンダーフィルムフェストきょうと、ディレクターズ・ユニブ、株式会社マープリングファインアーツ

〔内容〕スマートフォンや3Dペンの3Doodlerを使って特撮を体験するワークショップ。①特撮セットでの撮影体験、②スクリーンプロセスを使っての特撮、③スマートフォンの中で映像合成、④ねんどや紙、3Doodlerを使ったコマ撮り体験、⑤ミニチュアを使

った特撮などを通じて特撮の面白さを体験。

〔参加者数〕44名

◆手作りアニメ製作ワークショップ

〔期間〕2015年3月28日～29日

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔協力〕キンダーフィルムフェストきょうと、ディレクターズ・ユニブ、スタジオ・クロノ

〔内容〕手作りアニメ製作ワークショップ 切り絵アニメ、クレイアニメ、砂絵アニメ、手作りのコマ撮りアニメを体験するワークショップ。

〔参加者数〕39名

④ 大学生向け普及事業

◆インターンシップの受け入れ

平成26年度 前期 立命館大学(映像学部1名)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点

前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2014年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2014.4.1～20	映画美術監督 井川徳道の世界
2014.4.22～6.1	母を想う—日本映画にみる母の肖像
2014.6.3～7.17	娯楽映画の魅力 おもてなしの映画／祇園祭記念特別上映
2014.7.22～9.4	【にんじんくらぶ設立から60年】三人の女優の挑戦、岸恵子・久我美子・有馬稲子
2014.9.5～10.5	メロドラマの世界 その歴史的意義と展望(日本映像学会夏期ゼミナール) 舞妓はレディ公開記念特集 映画に見る京女の系譜—宮廷から花街まで—
2014.10.7～12.7	野口久光シネマ・グラフィックス展開催記念 川喜多長政・かして夫妻の功績
2014.12.9～27	第六回京都ヒストリカ国際映画祭 ヒストリカ国際映画祭協賛企画 刀は何を語るのか—剣戟映画にみる魂の物語
2015.1.4～2.1	ミュージアムで初笑い、新春喜劇映画特集
2015.2.3～28	近代文学と映画1 泉鏡花 谷崎潤一郎 川端康成
2015.3.1～30	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ4

Ⅲ－４ その他

【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の総合展入場料の無料化を始めた。2014年度は4,755名の子供が入場した。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2014年度の参加者は3,738名であった。

【クールスポット(総合展示室無料開放)の実施】

東日本大震災の影響により、夏の電力需給の逼迫が見込まれたため、京都府では府立の4つの文化施設(当館、堂本印象美術館、山城郷土資料館、丹後郷土資料館)を無料開放する取り組みを行った。当館では、7月12日から8月31日まで、2階総合展示室および3階フィルムシアターの総合展示を無料開放し、19,210名が利用した。

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・明治期博覧会と京都(3)
- 西山 剛 ・中近世における職能民の研究
- 村野正景 ・羅城門近辺をめぐる歴史像の再整理—当館所蔵考古資料の有効活用のために3—
- 橋本 章 ・京の伝承文化に関する研究
- 森 道彦 ・室町～桃山期の名所風俗図とその図像に関する研究
- 長村祥知 ・前近代文献史料の調査・研究2
- 大矢敦子 ・『昭和天皇御大礼』(前後編)9.5mmフィルムの歴史性について

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 森脇清隆 ・「撮影監督宮川一夫アーカイヴ・プロジェクト」(日本学術振興会科学研究費 基盤研究C25370193)研究協力者
- 西山 剛 ・近世都市図解析プロジェクト(東京大学史料編纂所 研究代表・山口和夫)
- 森 道彦 ・文部科学省科学研究費「板谷家を中心とした江戸幕府御用絵師に関する総合的研究」(2011年度～2016年度 基盤研究(A)／研究課題番号：23242013)(代表者 田沢裕賀・独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館)研究協力者

2) 出演・委嘱

- 畑 智子 ・第14回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
- ・第52回兵庫県展(工芸部門)審査員
- 森脇清隆 ・文化庁芸術選奨推薦委員
- ・文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業企画選定委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会専門委員
- ・京都国際現代芸術祭プロフェッショナル・アドバイザーボード
- ・京都国際学生映画祭企画検討委員
- 洲謙佐智子 ・京都国立近代美術館平成26年度第1回美術作品購入等評価員
- ・京都国立近代美術館平成26年度第3回美術作品購入等評価員
- ・京都国立博物館有形文化財評価員
- ・創工会審査員
- ・第47回青窯会作陶審査員
- 西山 剛 ・世界人権問題研究センター前近代班 嘱託研究員
- 橋本 章 ・京都民俗学会理事
- ・大津曳山祭総合調査団調査員
- 長村祥知 ・東京大学史料編纂所共同研究員(特定共同研究「9・10世紀古文書に関する史料学情報の総合化研究」)
- ・伊賀市文化財保護審議会委員
- 大矢敦子 ・立命館大学衣笠総合研究機構 客員協力研究員

3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子 ・「幕末・明治期の千總—博覧会の時代へ」(『京都老舗の文化史—千總460年の歴史』展図録所収/京都文化博物館/2015年1月)
・「十二代西村治兵衛(貞規)と明治期の博覧会事業」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収/2015年3月)
- 森脇清隆 ・「クール・ジャパン、ちょっとした恥ずかしさ」(『京都新聞』コラム「現代のことば」/京都新聞社/2014年8月12日夕刊)
・「つづく、の秘密」(『京都新聞』コラム「現代のことば」/京都新聞社/2014年10月10日夕刊)
・「追悼・森田富士郎」(『映画撮影No.203』所収/日本映画撮影監督協会/2014年11月15日)
・「人とまちをつなぐアニメ聖地巡礼」(『京都新聞』コラム「現代のことば」/京都新聞社/2014年12月10日夕刊)
・「文化と経済の結び方」(『京都新聞』コラム「現代のことば」/京都新聞社/2015年2月23日夕刊)
・「京都のものづくり文化と映画づくり」(『京都産業学研究第13号』所収/龍谷大学京都産業学センター/2015年3月)
- 西山 剛 ・「千切屋をめぐる創業伝承と史実に関するノート」(『京都老舗の文化史—千總460年の歴史』展図録所収/京都文化博物館/2015年1月)
・「誓願寺門前図屏風に描かれたこと」(『京を描く—洛中洛外図の時代—』展図録所収/京都文化博物館/2015年3月1日)
・「中世後期における輿舁の存在形態と職能」(『職能民へのまなざし』/世界人権問題研究センター/2015年3月)
・「近世における洛中洛外図制作の一様相」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収/2015年3月/共著)
- 植田彩芳子 ・「黒田清輝の見た京都—描かれた舞妓をめぐる—」(『没後90年 近代洋画の巨匠黒田清輝展 別冊補遺』図録所収/2014年6月)
・「小川千襲筆《西洋風俗大津絵》研究」(『縦横無尽—小川千襲という生き方』/求龍堂/2014年10月)
・『シリーズ近代美術のゆくえ 明治絵画と理想主義』(吉川弘文館/2014年11月)
・「資料紹介 高島北海筆《世界勝景帖》」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収/2015年3月)
- 村野正景 ・「ホンジュラス共和国ラ・アラダのネガティブ文様土器づくり」(高倉洋彰編『東アジア古文化論攷』/中国書店/2014年4月)
・「先スペイン時代の『ものづくり』に挑戦する—いわゆるウスルタン様式土器の復元と現代的再生プロジェクト—」(『チャスキ』Vol.49/2014年6月)
・「Análisis físico-químico sobre ofrendas y objetos encontrados en Tazumal, Chalchuapa, El Salvador」(『XXVII Simposio de Investigaciones Arqueológicas en Guatemala』/2014年7月/共著)
・「学校考古を支援する博物館のとりくみ—京都府内の学校所蔵考古資料に関する調査の概報—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収/2015年3月)
- 橋本章 ・「戦国武将の民俗誌—京都・明智光秀伝承の成立過程—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収/2015年3月)
・『滋賀県指定無形民俗文化財 大津祭総合調査報告書』(大津市教育委員会/2015年3月/共著)
・「祇園祭—大船鉦の復興によせて—」(『文化財レポート』第28号/公益財団法人京都文化財団文化財保護基金室/2015年3月)

- ・「石田三成の人物像をめぐる言説」(『徳川家康没後四百年記念特別展 大関ヶ原展』展図録所収／2015年3月／テレビ朝日、BS朝日、博報堂DYメディアパートナーズ)
- 森 道彦 ・作品解説「『源氏絵の時代—近世の京都と源氏物語—』リーフレット付属解説／2014年9月)
- ・「狩野元信「釈迦堂縁起絵巻」(清涼寺)の制作をめぐる」(松本郁代・出光佐千子・彬子女王編『風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー』所収／思文閣出版／2014年11月)
- ・「十五世紀における名所風俗図の動向と洛中洛外図 —五山詩文の記述にみるその姿—」(『京を描く—洛中洛外図の時代—』展図録所収／京都文化博物館／2015年3月)
- ・「近世における洛中洛外図制作の一様相—「洛中洛外図屏風(松居本)」の紹介をかねて—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収／2015年3月／共著)
- ・『公益財団法人 渡辺美術館所蔵品調査報告書 狩野派』(2015年3月／奥平俊六・門脇むつみとの共編)
- 長村祥知 ・「寿永西海合戦と石見国の川合源三—毛利家文庫遠用物所収「木曾義仲下文写」小考—」(『鎌倉遺文研究』33／2014年4月)
- ・「『平家物語』と史実—木曾義仲主従の首渡し—」(樋口州男ほか編『歴史と文学—文学作品はどこまで史料たりうるか—』／小径社／2014年5月)
- ・「木曾義仲—反乱軍としての成長と官軍への転換—」(野口実編『中世の人物 京・鎌倉の時代編2 治承～文治の内乱と鎌倉幕府の成立』／清文堂出版／2014年6月)
- ・「藤原秀康—鎌倉前期の京武者と承久の乱—」(平雅行編『中世の人物 京・鎌倉の時代編3 公武権力の変容と仏教界』／清文堂出版／2014年7月)
- ・「宇野茶道美術館旧蔵の古筆切—後撰・後拾遺・金葉・千載・新古今・新勅撰・元真・定頼・源氏狭衣—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収／2015年3月)
- ・分担執筆(『京を描く—洛中洛外図の時代—』展図録所収／京都文化博物館／2015年3月／共著)
- ・「聖護院文書の構成と特質」(龍谷大学龍谷ミュージアム・京都文化博物館・読売新聞社『聖護院門跡の名宝』展図録所収／龍谷大学龍谷ミュージアム・読売新聞社／2015年3月)
- ・「京の公家・僧侶と関ヶ原合戦」(『徳川家康没後四百年記念特別展 大関ヶ原展』展図録所収／テレビ朝日・BS朝日・博報堂DYメディアパートナーズ／2015年3月)
- 大矢敦子 ・「尾上松之助の絵葉書アルバムについて」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第27集所収／2015年3月)

② 発表・講演

- 畑 智子 ・「博物館の展覧会をめぐる経済事情」(ロータリークラブ講演会／2014年6月9日)
- ・「京都博覧会について」(国際ワークショップ「万国博覧会の歴史と未来」内での発表／於：国際日本文化研究センター／2014年10月4日)
- 森脇清隆 ・立命館大学映像学部「映像文化のアーカイブ—京都文化博物館」(講師／於：立命館大学／2014年4月30日)
- ・京都経済同友会総会「伝統と革新」パネルディスカッション(講師／於：リーガロイヤルホテル京都／2014年5月21日)
- ・京都メディアフォーラム(PhaseII)「京都のフィルムアーカイブと映画文化の情報発信」(講師／於：京都文化博物館／2014年6月3日)

- ・立命館大学情報人文学の最前線「フィルムアーカイブの最前線」(講師/於:立命館大学アートリサーチセンター/2014年6月11日)
- ・第9回映画フィルム復元ワークショップ「京都文化博物館のアーカイブの取組み」(講師/於:京都文化博物館/2014年8月23日)
- 洲鎌佐智子 ・「京都陶芸の歩みとこれから『美術フォーラム』座談会」(中ノ堂一信・洲鎌佐智子/司会:原田平作/2014年8月11日)/(『美術フォーラム21』vol.30所収/醍醐書房/2014年11月)
- 西山 剛 ・「洛中洛外図屏風に見る中世京都の都市空間」(江戸博カルチャー/於:江戸東京博物館/2014年4月25日)
- ・「中世輿舁職能論」(藝能史研究会例会/於:同志社大学/2014年5月9日)
- ・「祭礼と非人 祇園社犀鉾神人をめぐって」(世界人権問題研究センター前近代班研究会/於:世界人権問題研究センター/2014年12月17日)
- 村野正景 ・「学校に考古学を!—学校所蔵考古資料の潜在力を発揮するために—」(第248回近江貝塚研究会/於:滋賀県埋蔵文化財センター/2014年6月28日)
- ・「古代メソアメリカの土器の再生—“開発”としてのArt&Archaeology—」(第1回Art&Archaeology フォーラム/於:京都文化博物館/2014年6月29日)
- ・「Arqueología participativa y manejo de recursos culturales」(JICA課題別研修 中米地域資源としてのマヤ文明遺跡の保存と活用/於:金沢大学/2014年10月31日)
- ・「考古遺産のユニバーサルな楽しみ方の模索—アート&アーケオロジーの可能性—」(「触文化に関する人類学的研究—博物館を活用した“手学問”理論の構築」研究会/於:国立民族学博物館/2014年11月30日)
- ・「資料保全から開発論へ」(史学会125周年事業 リレーシンポジウム2014 過去を伝える、今を遺す—歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか/於:九州大学/2014年12月13日)
- ・「学校所蔵考古資料の現状と未来—京都文化博物館の取組みを事例として—」(九州史学会考古学部会/於:九州大学/2014年12月14日)
- ・「考古遺産とものづくりの接点—先スペイン時代の土器の現代的再生プロジェクトについて—」(文化遺産国際協力コンソーシアム 第5回中南米分科会/於:東京文化財研究所/2015年1月18日)
- ・「世界考古学会議の京都開催に向けた取組み:Art&Archaeologyを中心に」第37回京都メソアメリカ研究会/於:京都フィールドミュージアム研究所/2015年2月15日)
- 橋本 章 ・「祇園祭—150年目の奇跡と49年目の復活—」(京都銀行京都観光セミナー/於:摂津コミュニティプラザ/2014年7月11日)
- ・「戦国武将の民俗誌—小堀遠州が東浅井郡田根村の偉人になるまで—」(京都民俗学会第33回年次研究大会/於:京都市職員会館かもがわ/2014年12月7日)
- ・「戦国武将の民俗誌—京都・明智光秀伝説を追う—」(佛教大学四条センター公開講座/於:佛教大学四条センター/2015年1月19日)
- 森 道彦 ・「風俗画の室町時代—洛中洛外図出現を取り巻く状況—」(特別展「京を描く」シンポジウム/於:京都文化博物館/2015年3月28日)
- 長村祥知 ・「京都のユネスコ記憶遺産—『御堂関白記』と東寺百合文書を中心に—」(京の教育「みやび」講座[京都府教員研修会]/於:本館3階フィルムシアター/2014年10月16日)
- ・「聖護院門跡の古文書」(修験講習会/於:聖護院門跡/2015年3月21日)

V - 1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第27集】

発行：京都文化博物館

発行日：2015年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：B5判、164ページ

編集担当：畑 智子、大川原絵里子

所載記事：

[論攷]

・橋本 章

戦国武将の民俗誌

—京都・明智光秀伝承の成立過程—

[研究ノート]

・村野 正景

学校考古を支援する博物館のとりくみ

—京都府内の学校所蔵考古資料に関する調査の概報—

・畑 智子

十二代西村治兵衛(貞規)と明治期の博覧会事業

[資料紹介]

・植田彩芳子

高島北海筆《世界勝景帖》

・大矢 敦子

尾上松之助の絵葉書アルバムについて

・西山 剛・森 道彦

近世における洛中洛外図制作の様相

—「洛中洛外図屏風(松居本)」の紹介をかねて—

・長村 祥知

宇野茶道美術館旧蔵の古筆切

—後撰・後拾遺・金葉・千載・新古今・新勅撰・元真・定頼・源氏狭衣—



京都文化博物館研究紀要『朱雀 第27集』

2) 年 報

【京都文化博物館2013(平成25)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2014年10月31日

印刷：三星商事印刷株式会社

体裁：A4判、68ページ

編集担当：植田彩芳子、大川原絵里子

3) 展覧会図録

【千總460年の歴史—京都老舗の文化史—】

体裁：タテ21cm×ヨコ29.7cm、104ページ

編集：千總

発行：京都文化博物館、株式会社千總

発行日：2015年1月5日

印刷：株式会社大伸社

【『京を描く』—洛中洛外図の時代—】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、255ページ

編集：京都文化博物館

デザイン：柴原瞬悟(エヌ・シー・ピー)

発行：京都文化博物館

発行日：2015年3月1日

印刷：日本写真印刷株式会社

【琳派400年記念 新鋭選抜展～琳派の伝統から、RIMPAの創造へ～】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ

編集：京都府、京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2015年1月

印刷：日本写真印刷株式会社

V - 2 音楽会

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【同志社女子大学音楽専攻科生による

ミュージアムコンサート】

日 時：2014年7月16日 午後2時～

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：同志社女子大学音楽専攻科生

入場者：360人

【第25回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日 時：2014年7月16日 午後6時～

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者：280人

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日 時：2014年7月20日、21日

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：

◎7月20日

Cats & Doll<ジャズ>

Uliuli Band & Pukamaikala(ウリウリバンド & プカマイカラー)<ハワイアン>

Purities(ピューリティーズ)<アメリカンフォークソング、ポピュラー>

The Juke Box<オールディーズ、ポップス>

CAPRICE<ポップス>

サントロペーの仲間達<シャンソン&カンツォーネ>

足立恵二トリオ<ジャズ、ポップス、フュージョン>

京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部<吹奏楽>
京都廣学館高等学校吹奏楽部<アンサンブル>

◎7月21日

ニューシャープハードオーケストラ<ジャズ、ポップス>

京都廣学館高等学校吹奏楽部<吹奏楽>

京都市立桃山中学校吹奏楽部<吹奏楽>

FMトリコ<アコースティック>

NY&OA<ジャズ・ギターデュオ>

LASSIE(ラッシー)<オールドタイムミュージック>

J.Pickers<アメリカン・フォークソング>

ふら〜っとオールスターズ<ジャズ>

満月堂<フォークソング>

入場者：3890人

② その他のコンサート

【COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館(家族でお出かけ 節電キャンペーン協力イベント)】

日 時：2014年8月12日～27日 うち10日間

正午～午後1時30分

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：

12日(火) 京都市立芸術大学

13日(水) 京都市立芸術大学

15日(金) 同志社女子大学卒業生

16日(土) 京都女子大学

19日(火) 同志社女子大学

20日(水) 同志社女子大学/京都市立芸術大学

21日(木) 京都女子大学/同志社女子大学卒業生

22日(金) 同志社女子大学/京都女子大学

26日(火) 京都市立芸術大学

27日(水) 京都市立芸術大学

入場者：820人

【オータムミュージアムコンサート】

日 時：2014年11月22日(土)～23日(日)
午後1時～午後6時

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：

◎11月22日

同志社女子大学学芸学部音楽学科 音楽専攻科
声楽/ピアノ/管楽器アンサンブル

京都低音倶楽部(チューバ四重奏)

京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部A

片山恵依子(vo)+大野綾子(p)Duo

ふら〜っとオールスターズ(ジャズ)

京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部B

◎11月23日

京都市立芸術大学音楽学部・大学院

声楽/ピアノ専攻生 弦楽五重奏

女声アンサンブルグループTRE☆CANTI

(トレ・カンティ)

篠崎雅史(ts)+平川勝朗(p)Duo

jazz guitar Duo

楽隊プラスレンジャー(ジャズ)

入場者：1250人

V-3 学習普及外部連携室

1) ボランティア

平成27年度3月31日現在(2014年度)、191名のボランティアスタッフが活動をおこなった。ボランティアは“ぶんぱくボランティアガイド”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティアガイド”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベント・サポートスタッフ”から構成されている。

フロアスタッフは日本語82名、英語37名、中・韓・西などその他の外国語10名の129名が朝10時から夜7時30分までの間、3交代制で活動をおこなっており、その他の外国語は事前予約があれば対応となっている。

イベント・サポートスタッフは27名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。今年度はぶんぱく子ども教室として恒例の「館内ぐるぐる探検ツアー」のほか、「祇園祭お囃子体験教室」「オリジナル豆本づくり」「こんな京都あんな京都 むかしの京都をのぞいてみよう!」「わくわく紙遊びでタイムスリップ!」「大きい筆で、大きい文字に挑戦!—池大雅展に集う—」を企画・運営した。

アソシエイトボランティアは35名おり、博物館の広

報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をももらうなどの活動をおこなっている。

今年度は、「東寺百合文書—地域の記憶とその継承」「近世公家の家職と衣装」「黒田清輝展」「近代の京友禅」など通史以外の総合展示室や特別展の研修を開催した。また、ボランティア主催の自主勉強会やフィールドワークもより一層活発に開催され、ブラッシュアップにつとめている。



ボランティア研修の様子

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及・外部連携室が軸となり、学芸員の企画による、あるいはボランティアスタッフが主体となって企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」の活動を行った。また今年度は「文化芸術振興費補助金(地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)」の補助を受け開催した。

学習・普及連携室チーム(洲鎌佐智子、森道彦、長村祥知、田中真希代、平野久美)

【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2014年7月6日(日) 午後2時～午後4時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：43名+大人43名

実施目的：

- ①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。
- ②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味をもってもらおう。

【第2回 はり絵の“うちわ”をつくろう！】

日時：2014年7月27日(日)

1回目 午前10時半～正午

2回目 午後2時30分～午後4時

担当者：洲鎌佐智子

参加者数：(1回目)25名 (2回目)24名

実施目的：

- ①今はほとんど使われなくなっている道具を振り返る。
- ②どんな構造になっているか、どんな形や種類、用途があるかを知る。
- ③伝統的技術として伝えられたきた技に挑戦してみる。
- ④竹と和紙という和素材で扇面にそれぞれの創作性をひろげてもらう。

【第3回 夏オリジナル豆本づくり】

日時：2013年8月3日(日)

1回目 午前10時～正午

2回目 午後2時～午後4時30分

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：(1回目)15名 (2回目)14名

実施目的：

- ①自分のオリジナルの本づくりを体験してもらう。
- ②表紙に着物の生地をもちいることによって、着物に関心をもってもらおう。(洋服生地とは異なる質感、色調、柄の配置などを感じてもらう)

【第4回 こんな京都あんな京都 むかしの京都をのぞいてみよう！】

日時：2014年8月7日(日)

1回目 午前10時～正午

2回目 午後2時～午後4時30分

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：7名

実施目的：

- ①京都文化博物館の歴史展示に親しんでもらう。
- ②京都の歴史や文化に興味をもってもらおう。

【第5回 教えて考古学 拓本教室】

日時：2014年8月31日(日)午前10時～午後12時30分

担当者：村野正景

参加者数：20名

実施目的：

- ①拓本の楽しさ、とりわけ墨と紙で物の形が表現できる楽しさに気づいてもらう。同時に拓本のマナーにも気づいてもらう。
- ②身近な技術と考古学の技術の違いに気づいてもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。

【第6回 木綿を知ってマイ箸袋を作ろう！】

日時：2014年11月8日(土)

午後2時30分～午後3時30分

担当者：林 智子

参加者数：4名

実施目的：

自宅にある木綿の端切れで小物を作るという体験を通して、染織品の再利用の文化を知ること。同時に、持参した生地組織と繊維の観察を行い、染織文化財の鑑賞の助けとすること。



「ぶんぱく子ども教室」の様子

【第7回 わくわく紙遊びでタイムスリップ!】

日時：2014年11月8日(土)午後13時～午後15時

外部講師：鶴飼雅樹氏(日本画家)

担当者：イベントボランティア

参加者数：15名

実施目的：

- ①むかしの衣裳について興味をもってもらおう。
- ②大きな紙で装着できるものをつくり楽しんでもらう。

【第8回 画家さんといっしょに、

野菜を日本画で描こう!親子で挑戦!】

日時：2014年11月22日(土)午前10時～午後1時

外部講師：鶴飼雅樹氏(日本画家)

担当者：洲鎌佐智子

参加者数：子供12名+大人12名

実施目的：

- ①日本画に親んでもらう。
- ②総合展示の「京・食・美」展の作品鑑賞を身近にしてみよう。
- ③日本画家の先生に教えてもらうことで、学校とは違う技法、描き方等を知ってもらう。
- ④日常から見慣れている野菜をじっくり観察してもらう。
- ⑤でき上がった作品をお互いに鑑賞することで、絵画の鑑賞に親んでもらう。
- ⑥日本画家の先生との交流や、新しい友達づくりを通じて、社会性を養ってもらう。



「ぶんぱく子ども教室」の様子

【第9回 はじめての水墨画】

日時：2014年11月30日(日)午前10時～午後12時30分

外部講師：村田隆志氏(大阪国際大学准教授)

担当者：森道彦

参加者数：14名

実施目的：

- ①江戸時代の文人であった池大雅、また水墨画に興味をもってもらおう。
- ②墨一色で絵画的表現が十分に楽しめることを知ってもらう。

【第10回 大きい筆で、大きい文字に挑戦!

池大雅展に集う!】

日時：2014年12月6日(土)

午前10時30分～午後12時30分

外部講師：塩竈義晴氏(読売書法会幹事・日本書芸院無鑑査員)

担当者：イベント・ボランティア、森道彦

参加者数：18名

実施目的：

- ①江戸時代の文人であった池大雅、また書の世界に興味をもってもらおう。
- ③書のパフォーマンスを見る。
- ④習字と書道の違いを知ってもらう。
- ⑤大きな紙と大きな筆で普段とはちがった書を体験してもらう。

【第11回 館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2015年1月25日(日)午後2時～午後4時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：21名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親んでもらえ、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2014年度の来館件数は126件であった。このうち解説を行ったのは、47件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サーク

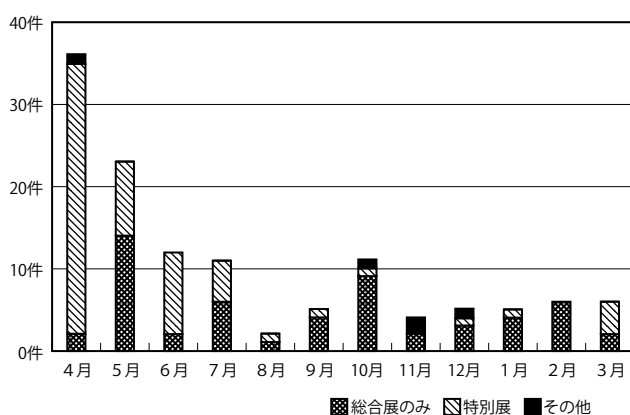
ルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校がつづく。

本年度は、4月・5月の団体申し込みが多く特別展目的が多く、一方で9月～2月は、総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2014年度団体見学案内件数】

2014年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1114	673	294	317	80	115	785	63	417	141	144	143	4286
来館件数	36	23	11	12	2	5	11	4	5	5	6	6	126
解説件数	4	12	5	6	1	1	4	2	3	4	3	2	47

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	6
中学校	14
高校	12
専門学校	1
大学	22
支援学校	4
一般	69
合計	128

※このうち2件は中学校、高校の合同

4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。平成26年度は以下の学校の生徒を受入れた。

- ・京都市立京都御池中学校 2014年5月12日(月)～16日(金)5日間 3名
- ・京都市立加茂川中学校 2014年11月10日(月)～14日(金)5日間 2名
- ・京都市立洛風中学校 2015年1月19日(月)～23日(金)5日間 2名

5) インターンシップの受け入れ

- ・平成26年度 6月 ユタ大学(美術史学部1名)

V - 4 博物館実習

【実施期間】

2014年8月4日(月)～8月8日(金)

【実習生】

京都府立大学……………4名
立命館大学……………4名
京都造形芸術大学……………2名
京都外国語大学……………2名
尾道市立大学……………1名
京都学園大学……………1名
京都教育大学……………1名
京都精華大学……………1名
甲南女子大学……………1名
滋賀県立大学……………1名
筑波大学……………1名
龍谷大学……………1名(計20名)

【実習内容/担当者】

- ・博物館の概要・館内見学/植山 茂、畑 智子、林 智子
- ・映像資料について/森脇清隆、大矢敦子
- ・染織資料について/林 智子
- ・美術資料について/植田彩芳子、森 道彦
- ・工芸資料について/洲鎌佐智子
- ・文献資料について/西山 剛、長村祥知
- ・考古資料について/村野正景、植山 茂
- ・民俗資料について/橋本 章
- ・学習普及活動について/長村祥知、森 道彦
- ・展覧会事業・展示環境について/畑 智子
- ・特別展ワークショップ体験/林 智子
- ・まとめと反省/全担当学芸員

V - 5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約79,630冊、逐次刊行物約3,160タイトル(76,740冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約33,910冊、展覧会図録が約13,850冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの

図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約3,020件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約680冊、展覧会図録が約380冊、年報・紀要類が約500冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、平成27年度4月のHPリニューアルにむけて準備している。アクセス数も年々増加し、広報ツールとしてさらにwebサイトへの期待が高いため、トップページを中心に見直し、情報発信に努めたい。また、SNSを利用し、若い層へも働きかけ、リアルタイムに情報発信するホームページ運営をしていきたい。

【ホームページの利用状況】

2014年度	総 数	一日平均
アクセス数	943,995	2,586
ページビュー	2,252,439	6,171

※コンピューターシステムの入れ替えにともない、昨年度より総数が下まわった。

V-6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2014年度は、「京都ミュージアムズフォー連携講座」(年間4回、各館持ち回り)を開催したほ

か、4館合同で各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットを作成し、あわせてスタンプラリー、各館友の会会員の相互割引制度を実施した。また、今年度は新たに4館相互割引制度(11月1日から30日まで)を実施した。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2014年11月15日、16日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,505名の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2014」への参加】

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)を中心とした合計51施設で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2014」事業に参加した。主催は51施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2014」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、総合展示が無料、特別展示が前売り券料金となる特典を設定した。2014年度の当館での利用者数は、総合展示447名、特別展示271名であった。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都教育大学附属桃山小学校と連携し、「未来の洛中洛外図制作プロジェクト」を実施した。学芸員の出前講座による事前学習、校外学習(京都の取材、博物館訪問)などをつうじて、生徒が洛中洛外図を制作し、特別展「京を描く」にあわせて2階コネクションホールで展示した。

3) 地域との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域共働事業 博学社連携の新たな仕組み創造事業

博物館、学校、地域社会の連携を向上するための事業を実施した。地域との定例会を月一度、フォーラムを5回、シンポジウムとワークショップを各1回開催

し、記録集を刊行した。本事業は、平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業の支援をうけた。

【博学社連携フォーラム】

「博学社連携フォーラム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館別館2階講義室にて、以下のように開催した。いずれも発表約1時間で、意見交換は1時間を越える充実した会となった。

開催日	タイトル	講演者等	参加者数
6月21日	行政の中の博物館 —社会教育施設としての博物館の現代的役割と課題—	文部科学省 稲畑航平	10人
8月28日	歴史文化まちづくりの黎明～遺産創造とエコミュージアムを考える	北海道大学観光学高等研究センター長 西山徳明	40人
11月4日	博物館の木から地域の森へ： 琵琶湖博物館における地域・学校連携の取り組み	滋賀県立琵琶湖博物館学芸技師 林竜馬	25人
12月9日	地理歴史科の授業と地域・博物館との連携 —山科・上京で取り組んだこと—	京都府立鴨沂高等学校教諭 島田雄介	15人
H27年 3月25日	Jomon Cultureから Jomon CultureS へ	立命館グローバル・イノベーション 研究機構専門研究員 中村大	11人

【博学社連携シンポジウム～“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな私たち】

「博学社連携シンポジウム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館3階フィルムシアター(午前)と6階(午後)にて開催した。

〔日時〕2015年1月18日(日)午前10時～午後3時15分

〔会場〕本館3階フィルムシアター、6階

〔主催〕京都文化博物館地域共働事業実行委員会(京都文化博物館、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都府)

〔内容〕基調講演、ポスター発表、パネルディスカッション

〔プログラム〕

10:00 開会挨拶 井山吉良(姉小路界限を考える会副会長)

10:05 趣旨説明 村野正景(当館学芸員)

10:15 基調講演 テーマ[国内外の取り組みの最前線]

- ・「歴史文化まちづくりへのチャレンジ～遺産創造とエコミュージアム」西山徳明氏(北海道大学教授・北海道大学観光学高等研究センター長)
- ・「地域と、家族の成長に寄りそう博物館になりたい」三木美裕氏(国立歴史民俗博物館客員教授・学芸コンサルタント)
- ・「都市博物館のあり方～ICOMにおける議論から～」栗原祐司氏(国立文化財機構本部事務局長・東京国立博物館総務部長)

13:30 ポスター発表 テーマ[私たちの取り組みを語る]

- ・「地域と博物館の問題分析系図」京都文化博物館地域共働事業実行委員会
- ・「三条のまちづくりの指針を考える」森本浩行・西村祐一(京の三条まちづくり協議会)
- ・「まちづくり20年の歩み」市古和弘・井山吉良・谷口親平(姉小路界限を考える会)
- ・「学博連携 時とつながる～新・洛中洛外図をつくる～」片岡芽彩氏(京都教育大学)、平島和雄氏・若松俊介氏(京都教育大学附属桃山小学校教諭)
- ・「高等学校での取り組み」島田雄介氏(京都府立鴨沂

高等学校教諭)

- ・「博物館ボランティア」洲鎌佐智子(当館主任学芸員)
- ・「地域資源の可能性」西山剛(当館学芸員)
- ・「美術館における教育普及活動～広島的事例から～」橋本章・植田彩芳子(当館学芸員)
- ・「学校所蔵資料の潜在力」村野正景(当館学芸員)

14:10 パネル・ディスカッション テーマ[地域と博物館のより良い関係づくりに向けて]

パネリスト:西山氏、三木氏、栗原氏、井山、谷口、森本、内藤郁子

司会:村野、西山剛

15:10 閉会挨拶 神山俊昭(当館副館長)

〔参加者数〕108人

【ワークショップ】 2015年3月7日(土)

◆英国の博物館における学校向けプログラム

〔時間〕午後1時30分～

〔会場〕本館6階

〔講演者〕松山沙樹氏(英国レスター大学)

〔参加者数〕12人

◆洛中洛外図を用いたワークショップの報告

〔時間〕午後3時～

〔会場〕本館6階

〔講演者〕西山剛・村野正景(当館学芸員)

〔参加者数〕12人

【記録集の刊行】

京都文化博物館地域共働事業実行委員会 編

『“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな私たち 博学社連携フォーラム・博学社連携シンポジウム 報告書』

2015年3月19日発行

② 「きものの似合うまち・京都」づくり 推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を前売り料金に割引している。期間中のきもの着用者は209名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地間屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

③ 姉小路行灯会への協力

日時：2014年8月23日(土) 午後6時頃～9時

内容：姉小路を考える会が例年開催している行事で、烏丸～富小路間の姉小路通りの両側に400基以上の行灯を並べ御池中学校の生徒によるプラスバンド行進などの各種イベントがおこなわれる。当館ではこの行灯20基を製作・設置し、同行事への協力を行っている。

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

●会員数の推移

	(単位：名)		
	2014年度	2013年度	2012年度
A会員	434	424	445
グループ会員	222	212	228
B会員	281	259	214
計	937	895	887

●新規加入者数

	(単位：名)	
A会員	84	
グループ会員	56	
B会員	163	
計	303	

●職業

	(単位：名)
会社員	146
公務員	26
教員	32
自営業	73
自由業	21
学 生	11
その他	70
無 職	558

●男女構成

	(単位：名)	
	男性	女性
A会員	68.4%	31.6%
グループ会員	43.7%	56.3%
B会員	62.3%	37.7%
計	60.7%	39.3%

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

A会員、グループ会員は各10名、B会員についても各22名とわずかであるが昨年より会員増加につながった。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待している。今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●年齢分布

	(単位：名)
10代	2
20代	15
30代	33
40代	62
50代	142
60代	290
70代	275
80代	109
90代以上	9
不明	0
最高齢	96
平均	65.34歳

●住所分布

	(単位：名)
京都市内	677
京都府内	74
近畿圏内	169
その他の府県	17
(近畿圏内の内訳)	
大阪府	94
兵庫県	34
滋賀県	28
奈良県	11
和歌山県	2
計	169

2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① 文化講座・見学会等

【見学会 歴史探究ウォーキング

～祇園祭・後祭巡行と山鉾町界隈の史跡散策～

日時：2014年7月20日(日)午後1時～3時

場所：中京区～下京区 山鉾町界隈

講師：橋本 章(当館学芸員)

参加者数：20名



「見学会 歴史探究ウォーキング」の様子

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

② その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・

漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2014年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2014年 6月17日	2014年12月～2015年 3月	11
10月28日	2015年 4月～2015年 7月	18
2015年 2月24日	2015年 8月～2015年11月	15

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・

工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2014年度の利用件数は、42件であった。

【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2014 4. 9～ 4.13	第27回 面風會展 能面・狂言面	諸工芸	9.24～ 9.28	第19回 京都ファインド・アイ現代文人光画展	写真
4.23～ 4.27	第22回 光熱能面會展	諸工芸	10.9～10.13	麻生喜美子 レリーフ彫刻展	彫刻
4.24～ 4.27	第38回 日本画春季光玄会	日本画	10.9～10.13	英隆行 イヘーレン岩壁画写真展 ～5000年の時を超え、緑のサハラが甦る～	写真
4.24～ 4.27	京都創造藝術協會展	美術総合	10.10～10.13	前田正志きもの作品展	染織
5. 1～ 5. 6	ヘルマン・ヘッセに捧ぐ シッタールタの旅	写真	10.15～10.19	「青のあいだ2011-2014佐々木宏子」展	洋画
5. 9～ 5.11	辛酉会書展	書	10.16～10.19	第7回 書の森展	書
5.14～ 5.18	50年の軌跡を辿りてー谷田穎郎展	洋画	10.22～10.26	平成25年度 京の名工展	工芸総合
5.21～ 5.25	第26回 京都書作家協会会員展	書	11.20～11.24	第26回 工芸美術創工会	工芸総合
5.27～ 6. 1	明日をひらく絵画 第32回 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合	11.26～11.30	第14回 京都現代写真作家展 受賞者記念展 Kyoto Present Age	写真
6.25～ 6.29	第18回 種々展	日本画	11.26～11.30	第34回 聚英展	書
6.25～ 6.29	第69回 京都丹平写真展	写真	11.27～11.30	原田幹久書展	書
6.25～ 6.29	芽生展	日本画	11.27～11.30	第5回 村城翠江展	諸工芸
7. 2～ 7. 6	2014京都市日本画家協会第II期展	日本画	12.17～12.21	第23回 帆の会展	洋画
7. 8～ 7.13	The NIHONGAー伝統と創造ー	日本画	2015 1.23～ 1.25	2014年度 京都橘大学 卒業制作展	書
7. 9～ 7.13	『第5回独楽(こま)の会』日本画作品展	日本画	1.27～ 2.1	小柳晟米寿記念展	洋画
7.10～ 7.13	西川桂郵書作展	書	1.29～ 2.1	第35回 京都現代書芸展	書
8.27～ 8.31	第33回 六善会篆刻作品展	書	2.17～ 2.19	琳派400年 京友禅美を次代に	染織
9. 3～ 9. 7	第15回dpi展	写真	2.19～ 2.22	水明書道会 第9回 墨聚展	書
9.17～ 9.21	第25回 光風工芸 「明日へのかたち展」	工芸総合	3.25～ 3.29	第38回新日美展 京都巡回展	美術総合
9.23～ 9.28	「時空」出口育子作品展	洋画	3.25～ 3.29	第58回あまがつ会人形展	諸工芸
9.24～ 9.28	日本画 洛展	日本画	3.25～ 3.29	書一三月の会一	書
			計 42件(200日間) 45,438人		

【作家利用分野別件数・入場者数一覧】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	7	5	11	6	1	3	2	0	4	3	0	42
割合(%)	17%	12%	26%	14%	2%	7%	5%	0%	10%	7%	0%	100%
入場者数	8,507	2,936	11,588	7,557	437	2,695	814	0	3,117	7,787	0	45,438
1件平均入場者数	1,215	587	1,053	1,260	437	898	407	0	779	2,596	0	1,082

*諸工芸には、能面・ちぎり絵を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2014 4.9～4.13	村瀬正憲写真展	写真	818
	4.10～4.13	第23回素敵なクラフト展、第11回素敵なニット展	諸工芸	2,076
	4.24～4.27	招き猫展 市瀬俊治	諸工芸	487
	6.19～6.22	ベルフォーム シャドーボックス展	諸工芸	743
	6.25～6.29	第30回“竹の会”木版画展	諸工芸	829
	7.16	京都大学大学院工学研究科建築学専攻岸研究室宵山ゼミ	その他	150
	7.19～7.22	第6回京都・全日本水墨画・俳画・文人画秀作展	日本画	1,624
	7.29～8.3	京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科日本画分野 3・4回生展「shu・ha・ri」	日本画	636
	8.21～8.24	「十人十色 百個百詠」栄美子戸田ローブとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,060
	8.27～8.31	第2回ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	859
	9.2～9.7	第6回カリグラフィアーズ・ギルド作品展 関西展	諸工芸	970
	9.2～9.7	上田ミチヨ ソーイング教室発表会	諸工芸	776
	9.10～9.15	“100京都市人ポートレート” by Yann Le Gal	洋画	996
	10.8～10.13	福島県と関西の水彩画交流展	洋画	3,306
	10.10～10.13	龍雲会書道展	書	742
	10.16～10.19	雪秀会 能面展 第21回	諸工芸	412
	10.31～11.3	第51回仏教美術展	(美術)総合	4,582
	11.5～11.9	若岱現代水墨展	日本画	377
	11.5～11.9	2014京都大学写真部OB会京都展	写真	608
	11.6～11.9	早蕨会書展	書	728
	11.13～11.16	第48回心象書展	書	3,064
	11.26～11.30	'14写人展	写真	683
	12.11～12.14	有岡由利子パッチワークキルト展 2014	諸工芸	1,657
	2015 1.9～1.12	沙羅書芸教室 新春書芸展	書	1,508
	1.16～1.25	第27回京都美術文化賞受賞記念展 (うち19日休室)	(美術)総合	2,899
	2.5～2.8	第2回羊パレット2015 京都	(工芸)総合	7,292
2.11～2.15	京都工芸繊維大学 造形工学課程 卒業制作展2015	(美術)総合	1,825	
2.27～3.1	第28回全国シルバー書道展(京都展)	書	1,315	
3.4～3.8	第14回福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術)総合	348	
3.13～3.15	京都アートフリーマーケット 2015 春	その他	32,161	
3.17～3.22	Art Quake Kyoto 2015	(美工)総合	420	
計31件 使用日数：144日				75,951

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数	
6階	2014	4.17 体験学習(舞妓)	その他	110	
		4.19 風楽和<華>Vol.3(邦楽コンサート)	その他	101	
		4.24 体験学習(舞妓)	その他	210	
		7.27 第一回 京都文博寄席	その他	120	
		8. 1～ 8. 3 (公財)片山家能楽・京舞保存財団 第18回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,142	
		9.23～ 9.28 手描 染の妙「小紋」玉村咏展	染織/染色	649	
		10.15～ 10.16 京都シニア大学 第42回学園文化祭・作品展	(美術)総合	379	
		10.18～ 10.19 京都国際映画祭 松井智恵 「プルシャ」	その他	396	
		10.24～ 10.26 第5回吉田紘三と手織り100人展	染織/染色	1,004	
		10.31～ 11. 3 第51回仏教美術展	(美術)総合	2,530	
		11. 9 第二回 京都文博寄席	その他	60	
		11.15～ 11.16 第17回竹心展	書	418	
		11.21～ 11.23 龍門社 第52回選抜書道展	書	1,056	
		12.20～ 12.21 京都橘大学書道部 2回生展	書	263	
		2015	1.11 知ふみ書道新春書初展	書	466
			1.20～ 1.21 第11回匠・双美会「新しい金沢、はじまる百万石の美・粋」	染織/染色	150
			2.11～ 2.15 京都工芸繊維大学大学院デザイン科学専攻修了制作展2015	(美術)総合	1,330
3. 4 染織工芸課WS	その他		50		
3.14～ 3.15 近江上布伝統産業会館 湖国の麻織物	染織/染色		505		
計19件 使用日数：43日				10,939	

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金竹・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	3	2	5	3	2	4	19			10	1	11	1	31
	日数	-	15	12	19	15	4	23	88			46	4	50	6	144
	人数	-	2,637	4,302	7,357	2,109	32,311	9,654	58,370			9,869	7,292	17,161	420	75,951
6階	件数	-			4		7	3	14	4			1	5		19
	日数	-			8		8	11	27	13			3	16		43
	人数	-			2,203		1,047	4,239	7,489	2,308			1,142	3,450		10,939

※6階「その他」は体験学習、邦楽演奏会、華展等。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所		和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	-	1	-	-	1	2
	日数	-	2	-	-	3	5
	人数	-	800	-	-	1,971	2,771
6階	件数	12	-	-	1	1	14
	日数	24	-	-	3	4	31
	人数	1,675	-	-	781	6,230	8,686

*美術：日本画、洋画、書、写真など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸

会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。近年では、三条通りウッドデッキを活用したアートマルシェなどの新たな活用も増えてきている。

【別館利用状況一覧】

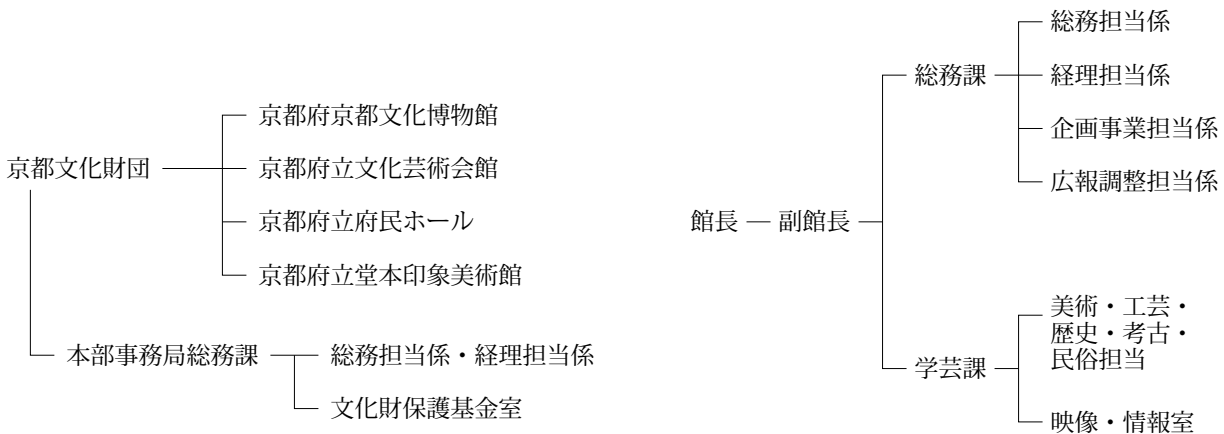
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2014.		7.23～ 7.24	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
4.5	第7回健康塾	7.19	京都フランス歌曲協会 詩人と歌曲その2
4.8～ 4.12	2014年4月 むす美collection	7.22～ 7.25	立命館大学 祇園祭デジタルミュージアム展2014
4.13	珠玉のフランス音楽	7.27	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団第52回定期演奏会
4.15～ 5.12	KYOTO GRAPHIE国際写真フェスティバル2014	7.31	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.47「ヨーロッパ&日本 典雅な調べ」
4.26～ 4.29	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	8. 2	童謡サロンとベル・デ・ベル
5. 5～ 5. 6	〈三条ウッドデッキ〉ものづくりカントリーマルシェ	8. 3	うたの会2014
5.15	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.46「バロックの名曲とベートーヴェン」	8. 6～ 8. 8	ロームミュージックファンデーションスカラシップコンサート vol.3 vol.4
5.17	越境する音楽 Xen Quartet in KYOTO	8. 9～ 8.10	2014キンダーフィルムフェスト・きょうと 第20回京都国際子ども映画祭
5.18	ソリストアンサンブル・京都バツハ合唱団ジョイントコンサート	8.12～ 8.13	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.19～ 5.27	京都国際音楽学生フェスティバル・リハーサル	8.15～ 8.16	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.20	京都国際音楽学生フェスティバル2014・ウェルカムレセプション	8.16～ 8.17	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
5.20	〈講義室〉日本工芸会近畿支部幹事会・臨時総会	8.17	トランペット・ソロ・コンサートvol.10
5.29	通崎睦美コンサート「今、甦る! 木琴デイズ」vol.1 1925-1945編	8.19～ 8.22	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.30	弦楽四重奏の夕べ	8.22	〈講義室〉下京区官公庁長等連絡協議会
5.31	結婚式	8.23	松下悦子farsideシリーズ「ソプラノ×ジャズピアノ」
5.31	〈講義室〉「シンガポールにおけるJ-POPカルチャー」シンガポールからみた日本(講演会)	8.23	〈講義室〉京都アートフリーマーケット2014秋出展者説明会
6. 1	結婚式	8.24	夏のひとときコンサート
6. 8	オハイオ ストリングカルテット	8.26～ 8.27	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
6.12～ 6.15	花とHaco展～お気に入りを探して～	8.27	〈講義室〉日本工芸会近畿支部幹事会
6.21～ 6.22	御所南ヴァイオリンスクール 発表会	8.28～ 8.29	ロームミュージックファンデーションスカラシップコンサートvol.5
6.21～ 6.22	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	8.30	伊藤ライム「涼風のコンサート」vol.2
6. 9	御所南ヴァイオリンスクール 初夏のコンサート	8.31	Felix室内合奏団 第26回定期演奏会
6.28	〈講義室〉京都アートフリーマーケット2014秋 公開抽選会	9. 4	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.48「我が生涯」
7. 2	テレビ朝日土曜ワイド劇場狩矢父娘シリーズ 撮影	9. 5	和美・WABI コンサート2014「天地和合」
7. 3	Amo Italia アーモ・イターリア	9. 6	プライダルパーティー
7. 4	シギスヴァルト・クイケン ヴィオロン・ダ・スパッパリサイタル	9. 7	花結師TAKAYA「MEN」
7. 5	2014 京都日本画家協会第2期展シンポジウム	9.10	丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば20回記念コンサート
7. 6	チワガシタヒデユキ セタSpecial ～天の川で逢いましょう～其の式	9.13	Fall in Pops Marty with Friends
7.11～ 7.14	立命館大学「京都における工芸文化の総合的研究」プロジェクト成果報告会	9.15	右脳と左脳のサロンコンサートvol.3
7.16～ 7.17	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	9.18～ 9.21	京都アートフリーマーケット2014秋
7.16	同志社女子大学音楽専攻科生による青山ミュージアムコンサート	9.23	JAZZ at Sanjo vol.13
7.16	第25回青山に箏曲を聴く夕べ	9.25～ 9.28	KPA「メイキング・ワークショップ2015」
7.20～ 7.21	祇園祭ミュージアムコンサート	9.27～ 9.28	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
7.19～ 7.21	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	9.28	〈講義室〉京の三条まちづくり協議会 勉強会
		10. 2	セントラルフロリダリリックオペラの演奏家との魅惑の夕べ

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
10. 3	I&C VICE studio 「日本の風景は美しい。ゆえに、日本の歌は美しい。」	12.13	京都フランス歌曲協会 動物の謝肉祭
10. 4	結婚式	12.14	音楽発表会
10. 5	結婚式	12.17	プレス Christmas Night 2014
10.7～10.11	2014むす美展「つながるふるしき」	12.18	JoyfulBells/ハンドベルコンサート
10.11～10.13	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくカントリーマルシェ	12.19	「知られざるヴェネツィアの天才・リッガッティの世界」
10.12	Jewel Box 歌とピアノの名曲コンサート	12.20	オルブリエ 4th ライブ
9.28	彩と響コンサート	12.20～12.21	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
9.28	〈講義室〉村野 世界遺産研究会	12.21	京都室内合唱団 2014CHRISTMAS CONCERT
10. 2	京美山Live	12.23	THE GIFT BOX
10. 3	音楽のおもちゃ箱の仲間たち“コンサートフェア2014”	12.23	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
10.15	弦楽八重奏会inぶんぱく	12.26	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.49「魅惑の室内楽」
10.18～10.19	京芸秋色プラス！金管アンサンブル2 DAYS	12.26	〈三条ウッドデッキ〉丹後のええもん うまいもん展 in 京都文博
10.21	アメリカのコンテンポラリージュエリーの現在(講演会)	12.27	青と安らぎのコンサート～オルゴール・歌・ピアノ～
10.22	〈講義室〉古代学講座	12.27	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
10.24	〈三条ウッドデッキ〉丹後のええもん うまいもん展 in 京都文博	2015.	
10.25	立命館大学メンネルコールOB合唱団第2回コンサート	1. 4	「歌う会」松下悦子門下生声楽発表会
10.25～10.26	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	1. 6	聲明
10.27～11. 4	貴久樹 天竺展2014	1.10～1.12	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
11. 7～11. 9	着物二恋スル季節展	1.10	齋藤奈都美ピアノ・リサイタル
11.12	通崎睦美コンサート「今、甦る！木琴デイズ」vol.2 西洋音楽の扉を開けた立役者	1.11	京都音楽劇団オペラアンサンブル・コーラスコンサート
11.13	〈講義室〉日本工芸会近畿支部 常任幹事会	1.12	JEUGIA子ども表現教室講師コンサート/子どもと楽しむクラシックコンサート
11.13～11.16	第16回佐々木真弓・アトリエエンジェルステンドグラスランプ展	1.17～1.18	JEUGIAミュージックサロン四条管弦発表会
11.19	PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭 オープンリサーチプログラム	1.23	〈三条ウッドデッキ〉丹後のええもん うまいもん展 in 京都文博
11.21	〈三条ウッドデッキ〉丹後のええもん うまいもん展 in 京都文博	1.24	〈講義室〉紫式部顕彰会
11.16	〈講義室〉日本工芸会近畿支部幹事会	1.28	〈講義室〉古代学講座
11.24	着物で装うクラシックコンサート	2. 6	〈講義室〉日本工芸会近畿支部幹事会
11.24	〈講義室〉京の三条まちづくり協議会	2. 7	〈講義室〉京都アートフリーマーケット2015春説明会
11.26	〈講義室〉古代学講座	2.10～2.15	京都工芸繊維大学大学院建築学専攻 修了制作展
11.28～11.30	第86回詠友禅染競技会/第85回詠友禅見本展	2.18～2.19	成安造形大学ファッションショー SEIAN collection 2015
11.29～11.30	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	2.21～2.22	2月23日「ふろしきつつみの日」イベント 京をつつむ
12. 5	西垣正信クリスマスコンサート	2.21	〈講義室〉映画字幕ワークショップ
12. 6	〈講義室〉第99回表展 授賞式	2.21～2.22	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
12. 6	Let's Joyful Tonaight	2.24	2015年2月 むす美展
12.11	京都三条4Kコンテンツバンク2014 4Kオンデマンドビジネス研究会	2.25	〈講義室〉古代学講座
12.12	京都映画企画市-Kyoto Film Pitching-	3.1～3.31	PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015
12.13	京都アートフリーマーケット公開抽選会	3. 8	〈三条ウッドデッキ〉丹後のええもん うまいもん展 in 京都文博
		3.11	〈三条ウッドデッキ〉東北物産展
		3.21～3.22	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
			入場者数 計 163,664人

VII 管理・運営

VII-1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学大学院教授、美術工芸資料館館長
理事長	荒巻 禎一	京都文化博物館館長、前京都府知事		平林 幸子	京都中央信用金庫副理事長
	常務理事 神山 俊昭	京都文化博物館副館長		深尾 憲一	弁護士
理事	金田 章裕	京都府特別参与、京都大学名誉教授	監事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	小林 正幸	京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授		藤井 龍美	一般社団法人京都銀行協会専務理事

【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	評議員	田中 恆清	石清水八幡宮宮司
評議員	有馬 頼底	臨済宗相国寺派管長		鶴田 憲次	洋画家
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		名和 修	公益財団法人陽明文庫理事、文庫長
	今井 政之	陶芸家		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		日比野光鳳	書家
	上村 淳之	日本画家		増田 正蔵	京都新聞社相談役
	大橋 通夫	前京都府教育委員会委員長		山内 修一	京都府副知事
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長
	金剛 永謹	金剛流宗家			

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2015年(平成27年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
総務課	課長	下河邊英寿	課総括	財団本部事務局兼務 2012.4～
	参事	奥野 清人	課総括補助	2014.5～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	經理担当係長	宮本 幸樹	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	広報調整担当係長	磯野真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	主任	杉浦美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010.5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷婦美子	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
	囑託	田中真希代	企画事業担当業務	2012.8～
保護基金室	文化財保護基金室長事務取扱	奥野 清人	基金事業担当業務	2014.5～
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 学習普及・連携室長 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	主査	植山 茂	考古・民俗	1986.10～
	囑託	大矢 敦子	映像・情報	2011.10～

VII-2 施設

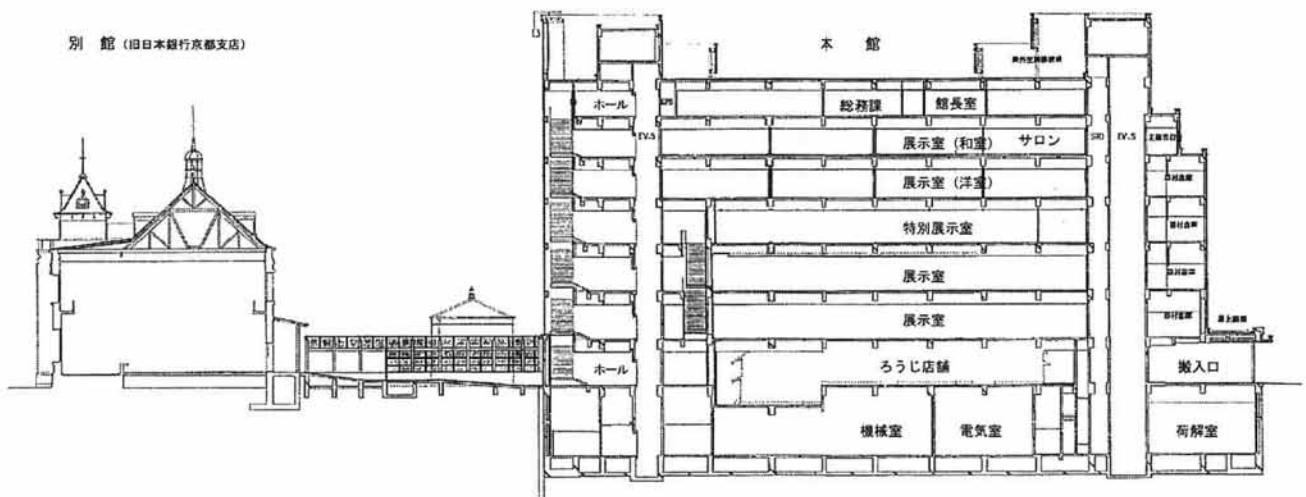
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月(リニューアル工事実施)
 敷地面積：4,830.0㎡(別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
 延床面積：15,854.1㎡(別館を含む)
 本館床面積内訳：
 地階……2,242.4㎡／1階……2,251.7㎡
 2階……1,892.8㎡／3階……1,908.7㎡
 4階……1,442.1㎡／5階……1,442.1㎡
 6階……1,218.2㎡／7階……1,010.4㎡
 塔屋……182.8㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地
 設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月
 延床面積：2,249.3㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

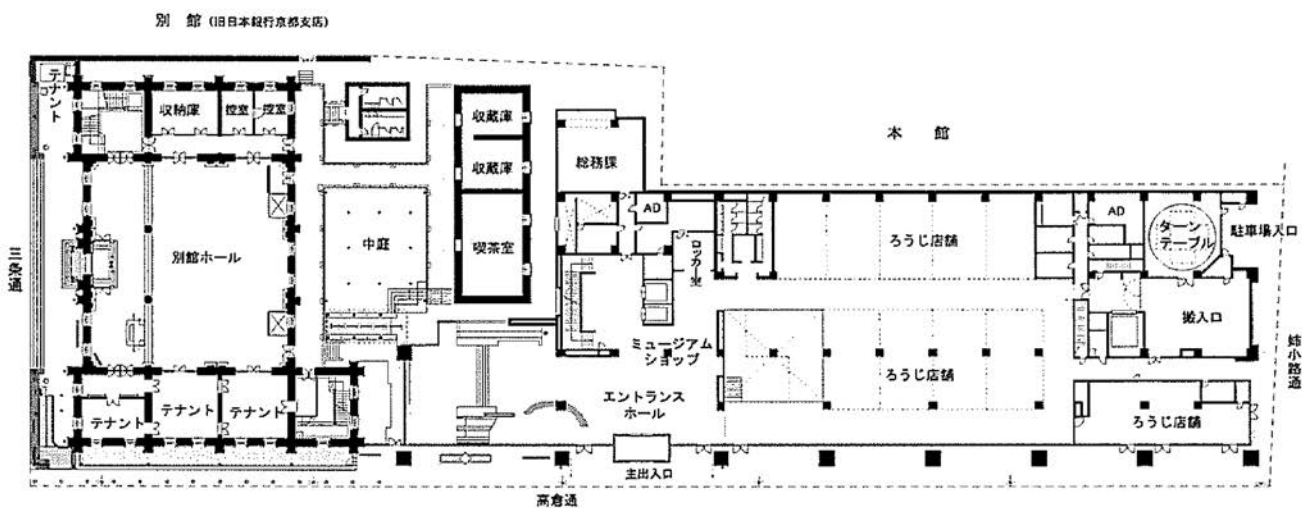
【京都文化博物館断面図】



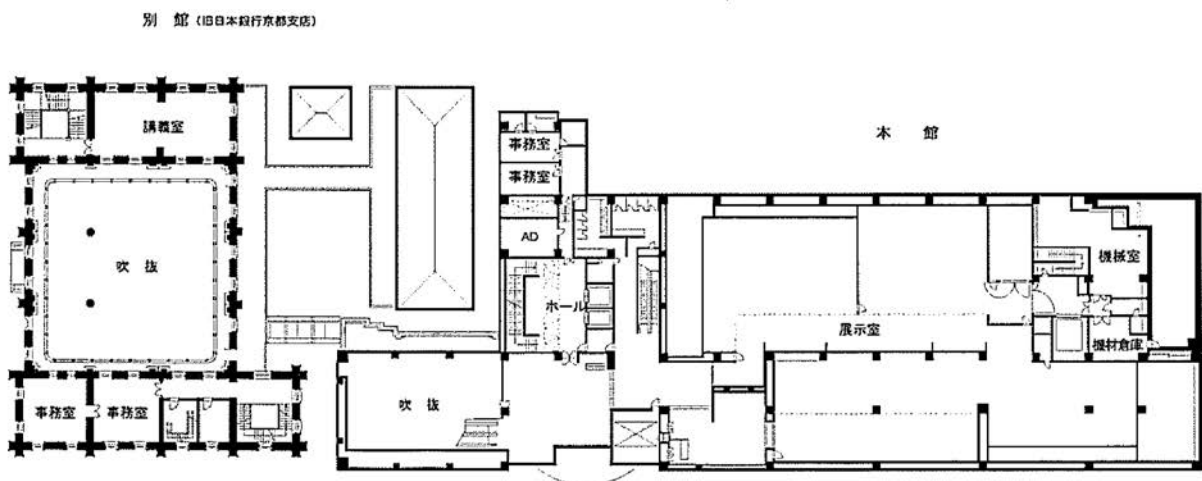
【京都文化博物館 地下1階平面図】



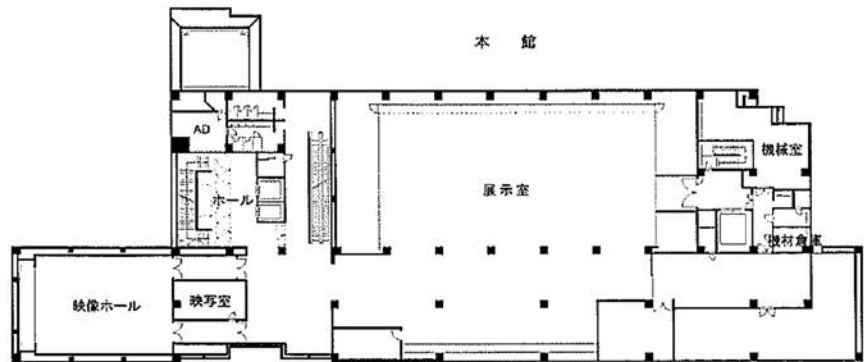
【京都文化博物館 1階平面図】



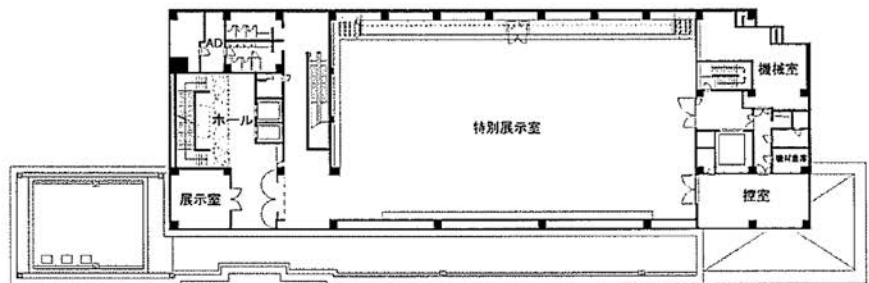
【京都文化博物館 2階平面図】



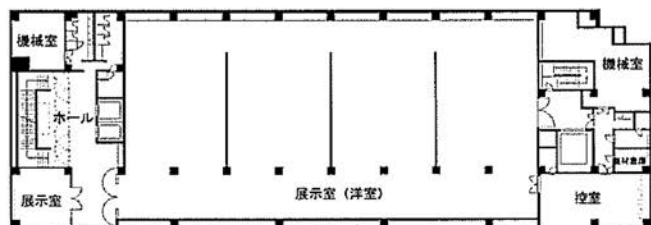
【京都文化博物館 3階平面図】



【京都文化博物館 4階平面図】



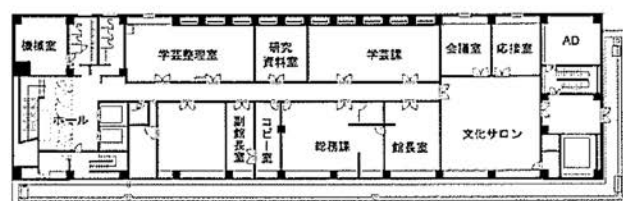
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は163,568人であった。

【ろうじ店舗一覧】

◇和紙と和紙小物の店—楽紙館

◇京都和雑貨—菰軒

◇京のエッセンス16舗名店会(順不同)

香老舗—松榮堂	京麩—半兵衛麩
京念珠—福永念珠舗	京菓子—鼓月
京佃煮—野村	宇治茶—福寿園

京扇子—とくの	京象嵌—川人象嵌
八ツ橋—井筒八ツ橋	京の額—古澤仙壽堂
京風雅便箋—表現社	野菜せんべい—京煎堂
ちりめん小物—くろちく	京つけもの—西利
竹の匠—高野竹工	町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店

◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋

◇和カフェ 京美山

◇東京料理—京都 なた万賓館(平成26年9月26日開店)

◇京・嵐山上流の蔵—京丹山

◇ミュージアムショップ—京都 便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

◇前田珈琲文博店

◇Contemporary Art JARFO京・文博

◇アートギャラリー arton art gallery

◇和小物—くろちく

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
会員店舗職員向き レクチャーと懇親会	特別展『京を描く—洛中洛外図の時代—』担当 西山剛(当館学芸員)	2015年1月23日 14:00~16:00
	特別展『京に生きる琳派の美』担当 洲鎌佐智子(当館学芸員)	2015年3月20日 14:00~16:00

VIII 2014(平成26)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2014年		
3月11日	「光の賛歌 印象派展 パリ、セーヌノルマンディの水辺をたどる旅」開催	(～5月11日/4・3階)
4月 1日	常設上映「映画美術監督 井川徳道の世界」	(～4月20日/FT)
4月 2日	総合展示「東寺百合文書―地域の記憶とその継承―」	(～6月22日/2階)
4月 3日	総合展示「祇園祭―保昌山の名宝―」	(～6月15日/2階)
4月19日	常設上映「たまこまーけっと おさらい上映会」	(19日/FT)
4月22日	常設上映「母を想う―日本映画にみる母の肖像」	(～6月1日/FT)
6月 1日	ぶんぱく京都講座「東寺百合文書の史料学」	(1日/FT)
6月 3日	常設上映「娯楽映画の魅力 おもてなしの映画」	(～7月15日/FT)
6月 7日	「没後90年 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」開催	(～7月21日/4・3階)
6月19日	総合展示「祇園祭―山鉾巡行の歴史と文化―」	(～8月3日/2階)
6月27日	総合展示「近世公家の家職と衣装」	(～8月31日/2階)
7月 5日	ぶんぱく京都講座「京都・祇園祭の物語 ～かわるまつり・かわらないまつり～」	(5日/FT)
7月 6日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(6日/6階)
7月12日	〈クールスポット〉の実施(2階総合展示・3階フィルムシアター無料公開)	(～8月31日)
7月13日	祇園祭記念特別上映「祇園祭」	(16日、17日、24日/FT)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科生による祇園祭・宵山ミュージアムコンサート	(16日/AH)
7月16日	第26回宵山に箏曲を聴く夕べ	(16日/AH)
7月18日	常設上映「第一次世界大戦と映画特集―映像に刻まれた現代の起点―」	(～7月21日/FT)
7月20日	祇園祭ミュージアムコンサート	(～21日/AH)
7月20日	友の会 見学会 歴史探究ウォーキング～祇園祭・後祭巡行と山鉾町界隈の史跡散策～	(20日/館外)
7月22日	常設上映【にんじんくらぶ設立から60年】三人の女優の挑戦 岸恵子・久我美子・有馬稲子」	(～9月4日/FT)
7月27日	ぶんぱく子ども教室 第2回 はり絵の“うちわ”をつくろう！	(27日/2階作業室)
7月30日	「宇宙兄弟展」開催	(～9月23日/4・3階)
8月 3日	ぶんぱく子ども教室 第3回 夏オリジナル豆づくり	(3日/別館講義室)
8月 4日	博物館実習	(～8月8日)
8月 7日	総合展示「祇園祭―大船鉾復興記念展―」	(～10月19日/2階)
8月 7日	第20回京都国際子ども映画祭	(～8月10日/FT)
8月12日	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館(家族でお出かけ節電キャンペーン協力イベント)	(～27日うち10日間/AH)
8月14日	常設上映「追悼 映画撮影監督森田富士郎」	(～8月17日/FT)
8月17日	ぶんぱく子ども教室 第4回 こんな京都あんな京都 むかしの京都をのぞいてみよう！	(17日/2階)
8月23日	第9回 映画の復元と保存に関するワークショップ作品上映	(24日/FT)
8月31日	ぶんぱく子ども教室 第5回 教えて考古学 拓本教室	(31日/2階作業室)
9月 5日	総合展示「源氏絵の時代―近世の京都と源氏物語―」	(～11月16日/2階)
9月 5日	メロドラマの世界 その歴史的意義と展望(日本映像学会夏期ゼミナール)	(～9月7日/FT)
9月 6日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝4 古典の英華―『源氏物語』と古筆切―」	(～11月3日/2階)
9月 9日	常設上映「舞妓はレディ公開記念特集映画に見る京女の系譜―宮廷から花街まで―」	(～10月5日/FT)
9月19日	京都アートフリーマーケット2014秋	(～21日/AH他)
10月 4日	「京都府所蔵品による 京・食・美～食をめぐる表現～」開催	(～11月24日/3階)
10月 7日	「野口久光 シネマ・グラフィックス 魅惑のヨーロッパ映画ポスター展」開催	(～12月7日/4階)
10月 7日	【野口久光シネマ・グラフィックス展関連映画上映会】野口久光の愛した映画たち	(～11月8日/FT)
10月 7日	【京まちなか☆音楽映画祭2014 協賛企画】映画と音の良い関係2	(～11月2日/FT)

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
10月23日	総合展示「祇園祭—浄妙山の名宝—」	(～1月12日/2階)
11月 1日	ぶんぱく子ども教室 第6回 木綿を知ってマイ箸袋を作ろう!	(1日/2階作業室)
11月 3日	常設上映【生誕100年】俳優 宇野重吉特集」	(～12月5日/FT)
11月 8日	総合展示「池大雅美術館コレクション寄贈記念 池大雅」	(～1月12日/2階)
11月 8日	ぶんぱく子ども教室 第7回 わくわく紙遊びでタイムスリップ!	(8日/2階作業室)
11月 9日	第4回日本学生映画祭 in 京都	(9日/FT)
11月18日	日本映画テレビ技術協会「受賞作品の技術検討上映会」	(18日/FT)
11月21日	総合展示「幕末明治の京都の日本画」	(～2月1日/2階)
11月22日	オータムミュージアムコンサート	(～23日/AH)
11月22日	ぶんぱく子ども教室 第8回 画家さんといっしょに、野菜を日本画で描こう! 親子で挑戦!	(22日/3階)
11月29日	文化庁工芸技術記録映画上映会「木工芸 村山明のわざ」	(29日/FT)
11月30日	ぶんぱく子ども教室 第9回 はじめての水墨画教室	(30日/2階、別館講義室)
12月 6日	第6回京都ヒストリカ国際映画祭	(～12月14日/FT)
12月 6日	ぶんぱく子ども教室 第10回 大きい筆で、大きい文字に挑戦!—池大雅展に集う—	(6日/2階、AH、別館講義室)
12月 7日	第7回京都映画若手才能育成ラボ(Kyoto Filmmakers Lab 2014)	(～12月12日/当館他)
12月 9日	常設上映「ヒストリカ国際映画祭協賛企画 刀は何を語るのか—剣戟映画にみる魂の物語」	(～12月27日/FT)
12月18日	—から始めるDaVinci Resolveセミナー	(18日/FT)
2015年		
1月 4日	常設上映「ミュージアムで初笑い、新春喜劇映画特集」	(～2月1日/FT)
1月 6日	「千總460年の歴史—京都老舗の文化史」開催	(～2月11日/3階)
1月20日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション7 禅書画の世界」	(～3月15日/2階)
1月20日	総合展示「祇園祭—孟宗山の名宝—」	(～4月5日/2階)
1月24日	「琳派400年記念 新鋭選抜展 ～琳派の伝統から、RIMPAの創造へ～」開催	(～2月8日/4階)
1月25日	ぶんぱく子ども教室 第11回 館内ぐるぐる探検ツアー	(25日/館内)
2月 3日	常設上映「近代文学と映画 1 泉鏡花 谷崎潤一郎 川端康成」	(～2月28日/FT)
2月 7日	総合展示「世界考古学会議京都開催決定記念 近世京都の考古学者たち」	(～4月19日/2階)
2月 7日	ぶんぱく京都講座「近代京都の興行街にみる映画と演劇」	(7日/FT)
3月 1日	「京(みやこ)を描く—洛中洛外図の時代—」開催	(～4月12日/4・3階)
3月 1日	常設上映「ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ4」	(～3月31日/FT)
3月10日	パラソフィア 京都国際現代芸術祭シネマプログラム	(～5月10日/FT)
3月13日	京都アートフリーマーケット2015春	(～15日/AH他)
3月14日	ぶんぱく京都講座「平安京研究の道のり」	(14日/FT)
3月21日	総合展示「増誉大僧正900年遠忌記念 聖護院門跡の名宝—門跡と山伏の歴史—」	(～5月10日/2階)
3月21日	おもしろ映像製作ワークショップ 特撮を楽しもう!	(22日/FT)
3月28日	手作りアニメ製作ワークショップ	(29日/FT)

京都文化博物館2014(平成26)年度年報

発行日 2015年10月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889

印刷 三星商事印刷株式会社
〒604-0093 京都市中京区新町通
竹屋町下ル弁財天町300
TEL：075-256-0961(代)